

会 議 録

会議の名称		令和5年度第1回つくば市社会教育委員会議		
開催日時		令和5年(2023年)8月4日(金)開会10:00 閉会11:45		
開催場所		つくば市役所2階 会議室201		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	鈴木もえみ委員(議長)、坪文雄委員(副議長)、飯岡宏之委員、石黒澄子委員、石塚一夫委員、稲葉房子委員、上田孝典委員、金井恵美委員、高田正澄委員、谷村安子委員、長橋進也委員、中山正巳委員、布浦万代委員		
	教育局	森田教育長、吉沼教育局長、久保田次長		
	中央図書館	柴原館長、沼尻副館長、玉木館長補佐、川田係長		
	文化芸術課	矢口課長補佐		
	地域支援課	大口課長、矢口係長		
	スポーツ振興課	大久保課長、竹前係長		
	事務局 生涯学習推進課	澤頭課長、色川課長補佐、渡辺係長、川津係長、渡邊社会教育主事、村上社会教育主事、石澤主任主査、山岸主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 令和4年度社会教育事業実績報告について (2) 社会教育事業の視察について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議	1	開会		
	2	挨拶		
	3	議事等選出		

次	4 議事
第	(1) 令和4年度社会教育事業実績報告について
	(2) 社会教育事業の視察について
	5 その他
	令和5年度第1回社会教育委員研修会(令和5年7月18日開催)報告
	6 閉会

<審議内容>

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議長等選出

○事務局

つくば市社会教育委員会議運営規則第7条の規定により、会議は在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができないと定められております。本日の出席委員は13名ですので会議を開会いたします。議長選出の前に委員の退任について御報告いたします。この4月に井坂孝委員、6月に議長の伊藤達也委員が退任されたことを御報告いたします。退任に伴いまして後任に深澤美紀代委員、石塚一夫委員が就任されたことを御報告いたします。本日、深澤委員は欠席です。石塚委員どうぞよろしく願います。恐れ入りますが石塚様から自己紹介をお願いします。

《石塚委員自己紹介》

ありがとうございました。続きまして、伊藤議長の退任に伴いまして、当会議の議長を選出します。選出につきましては、つくば市社会教育委員会議運営規則第2条の規定により、委員の会議には委員の互選による議長及び副議長を置くでございますので委員の皆様の中から御選出いただきます。では議長の選出につきまして、皆様にお諮りしたいと思いますが、いかがいたし

ましようか。

《事務局に一任します》

はい、ありがとうございます。では事務局一任との御発声をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。

《拍手で賛成》

それでは、事務局案を申し上げます。事務局といたしましては、議長を鈴木もえみ委員にお願いしたいと考えておりますがいかがでしょうか。

《拍手で賛成》

では皆様から拍手をいただきましたので、ただいま議長に鈴木もえみ委員が選出されました。どうぞよろしくお願いいいたします。それでは次に副議長の選出につきまして、皆様にお諮りしたいと思っておりますがいかがいたしましうか。

《事務局一任》

ありがとうございます。それでは事務局一任ということで御発声をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。

《拍手で賛成》

それでは副議長の事務局案を申し上げます。事務局といたしましては、副議長を坏文雄委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

《拍手で賛成》

それでは、ただいま副議長に坏文雄委員が選出されました。それでは鈴木委員、坏委員、それぞれ議長席、副議長席へ御移動お願いいいたします。最初に鈴木議長より御挨拶いただきたいと思ひます。

《挨拶》

次に、坏副議長より御挨拶いただきたいと思ひます。

《挨拶》

ありがとうございました。鈴木議長、坏副議長どうぞよろしくお願ひしま

す。それでは、つくば市社会教育委員会議運営規則第4条第1項の規定によりまして、議長は会議を主宰するとございますので、議事進行につきましては鈴木議長をお願いいたします。

○鈴木議長

それでは議事に移ります。まず議事(1)令和4年度社会教育事業実績報告を議題とさせていただきます。はじめに事務局から説明をしていただきます。事務局お願いいたします。

○事務局

資料第1の担当課につきまして、社会教育事業実績報告書中、組織改編により文化芸術課事業の「地域交流センター講座」と「生涯学習施設(ふれあいプラザ)管理」について地域支援課が担当しています。また、資料1につきまして、一部修正がありました。資料7、9:4、5、9、11、13ページの令和4年度「課題への取組欄」につきまして、委員からの依頼により一部修正していますので、差し替えた後の資料を委員の皆様の上に置かせていただきました。修正箇所につきましては、資料の資料1の4ページでは、参加者確保について「努めるとともに」としていましたが、参加者を「確保した」、講座については、「開催できるように努めていく」としたところを「開催できるように努めた」としました。5ページでは、改修工事について、「設計について令和4年度実施した」と追記しました。また、改修工事について「実施していく」とした部分を「実施した」と修正しました。9ページでは二十歳の方による実行委員を組織としたこと、主体的に関わることで式典を「作り上げていく」から「作り上げた」と修正しました。11ページでは、課題に対する取組について、実績欄を参照していただくよう修正しました。13ページでは、「今後もPRしていく」としたところを、PRについて「駐車場や門に利用を勧める掲示等を行った」と修正しました。修正箇所については以上となっております。

では次に、令和4年度社会教育事業実績報告については、事前に会議資料とともに、御意見御質問シートをお送りしています。中央図書館、スポーツ振興課の事業につきまして、御意見御質問シートが届いております。

稲葉委員から御質問をいただいています。中央図書館への質問です。中央図書館事業について。令和4年度から電子図書館の導入、今年度電子図書館事業の拡充とありますが、どのように進めていくのですかと御質問をいただきました。中央図書館から回答をお願いいたします。

○中央図書館柴原館長

中央図書館館長の柴原です。どうぞよろしくをお願いいたします。

稲葉委員から事前に御質問いただいている件につきましてお答え申し上げます。電子図書館サービスは、昨年10月の4日から開始いたしました。現在、幾つ種類があるかというコンテンツ数は、本日現在1,587点がインターネット等で御覧いただける状況になっています。令和5年度に向けてどのように進めていくかというところですが、まずはコンテンツを増やしていくという計画をしています。令和4年度の電子書籍の使用料の予算を748万円計上していましたが、令和5年度は1,000万円に増額しています。予算を増やしコンテンツを増やすということを計画しています。また利用状況の傾向もまだ1年経っていないのですが、掘みながらどのようなものを御用意したらいいのかということの研究してニーズに合ったものを御用意できるように整備して参ります。また資料の選定について、紙の資料はどのような方針で資料を集めていくかという資料の収集方針は決めています。ただ電子書籍は、我々も経験値が少ないので、先ほど申し上げましたように利用の傾向を把握調査しながら方針と収集の基準を検討しているところなのですが、決めていきたいと考えています。最後に電子書籍サービスを提供していますが、利用されないと無駄になってしまうので今後利用の拡大を図る上で、まだ具体的な時期というものは確定はしていませんが、今後学校現場で例えばGIGA

端末が、すでに児童生徒1人1台という形での配備が進められているので、活用して子供さんたちにも是非身近に使っていただけないかということも併せて、担当課も含めて調査研究していきたいと考えています。このような方針で拡充を図っていきたいと考えています。以上です。

○鈴木議長

稲葉委員ただいまの中央図書館の回答に対していかがですか。

○稲葉委員

ありがとうございました。まだ始まったばかりだということで、これから子供たちの現場に戻していただけるということでもよろしくお願ひしたいと思ひます。

○鈴木議長

ありがとうございました。それでは次の方お願ひいたします。

○事務局

次に、谷村委員から御質問をいただひています。

6ページのスポーツ振興課へつくばマラソンの質問です。去年初めてボランティアで参加したのですが、とてもランナーを大切にした対応でした。新型コロナウイルス対策も素晴らしかったです。スポーツ振興課とボランティア団体との連携はどのようにしているのですかと御質問をいただきました。スポーツ振興課から回答をお願ひいたします。

○スポーツ振興課大久保課長

スポーツ振興課課長の久保と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。谷村委員の御質問で、スポーツ振興課とマラソンのボランティアの連携ということですが、一連の流れの中で出てきますので御存知かと思ひますが御説明させていただければと思ひます。まずボランティアですが、個人ボランティアと団体ボランティアいます。団体ボランティアは市内外の企業が社員とともに一緒にボランティアをしています。個人のボランティアに関して

は、企業も含めてですが、今現在募集をしています。一般公募となっております。昨年、第42回大会に谷村委員は御協力いただいたのかなと思うのですが、そちらで手伝っていただいたボランティアの方には今回、今年は何月何日にやりますというような形で御協力くださいという通知を出しています。その他に一般公募という形で市報やその他ホームページ等で今呼びかけているところです。申し込みにつきましては今月いっぱい8月31日までとなっております。ボランティアの方と本部とのやりとりですが、各ボランティアはまず給水ボランティア、その他のランナーに注意等の呼びかけなどのボランティアの方がいらっしゃいます。全部で約500名近く、昨年で言いますと440名の方がいらっしゃいまして、係毎に代表の方を決めています。その代表の方と私どもが電話やメールで連絡を取り合って、現地でボランティアをやっていただいて連携をとっているのが現状です。今年は11月26日に開催を予定して、現在ボランティアを募集していますが、新たに市内の企業も今年手を挙げていただいています。まだ決定していませんので社名はこの場では控えさせていただきますと思いますが、今年もこのような形で実施予定です。

○鈴木議長

ありがとうございました。谷村委員ただいまの回答に関しまして何かございますか。

○谷村委員

ありがとうございます。やってみないとわからないことがたくさんあると思いますが、昨年体験して、ランナーの人に何を提供するのか企業に任せているのか、コロナ対策で何を4等分して提供したとか、それが今コロナなので全部袋に入ったものを出しているという心遣いが、細かいところであったので、そういうところまで指示をしているのかなと思いました。でも代表の方といろいろ連携をとっていることがわかりました。ありがとうございました。

○鈴木議長

ありがとうございました。事前にいただきました質問は以上2点です。それでは資料1に関しまして、他に何かございますか。特に御意見等がなければ、議事1 令和4年度社会教育事業実績報告については以上とさせていただきます。続きまして議事2に進めさせていただきます。議事2は、社会教育事業の視察について議題といたします。まずは事務局から御説明をお願いいたします。

○事務局

これまで社会教育事業報告について、御意見、助言等をいただいていたが、実際に事業を見ていただくことを提案させていただきたいと思います。お手元の資料2を御覧ください。社会教育事業の視察について説明いたします。

1 乳児家庭教育学級について。昨今の家族形成の多様化や地域社会との繋がり希薄化等、家庭を取り巻く環境が大きく変化し、様々な問題を抱えている家族も少なくありません。そこで、幼少期から家庭教育学級を支援していくために、初めて子育てする保護者を対象に、月齢2か月から10か月までの乳児と保護者が15組程度参加する乳児家庭教育学級を春と秋、冬にそれぞれ全5回の講座を開催しています。開催場所は市内北部の大穂交流センター、市内中央の並木交流センター、市内南部の市民ホールやたべの3つの会場で開催しています。その中の大穂交流センターの様子を視察していただくことを提案いたします。視察事業大穂乳児家庭教育学級。開催場所大穂交流センター。開催時間、午前10時から午前11時10分。開催日令和5年9月5日(火) 内容、第1回はじめましての会。(オリエンテーション)。集合場所、市庁舎正面玄関前。集合時間、午前9時20分。報酬、費用弁償ありです。人数は希望される委員全て可能です。

2 青少年体験学習事業「スマホお助け隊」について。本事業は、生涯学習推

進課青少年教育係が、担当する青少年体験学習事業における輝け！中高生わくわく企画内の取組です。中高生の自主的な活動を支援、促進し、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、地域貢献やコミュニケーション力、またリーダーとしての資質を深める機会となることを目的としています。「スマホお助け隊」は、つくば市内に在住、在学の中高生が、カスミのスマホ決済Scan&Goの使用方法について、サポートを受けたい地域の方に対し、レクチャーを行い、実際に買い物をする企画です。参加申込のあった中高生10名を対象に、8月8日(火)カスミ社員の方を講師に迎え、カスミ本社においてScan&Goのやり方及び教え方について講習を行います。その後、8月22日(火)にScan&Goについて学んだ中高生が、実際にBLANDE研究学園店において、参加者(Scan&Goの使用方法についてサポートを受けたい地域の方)に対して、Scan&Go使用方法のレクチャーを行い、買い物するまで体験してもらいます。

視察事業「輝け！中高生わくわく企画スマホお助け隊」開催場所カスミBLANDE研究学園店。開催時間午後2時から午後3時30分。開催日、令和5年8月23日(火)。内容、市内中学生・高校生による「スマホお助け隊」が、スマホ決済のやり方をサポートし実際の店舗で買い物をする。集合場所、市庁舎正面玄関前。集合時間、午後1時45分。報酬・費用弁償あり。店舗営業中のため参加人数に限りがあります。こちらは3名とさせていただきます。申し込み多数の場合は調整させていただきます。以上です。

○鈴木議長

ありがとうございました。乳幼児家庭教育学級、それから輝け中高生わくわく企画、そしてスマホで買い物をしてみようという、社会教育事業の視察についての御説明をいただきましたが、この事業について、委員の皆様から御意見御質問等ございますか。上田委員、お願いいたします。

○上田委員

S c a n & G o の中高生のわくわく企画ですが、10名というのは中高生の応募があったのが10名で、それに対してこのチラシにある10名は、その中高生のサポートを受けながら買い物をしたいという方が10名ということでしょうか。

○鈴木議長

事務局いかがですか。

○事務局

実際に体験をしたい方を10名としています。

○上田委員

買い物に来られるシニアの方が10名。

○事務局

その10名になります。

○上田委員

高校生、中高生が10名応募してもらい、使い方をカスミの社員の方から事前にレクチャーを受けて、たくさんシニアの方が来られたときに、サポートしてあげようというふうに考えているのに、実際買い物に来られる方10名だと、それはやっていて面白いのかどうかという、楽しいということがすごく大事だと思うので、そのあたりについてチラシを見ながら疑問に思ったのですがもし何かお考えがあればお願いします。

○鈴木議長

事務局いかがでしょうか。

○事務局

生涯学習推進課です。御意見ありがとうございます。こちらは中高生による企画で初めての取組です。またカスミさんの御協力もいただいて行う事業になりますので、まずは10名程度で人数は今回限定させていただいております。この企画は今回の結果を受けてさらに発展させて拡大していきたいとい

う考えもありますので、まずは手応えを感じてみたいのでこの人数とさせていただきます。

○上田委員

ありがとうございます。きっかけだと思いますので、シニアの方でスマホやアプリの使い方はすごくハードルを感じていらっしゃる方いると思います。この買い物の場面だけではなくそういう意味では中高生が得意な部分を、シニアの方のサポートをして交流ができるような事業につなげていただければ、すごく意味のある取組かなと感じました。以上です。

○鈴木議長

中高生にとってもシニアの方にとってもとても楽しみな企画ですが、第1回目ということで、まずはというようなお話でした。その他何か皆様、御意見や御感想、御提案等ありましたらお願いいたします。

○金井委員

金井と申します。実際にこの中高生わくわく企画は、各企画10名程度となっていますが、どのくらいの中高生が申し込まれた中での10名なのかというのを伺いたいのと、乳幼児家庭教育学級大穂の視察ということなのですが、こちら15組となっているのですが、今のところどのくらいの申込みがあるのかを教えてくださいたいと思います。お願いいたします。

○事務局

生涯学習推進課です。まず中高生のスマホの方ですが、申込みされた中高生ちょうど10名になります。すべての方が抽選なく体験していただくことになっています。

○事務局

乳児家庭教育学級の申込みは8月1日から申し込みを開始させていただきました。現在大穂(学級)が5組、並木(学級)が今のところ0組、みどりの(学級)は6組です。以上です。

○金井委員

ありがとうございました。せっかくのこういう企画で、つくば市全体の中学生にどのように案内しているかわからないのですが 10 名満たされたのは良かったと思います。応募自体がつくば市全体に案内したのだとしたら、かなり少ないと思うので、今後どうやって広げていくか考えられたらと思います。ありがとうございました。

○鈴木議長

事務局いかがでしょうか。

○事務局

今後参考にさせていただきます、来年度考えさせていただきます。ありがとうございます。

○鈴木議長

他に何かございますか。資料 2 全体の御質問でも結構です。

○長橋委員

金井委員と同じようなことですが、中高生の企画の募集はどのような形でかけたのでしょうか。学校として皆さんに子供たちに企画を伝えたのか、それとも市報等で伝えたのかお伺いしたいです。よろしくお願いします。

○鈴木議長

事務局いかがですか。

○事務局

7月号の広報掲載につきまして、ホームページ、ツイッター及びつくスマで周知を図りました。またカスミの方にも御協力いただき、カスミの店舗にも掲示を依頼させていただきました。以上です。

○長橋委員

ありがとうございます。SNSが使われたというのは、結構子供たちは反応すると思うので良いと思うのですが、学校をとおして伝えていただけると、

子供たちが興味持っていただけるのかなと思うので、今後検討していただければと思います。よろしく申し上げます。

○事務局

ありがとうございます。来年度参考にさせていただきます。

○鈴木議長

貴重な御意見ありがとうございました。他にはこの資料2関係につきまして何かございませんでしょうか。資料2に関して特に御質問がないようでしたら委員の皆様方に、この視察についてお諮りをしたいと思います。この視察に関して、皆様方が参加してみたいというのも込め、いいなと思われましたら拍手をお願いいただけますでしょうか。

《拍手》

では社会教育事業の視察を行いたいと思います。では議事2 社会教育事業の視察については以上とさせていただきます。議事2について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

社会教育事業の視察について、御承認いただきありがとうございます。事業を御覧いただき、次回の社会教育委員会議において、御意見、御感想をいただけたらと思います。視察の参加につきましては、資料2の最後に添付してあります、社会教育事業参加希望調査票を8月9日までに、生涯学習推進課へ提出していただきますようお願いいたします。参加される方には、8月15日頃通知いたしますのでよろしくお願いいたします。

○鈴木議長

今日この場で書いて提出するということは可能でしょうか。

○事務局

はい、可能です。

○鈴木議長

では以上で議事2は結びとさせていただきます。委員の皆様方、本日の議事を1と2進めて参りましたが、ここまでで何かございますか。他にないようでしたら本日の議事は結びとさせていただきます。続きまして5その他、令和5年度第1回社会教育委員研修会の報告の前に、私から一つお話をさせていただきます。前回の会議の中で、市役所のスタッフの方がいないところで、委員だけでお話させていただける機会があったら良いのではないかとこのお話をさせていただきました。これからの社会教育委員として活動するために、委員同士で情報交換する機会を設けてみたいと常々思っていました。と申しますのは、ここにいらっしゃる委員の皆様方それぞれの分野でトップクラスの方であり、また経験豊富な方であり、様々な役職をお持ちの方でいらっしゃるにもかかわらず、私自身も長く委員をしているのですが、皆様方とほとんどお話したことがなくて、本当はどんなお考えをお持ちなのか、コミュニケーションを取りたいとずっと思っていました。ですが、別の日にちをとってお食事会等もできればいいのですが、皆様方お忙しいですし、そういった時間もなかなかないと思いますので、この会議の10分でも前の時間に小さな控え室で委員だけが集まって、録音なしで本音をお話できる場があったら、より深いお話やコミュニケーションもとれますし、また委員同士で情報交換ができるとずっと思っていました。私も今回、議長というお役目をいただきましたけれども、まだ若輩者で色々わからないことがありますので、皆様からたくさん情報をいただき、御意見を録音なしで聞きたいので是非場を設けたいと考えていますので、もしよろしければ次回からお試しでもいいので、会議の前に広い部屋だと距離が遠いので、狭い一つ二つぐらいのテーブルでお話できるような場があったらと思い、御提案をさせていただきます。委員の皆様、この件に関しまして、いかがでしょうか。一人ずつ一言お願いします。

○飯岡委員

鈴木議長の提案はいいことだと思いますが、その前段で今日の流れを見させていただいて、議事で1と2があつという間に終わってしまって、その他のところで、この前上田委員さんが各種団体から来ているので、例えば、私はつくば市子供会育成連合会の会長をさせていただいているのですが、そのことについてみんなで話す場を設けていただければという話も出てくるのかなと思っていたのですが、鈴木議長の提案はいいことだと思います。

○鈴木議長

ありがとうございます。

○石黒委員

石黒でございます。一応スポーツ協会という形が出ていますが、社会教育という立場で考えると、子供食堂や子供たちに対して、現実的体験を通して生き抜く力を身につけようというすごいコンセプトで色々な事業を展開しています。子供会の場合、人数が少なくて子供会が本来やれた祭りがなしになったり、その現状をざっくばらんに話し合う場があったら色々な意見を聞くことができるのではと思いました。

○石塚委員

入ったばかりなので、特にざっくばらんな意見の交換はすごく必要だと思うし、私自身も本当に参加して話し合いたいと思っています。そして、今日の話の中でも、例えばスマホでお買い物しましょうという企画は、シルバークラブの事業としても考えている分野なので興味のあることなのですが、募集人員がこれだけだと参加不可能だと思いますし、これから発展的にやっていただいて事業も進めて欲しいと思います。皆でお話するのは大賛成です。よろしく申し上げます。

○稲葉委員

お話し合いすることはいいことだと思います。よろしくお願ひいたします。

○上田委員

上田です。議長の御提案は、僕は賛成です。こういう形で交流を深めながら色々な意見が出る会になればいいと思っています。

○金井委員

私も議長の意見に賛成で、皆さんお忙しいでしょうから会議の前後にお時間作って情報交換や共有ができたらいいと思います。今日時間が余ったら少しでもお話できたらいいと思っています。

○高田委員

それぞれの委員の方がその専門の分野で色々な社会教育をサポートするのは、賛成です。それから感じたのは、つくば市の社会教育委員会として、協働のような取組が皆さんと話し合いながら検討するという事に繋がってほしいかなと思います。是非皆さんとお話をしながら、次のステップとして協働の取組ができればと思います。以上です。

○谷村委員

前回ジオパークのお話を伺って、それぞれ委員の皆さんが本当に深いところで活躍されているということを知り、雑談でコミュニケーションが取れたら、この会議の発言の受けとめ方も違ってくると思うので、短い時間でも是非実施していただきたいと思っています。

○長橋委員

毎回ここに来ていただいて、会議の前にお隣の委員の方とお話をさせていただいたのですが、雑談が楽しみで来させていただいているようなものなので、是非御提案どおり話し合いの場を設けていただけたらうれしく思います。

○中山委員

井戸端会議賛成です。ただ、多分16の方が全員揃ったら時間が足りないと思うので、時間はある程度区切らなくてはならないと思います。ヒートアップすると、それで終わらないこともあると思うので、会議の後、会議を

3時から又は2時半から行き、時間を切って4時位から事務局は退散していただければ時間的にもいいのかなと思います。

○布浦委員

この件につきましては、前回委員の中から出て、今日議長から取り上げていただきまして、ありがたいことだと思います。大賛成です。良い情報交換ができて、目指す社会教育委員の仕事がアップされるのではないかと感じます。私も4日前中学生15人を引率して、友好都市であります韓国の大田(テジョン)広域市の方に社会、文化、科学体験等して帰ってきたばかりです。国際感覚を磨いたり、色々な友好を深めていくこれからの若い人たちのお話もさせていただけたらと思います。よろしく願いいたします。

○坪委員

議長が変わったところでもありますので、少しやり方をいろいろ試行してみるか、変えてみるのもいいだろうと私は思っています。そもそも社会教育委員って何をするのが、基本的にファジーなままなので、委員が多くお互いがお互いを知らないのもう少し緊密になって色々な社会教育委員としてやることは何なのだろうということを素直に話し合えたらもっと良い委員会になれると思います。また役所の方のお仕事にも、バックアップができるかなと思っています。私は賛成です。

○鈴木議長

ありがとうございました。ではミニミニ井戸端会議をお諮りします。賛成でしたら拍手をお願いします。

《拍手》

ありがとうございます。ではどのような形で次回いたしましょうか。1回目ですので会議の前がいいか、後がいいかということになりますけれど、坪委員どうでしょうか。

○坪委員

午後でもいいのでしょうかこの会議は。

○事務局

午前中でも午後でも開催は大丈夫です。

○坪委員

午前中始まる前に10分位前に委員が集まることは、非常にせわしない感じもするので、午後ならこの会議を開催して終わり次第、委員だけで話し合う機会を持つ。それが30分でもいいし40分位の方がゆっくり話せるかなと思います。

○鈴木議長

時間を決めて、例えば今日は開催しませんが、今日の場合、終わりましたら少しお時間がある方は少しお話しませんかという流れで20分ぐらい録音なしで小さなお部屋等で、少し形態を変えてやらせていただくことはよろしいでしょうか。

○事務局

はい。可能です。

○谷村委員

会の持ち方なのですが、前回ジオパークの話 皆さんにさせていただいて、そうすると正式な会になってしまう気がします。あくまでも雑談でこのような活動や課題をもっている等身近なところでお話したいです。半分なり3分の1なり小さなグループでざっくばらんに発言ができる形をお願いします。

○鈴木議長

こういう形ですとやはり会議みたいになってしまうので、きっちりしたものではなく本当に井戸端的でお話もディープに話し合うよりアトランダムにお話する情報交換のようなイメージで、きっちりした報告会というイメージではないのですがいかがですか。

○谷村委員

その方がいいと思います。話の流れで、例えば布浦先生の国際的な活動の話だけで終わるかもしれない。でもまた次回に違う方の話が聞けたり、本当に自由な形を想定して欲しいです。

○鈴木議長

ジオパークの話や外国の方との友好の話などは、録音しても大丈夫なお話ですので、コンパクトに発表していただくのはいいかなと思いますが、そうじゃないお話をできたらと思いますが、上田先生、その辺りいかがでしょうか。

○上田委員

確かにこれだけの人数が集まってしまうと、話し足りない方とかも出てくると思うのでどういう形でやるのが一番いいのかあれですけども、自己紹介カードのようなものを用意しながら皆が共有できていると、こういうこともされてきたのだなということもわかるかなと思います。あとはあくまで強制ではなく自由参加という形で、途中退場も途中参加も大丈夫というような、もう少しフランクな形になるといいと思います。

○鈴木議長

そうですね。本当に井戸端会議でフランクなイメージで私はいます。

○上田委員

前か後に後に 30 分位取って。

○鈴木議長

そうですね。30分が限度かなと思います。10分でもこんにちは、お元気でしたってということさえもできずにいたのが長年気がかりだったので、せっかく素晴らしいメンバーなので、交流もできたらと思います。

○坪委員

まず一度集まってみないことには、形についてどうするかというのは難しいと思います。忘れてならないのは、社会教育委員は何をするのかというこ

とを踏み外さないことです。社会教育委員は何をするのか研修を受ける機会が必要だと思っています。

○鈴木議長

では次回事務局とも相談して終わってから時間が少し取れるような形で、御連絡できればと考えています。強制参加ではなく、お名前等をしっかり覚えてこんな方なのだということを知りたいというところからのお話ですので、御協力をいただけたらありがたく思います。よろしく願いいたします。

○飯岡委員

一つ気になる点があります。次回開催というのはこの開催の時でしょうか。なぜかという、任期は令和6年7月31日なので会議は来年の1回しかないと思います。7月31日で終わると今日8月ですからこの会議を利用すると1回しか集まらないという問題点が生じるのですが。

○鈴木議長

どうします？そうなのですね。

○飯岡委員

そうでなければ、ありがたいのですが。そうすると上田先生や他のメンバーも変わる可能性があると思うのですが、どうなのでしょう。

○鈴木議長

任期の関係でメンバーが変わる可能性もあるのですね。

○事務局

では退任の前にもう一度来年度開催という形にさせていただければ2回ですがいかがですか。

○飯岡委員

来年度このメンバーで行うのはあと1回しかないと思うのですが。

○事務局

来年任期の前に3月ともう一度調整させていただくという形でいかがでし

ようか。

○飯岡委員

それから、会議で話した結果を最終的には行政に生かしていかななくてはいけないと思っているのでそのような方向で持っていただければと思います。

○鈴木議長

行政の方には報告はいたしませんけれども、何かの形でお役に立てるような中身のある井戸端会議座談会ができればいいと思っています。御意見ありがとうございました。それではこの話題に関しましてはここまでで結びとさせていただきます。続きまして令和5年度第1回社会教育委員研修会報告について事務局からお願いします。

○事務局

7月18日に開催されました社会教育委員研修会について御報告いたします。7月18日に開催された社会教育研修会において、令和6年度の全国社会教育研修大会茨城大会についてお話がありましたので、御報告させていただきます。令和6年度第66回全国社会教育大会が、茨城県で開催されることになりました。開催日は、令和6年10月23日(水)から25日(金)まで、水戸市民会館、みと文化交流プラザにおいて開催されることが決定いたしました。参加費は4,000円となっておりますが、市の負担とさせていただきますので委員の皆様におかれましては、参加していただくようお願いいたします。開催が水戸ですので、公用車を用意させていただきます皆様と一緒に事務局が車で御案内いたします。次の社会教育委員研修会が10月12日常総市で開催されます。このとき令和6年度の茨城大会について詳細が述べられることとなっておりますので、社会教育委員研修会にも参加していただくようお願いいたします。以上です。

○鈴木議長

はい、ありがとうございました。研修会多くの委員の皆様方に御参加いただきたいということでございまして参加費は市負担で、公用車を用意して皆様一緒に相乗りで会場に連れて行っていただけるということでした。参加できる方は、事務局に連絡をさしあげればよろしいでしょうか。

○事務局

詳細が決まり次第御連絡します。

○鈴木議長

詳細が決まり次第御連絡をくださるということですので、スケジュールを御確認の上、なるべく多くの委員の皆様参加をよろしくお願いいたします。それでは、他に委員の皆様方から、何かございますか。無いようでしたら以上で議事を終了させていただきます。事務局の方から何かございますか。

○事務局

(全国社会教育研修大会茨城大会は)来年度の話になっております、大変申し訳ありません。

昨年社会教育指導員の活動をまとめました、令和4年度社会教育指導員事業報告書を机上に置かせていただきましたので御覧ください。以上です。

○鈴木議長

長橋委員お願いいたします。

○長橋委員

社会教育指導員の報告書をざっと見させていただいたのですが、学校で行っている家庭教育学級の感想が書いてあったのですが、ここに書いてあったものでなく、私が伺ったことがあることを2点ほどお伝えさせていただきます。1点は家庭教育学級で選んだ動画以外でも視聴したい動画があったので、希望があれば視聴できるとありがたいという意見をいただいています。

もう1点は、報告書を家庭教育学級で市に提出しているのですが、その報告書を次年度の家庭教育委員が参照できるようにしていただきたい。その報

告書が非常に次年度の実施に対し計画を立てるのにすごく役立つということなので、報告書を見られるような形にして欲しいという意見がありましたので、御検討よろしく申し上げます。

○事務局

次年度に向けて検討させていただきます。ありがとうございました。

○長橋委員

家庭教育委員は毎年人が変わってしまい、引き継ぎはそれぞれ学校ごとにやるべきことなのですが、人が変わったときに、本当に何もわからない状態で始めなければいけないので困っているという意見をいただいたので是非お願いいたします。

○事務局

ありがとうございます。

○鈴木議長

他に何かございますか。上田委員お願いいたします。

○上田委員

先ほど飯岡委員の方からもありましたように、せっかく担当課から職員の方も来ていただいていますので、もし時間があるのであれば実績報告書について、課題と対応等細かな説明は必要ありませんので少し紹介いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○鈴木議長

事務局いかがでしょうか。

○事務局

お願いいたします。大丈夫です。では中央図書館から御説明を順番にお願いしたいのですがよろしいでしょうか。

○鈴木議長

では資料1を御覧ください。各担当課から御説明をしていただきます。中

中央図書館お願いいたします。

○中央図書館柴原館長

中央図書館館長の柴原です。事前質問の時にも少し触れさせていただきましたが、昨年度始まった新しいサービスについて幾つか御紹介させていただきます。

電子図書館サービスを10月4日から開始したのですが、実は10月4日のタイミングは、図書館コンピューターシステムの5年に1度の入れ替え時期がありまして、昨年度入れ替えをしました。現行の新しいシステムに切り替わったのが10月当初からになり、それに合わせて電子図書館サービスを開始いたしました。また、お手元の資料1ページ図書館運営に要する事業の成果にあります、コミュニティ棟での予約本の貸し出しを開始したというところなのですがコミュニティ棟というのは、この市役所の敷地北側に別棟があります。その1階の受付で、インターネット等で事前に予約をいただいた資料の本の受取りがコミュニティ棟でできるというサービスを同時期に開始しています。また今年度6月17日から開始したのですが、今年4月に開校した香取台小学校の敷地内に香取台交流館という、いわゆる児童クラブと一般開放の会議室が備えてある施設があるのですが、1階の受付でも同様に予約本の受取りができるというサービスを開始したところです。令和5年度10月1日に予定しております、研究学園小学校の図書室、家庭科室、多目的室を一般の方に開放させていただきます。ただ児童の皆さんがいる時間帯は、色々管理上も不都合がありますので、土曜日、日曜日そして一部の祝日について、図書室も含めた部屋の開放を行います。そのうち図書室部分が我々が大きく関わる場所ですが、中央図書館から約3,000冊ほど一般の方に向けての貸出ができる本を配本しました。先月の末に実際に配本をしています。来週、書架に配架する作業を予定しています。それが図書館運営に要する事業の部分です。3年間コロナウイルス感染症で色々イベントが中止や縮小、やり方

を工夫して実施したこともありますが、今年度は、ほぼコロナウイルス感染症以前に戻った形でイベントを実施しています。特にライブラリーピクニックといいまして、自動車図書館を中央図書館の館外に配置して、外でコーヒー片手に本を読んでいただいたり、外での読み聞かせを今年度5月にやることができました。このような引き続き新しい図書館の楽しみ方も提案していきたいと考えています。

次のページはオンライン地域交流センター4か所の分館的機能を持った交流センター図書室がありますが、令和5年度は資料の充実を図るところで、図書を購入するための費用の予算を若干ではありますが、多く要求して予算をいただいています。簡単ではございますが、以上御報告とさせていただきます。

○鈴木議長

続きまして文化芸術課お願いいたします。

○文化芸術課矢口課長補佐

文化芸術課課長補佐の矢口です。よろしく申し上げます。文化芸術課では文化祭の開催事業について説明させていただきます。今年度は文化祭の開催が11月4日、5日の2日間となります。ノバホール音楽祭に関しては翌週の11日、12日の2日間開催を予定しています。会場は7会場を予定しています。会場は毎年一緒に実施しています。内容はステージの発表の部門、展示、カピオで小中学生芸術展を開催しています。こちらは家族の方が来ていますので、かなりの人数が集まっています。実際、参加団体数は令和5年度320団体予定していますが、現在、応募が318団体と大体同じ数字にはなっています。応募は今締め切っていますが、場所にもよりますが空いているところ、ステージの発表も時間的に余裕のあるところは、まだ受付はします。若干数字的には変わってくると思います。文化祭についての課題ですが、参加者に高齢者が多いので、若い世代を引き入れたいのですが、中々

入ってきていただけない状況です。文化祭については以上です。

○鈴木議長

ありがとうございました。地域支援課、お願いいたします。

○地域支援課大口課長

地域支援課大口です。資料をご覧ください。地域支援課地域交流センター事業として、令和4年度106講座実施しています。延べ人数で3,012人という実績となっています。成果としましては新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で開催となりましたが、ワクチンの接種と規制緩和の動きが徐々に浸透してきたことにより、人数等も増加傾向と確認しています。以前にもありましたが、課題としましては人数が少なくて講座が中止となったという講座があるということだったと思うのですが、その部分についても市民のニーズをアンケート等を取り把握するとともに、少ない人数であっても開催できる重要な講座もありますので、開催できるよう進めさせていただきたいと思っております。令和5年度も同様に引き続き講座を開催して参りたいと思っております。主に生涯学習事業として交流センターが実施している地域交流センター講座を継続するとともに、地域交流センターを利用して実施している生涯学習事業、家庭教育学級、高齢者学級等についても引き続き場の提供をして参ります。関係部署と連携しながら生涯学習団体への支援、センター講座に取り組んで参ります。以上です。

○鈴木議長

ありがとうございました。続きましてスポーツ振興課お願いいたします。

○スポーツ振興課竹前係長

スポーツ振興課係長の竹前です。6ページにスポーツ振興課スポーツ大会開催事業を掲載しています。主なイベントとして4つ行ってまして、会議の中でも話に上がりましたつくばマラソン、そしてつくばマラソンよりも距離の短い健康マラソン、ウォークラリーと言ってグループで歩行するイベン

ト、そして様々な体験ができるつくばスポーツフェスティバルというイベントを実施しています。コロナウイルス感染症の影響で2年間実施できていませんでしたが、令和4年度は、3年ぶりに全てのイベントを開催することができました。昨年度コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小していたものもありましたが、令和5年度は少し規模を広げて、つくばマラソンにおいては去年よりも1,500人定員を増やして開催しようと参加者を募集しましたが、幸いにも定員いっぱいになり今年も無事に開催できる見込みです。今準備を進めています。また7ページには、スポーツ振興事業を掲載しています。こちらはスポーツ教室やスポーツイベント、そして市民スポーツ振興の啓発等を実施しております。主に実績として書かせていただいておりますがスポーツ教室について、様々な教室を開催することができました。令和5年度も引き続き教室を開催するとともに、そのほかに障害者スポーツの推進等も行っています。そして中学校の部活動についても、検討を進める必要があると思っていますので、教育局との連携も必要かと思っています。このように取り組んでいこうと考えています。以上です。

○鈴木議長

ありがとうございました。

○地域支援課大口課長

追加でよろしいでしょうか。説明を補足しまして、生涯学習施設のふれあいプラザの管理については指定管理者制度による管理となっています。講座も指定管理者で企画して、地域交流センターと同様に講座を実施しています。また、施設のメンテナンスにつきましては、地域支援課で実施しています。以上です。

○鈴木議長

生涯学習推進課の説明をお願いいたします。

○生涯学習推進課色川課長補佐

生涯学習推進課です。8ページを御覧ください。事業名は青少年健全育成事業です。目的としては、未来のつくば市を担う青少年が健やかにたくましく成長できるように支援をしています。主に支援の内容は、事業計画の実績のとおり、青少年の相談員の活動の支援を行っています。青少年の相談員の活動は、毎月支部長会を開催して支部長と情報交換会を行っています。また、別添で補助金交付事業も支援活動を行っています。つくば市子供会育成連合会の3団体に補助金交付の支援をしています。また、青少年を育てる市民の会5団体にも補助金交付の支援活動をしています。実際4年度の課題への取組は、効果的な青少年健全育成活動を図るために令和4年度特に青少年相談員の支部長会で揉んだのですが、人権教育啓発研修を行いました。

9ページを御覧ください。つくば市二十歳の集いの事業説明です。目的としては、二十歳を迎える市内の若者が一堂に会し大人への門出を祝うことで社会の一員としての自覚の自覚と責任を促すために、二十歳の集いと名称を改めて、式典をつくばカピオアリーナで令和5年1月8日(日)に開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、密にならないように午前の部、午後の部2回に分けて実施しました。実行委員の会議の中で決めた今回のアトラクション中身は、恩師VTRを作成して新たなアトラクションとして式典当日に放映しました。式典自体は約30分間です。恩師VTRは後日式典動画では放映できなかったのですが、年度内まで放映することができました。そしてこの二十歳の集いの課題の取組は、実行委員の委員会を組織して主体的に関わったので、社会の一員としての自覚と誇りを感じられるような式典を作り上げるという目的を達成できたと感じています。

10ページを御覧ください。青少年体験学習事業です。目的は、青少年の自己肯定感、自己有用感を育むとともに社会力を育成しようという目的を掲げています。内容は、青少年体験学習事業を行いました。参加者数は55人です。また、もう一つは青少年の居場所事業です。地域交流センター7か所で行い

ました。この指とまれ事業では、8月10日に中高生の自主企画として、ドリームフェスタを行うことができました。多くの中高生に応募いただき大変好評でした。そして子供体験事業補助金では、9団体から申請が上がり交付を行いました。課題への取組は、この指とまれの事業に加え青少年体験学習事業のロボットワークショップと名称を変更してより良い科学の体験がしたい青少年に対して周知を行うことができました。また青少年居場所事業でも、特別企画を行い居場所事業の周知に努めました。以上です。ありがとうございました。

○生涯学習推進課渡辺係長

11ページの科学教育推進事業について御案内させていただきたいと思います。担当係長の渡辺です。よろしくお願いたします。この科学教育推進事業については3つの事業で構成されています。11ページの左側、一番左の事業計画に1、2、3と振っている3つの事業です。科学出前レクチャー事業は、つくば市の特色である研究機関の研究員の方々に御協力をいただいて、学校の授業等で自分の専門等のお話を児童生徒にさせていただくものです。また、毎年夏休み期間中に実施するつくばちびっこ博士事業、そしてつくば科学フェスティバル事業という毎年秋頃につくばカピオで研究機関や学校にブース出展していただいて、子供たちに科学の気づきを得ていただく3つの事業で構成しています。

令和5年度の計画をメインでお話させていただこうと思いますが、中段の令和4年度の実績は、御覧いただいているとおり、令和3年度に生まれた課題を踏まえて取組み、御覧いただいているような実績を上げることができました。1番目の科学出前レクチャーは、課題であった新型コロナウイルス感染症で大きく減ってしまった実施回数の増について一定の効果が出せたということ。また、ちびっこ博士につきましては、つくば市科学技術戦略課の取組である「つくばSTEAMコンパス」というホームページコンテンツと連

携し、実際に気づいたことや疑問に思ったことを聞くことができるようなコンテンツを作ることができました。科学フェスティバルにつきましては、新型コロナウイルス感染症の対策を実施した上で、2019年以來開催することができ、1万人を超える方においでいただくことができました。

このような令和4年度の実績を踏まえて、令和5年度は、つくば科学出前レクチャーをもう少し活用していただきたいので、学校との連携をしながら、回数を増やしていきたいと思っています。ちびっ子博士事業につきましては、今年もすでに始まっていますが、39の研究機関等の御協力をいただきまして動画と現地見学を実施しています。例年どおり、紙のパスポートを市内の小中学生全員に配って楽しんでいただいています。さらに今年新たなチャレンジとして、つくば市の子供たちが1人1台持っている学習者用端末を使って、デジタル形式でちびっこ博士を別途楽しんでいただける取組を開催しています。こうすることでクイズに答えて終わりになりがちだったものから更に知りたかったことが知れるきっかけづくりを行ったり、学校現場でもデジタルで結果が集まってくることで、子供たちはこんなことに興味があったんだということを授業につなげたり、実はこんなことが好きだったんだというキャリア教育にも生かしていけたりするのではないかと期待しています。最後につくば科学フェスティバル事業については、2年に1度の開催のため今年度は開催をしない年になりますが、来年度の開催に向けてより良い事業になるため検討していきたいと思っています。以上です。

○鈴木議長

委員の皆様から何かございますか。

○石塚委員

石塚でございます。実績について色々お話いただいたのですが、その中で色々な事業についてはしっかりお話いただいたのですが、取組の目標値が余りにも目標のための目標になっているのではないかと思います。目標は、

達成するための目標も目標ですが、努力目標も目標ですよ。今までの実績よりも、来年の目標が少ないのもどうかと思うし、余りにも高いのもどうかと思うので今までの目標と同じような数字を載せているような目標になっているような気がします。これからの目標の設定については、しっかりした目標を作っていた方がいいのではと思いました。以上です。

○鈴木議長

来年に反映していただければと思います。御意見ありがとうございました。

○石黒委員

市民文化祭について、子供食堂を第1と第3でやっているのですが、市が運営するものは使えないのは承知していて、豊里交流センターで子供食堂をやっています。第2と第3にまた変更したので、事前に準備をしないと提供するの結構大変です。60食作るとなると第2金曜日の夜借りたいのですが、金曜日までは使用禁止になっているそうなので、できたら例外でもいいので夜8時から10時までの間だけやっていただけるよう是非御検討をお願いしたいです。

○鈴木議長

文化芸術課担当の方いかがですか。

○文化芸術課矢口課長補佐

交流センターを夜使いたいという話については、地域支援課等と相談して検討していきたいと思います。

○石黒委員

ありがとうございます。よろしく申し上げます。

○鈴木議長

他に何かございますか。高田委員お願いします。

○高田委員

茨城県立筑波高等学校「つくばね学探求」について報告します。筑波高校

から依頼があり、高校3年生対象に北条界隈の体験的地域学の講習を行いました。3年生9人、担当の先生、校長先生、私の12人で実施しました。コースは筑波高校から出発して戻り、時間は2時間半で案内しました。資料1ページの下方に書かれている内容は、大地と自然、歴史と文化などをまとめたものです。コースに数字が入っていますが、北条の地域は高低差のある低い低地や台地がある地形だということを踏まえながら案内しました。2ページです。センス・オブ・ワンダーと書きましたが、1ページの内容を現地でガイドが説明をするというスタンスではなく、全体のストーリーとして説明しました。北条地域の大地の上に広がる自然の中に人は生活をして文化や産業を築き、歴史を育み、大地と自然と人のつながりがあることをテーマとして伝えたいという意図がありました。センス・オブ・ワンダーというのは例えば八坂神社五輪塔の前では、なぜ？こんな形の違う五つの石が積み重ねてあるの？と投げかけて、つくばワイナリーでは、このようなところでワイン用のブドウが栽培できるの？という投げかけをして、八坂神社より少し高いところにあるここは昔どうだったのだろう？と投げかけました。つくば道の入口では、なぜこの立派なつくば道を家康・家光が資本をかけて造ったのだろう？じゃあどうして家康は筑波山をあがめたのだろう？毘沙門天種子板碑では、仏様は人間のような形をして物を持ったりしているが、この板碑には仏様と持ち物はどこにある？日向廃寺跡では、宇治の平等院みたいな形をしているよね、誰がいつ頃造ったの？北条では多気太郎が北条を盛り上げたお侍さんとして有名なのですが、なぜここに多気太郎五輪塔があるの？ちょうど用水路を見下ろす小高いところに塔が建っています。それから、裏堀・用水路です。ポンプがない時代にどのように水路を造ったのか？目的は？田んぼを潤す、或いは一説には多気太郎の城を守るためにも造ったということもあります。

心がけたのはそれぞれの現地で見てもらうことが目的ではなく、なぜ？問

い掛けて生徒を刺激をして、短い時間でも生徒に考えてもらい、最終的には地域への興味や知識の幅を広げたいと生徒に思わせることを意図しました。

以上です。

○鈴木議長

ありがとうございました。委員の皆様他にございますか。それでは以上をもちまして議事を結びとさせていただきます。委員の皆様には御協力をいただきましてありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。よろしく申し上げます。

○事務局

鈴木議長議事進行いただきありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第1回社会教育委員会議を閉会いたします。なお、次回の令和5年度第2回社会教育委員会議は3月頃開催の予定ですのでよろしくお願いいたします。それでは委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。

令和5年度第1回つくば市社会教育委員会議

次 第

日時 令和5年(2023年)8月4日(金)

午前10時

場所 つくば市役所 会議室201

1 開会

2 挨拶

3 議長等選出

4 議事

(1) 令和4年度社会教育事業実績報告について

(2) 社会教育事業の視察について

5 その他

令和5年度第1回社会教育委員研修会(令和5年7月18日開催)報告

6 閉会

資料1 令和4年度社会教育事業実績報告

資料2 社会教育事業の視察について

資料3 つくば市社会教育委員条例・つくば市社会教育委員会議運営規則

資料4 つくば市社会教育委員名簿

資料 1

令和 4 年度社会教育事業の実績報告

中央図書館
文化芸術課
地域支援課
スポーツ振興課
生涯学習推進課

令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	中央図書館 管理係 サービス係		目的	読書活動の推進と図書館利用の推進を図る。				
事業名	図書館運営に要する事業		概要	個人、団体への資料貸出業務のほか、学校訪問ブックトーク、団体貸出し(調べ学習の支援・学級文庫支援)ジュニア図書館員受入れ、社会科見学・職場体験学習受入れ、司書教諭及び司書教諭補助員等の研修実施といった学校図書館支援や、ファーストブック講座、ワークショップなど、各種イベントを行う。				
			令和4年度	令和5年度				
予算額	49,669 千円		決算額	47,944 千円		予算額	55,719 千円	
事業計画	<p>1 各種図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験：8年生を対象とした事業 ・ジュニア図書館員：4、5、6年生を対象とした事業 ・学校訪問ブックトーク：小中学校、義務教育学校を訪問し、本を紹介する事業 ・インターンシップの受入：図書館勤務を志す大学生を対象とした事業 ・ファーストブック講座：子育てに絵本を活用するきっかけをつくる事業 ・図書リサイクル：不用になった図書を市内公共施設や市民に還元する事業 ・広報活動：公園通りの図書館通信「ヨモッカ」7,000部(年1回)及び「こどもヨモッカ」7,000部(年1回)の発行 <p>2 図書館協議会、図書館ボランティア活動</p> <p>3 図書備品：図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入(今年度の計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問ブックトーク事業の推進 ・読書推進事業の実施 ・図書館事業の積極的なPR ・自動車図書館運行事業の充実 ・図書返却事業の充実 ・学校図書館支援事業の推進 ・電子図書館の導入 ・これからの図書館のあり方についての検討 ・返却ポイントの増設 		実績	<p>開館日数 285日 開館時間 9:30~19:00 一部の祝日9:30~17:00</p> <p>1 各種図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験：8年生を対象とした事業：5校16人 ・ジュニア図書館員(4・5・6年生対象)：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ・学校訪問ブックトーク(4年生、7年生対象)：小学校25校、中学校3校 ・インターンシップの受入：3名 ・ファーストブック講座：4回 58名参加 ・図書リサイクル(不用図書を市民に提供する事業)：12,046冊配布 ・広報活動：公園通りの図書館通信「ヨモッカ」2月発行「こどもヨモッカ」10月発行(各8000部発行) ・ぬいぐるみたちのおとまり会：12月16・17日 ・つくば市役所コミュニティ棟における予約本貸出開始(10/4) ・電子図書館の導入(10/4) <p>2 図書館協議会：2回開催(9月、3月) 図書館ボランティア活動(156名登録、9分野のボランティアに分かれた活動)</p> <p>3 図書備品 図書資料、視聴覚資料、電子書籍の選定及び購入(購入資料点数：19,765点)</p>		事業計画	<p>1 各種図書館事業</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 図書の貸出・返却業務 (2) 職場体験 (3) ジュニア図書館員 (4) 学校訪問ブックトーク (5) インターンシップの受入 (6) ファーストブック講座 (7) 図書リサイクル (8) 広報活動 (9) 図書館ボランティア活動 <p>2 図書館協議会の開催</p> <p>3 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入</p> <p>4 電子図書館の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問ブックトーク事業の推進 ・読書推進事業の実施 ・図書館事業の積極的なPR ・自動車図書館運行事業の充実 ・図書返却事業の充実 ・学校図書館支援事業の推進 ・電子図書館事業の拡充 ・返却ポイントの増設 	
取組実績・目標値	所蔵資料点数	令和3年度	実績 483,263	目標 490,000	取組目標値	所蔵資料点数	目標 490,000	
		令和4年度	実績 486,240	目標 490,000				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあったが、実施方法を工夫することなどにより実施できた。そのことにより読書推進及び図書館の利用促進を図ることができた。 ・図書館が実施している各種事業などを広報することにより、図書館に対する理解を深め、利用の促進及び、読書活動の推進が図れた。 ・コミュニティ棟での予約本の貸出し及び電子図書館の開始によって、利用者の利便性を向上することができた。 			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染症防止対策など、事業の実施に当たっての工夫が必要となる。 ・図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。この提言の内容について引き続き検討し、今後の事業を進めていく上で参考としていく必要がある。 ・開館から30年以上が経過し、資料の収蔵スペースが不足している。令和4年度に導入した電子図書館なども活用しながら資料の充実を図る必要がある。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が中止、又は縮小となった。収束が見えない中、感染症防止対策など、事業の実施に当たっての工夫が必要となる。 ・図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。この提言の内容について引き続き検討し、今後の事業を進めていく上で参考としていく必要がある。 			課題と対応策				
課題への取組	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった事業があったが、その中で実施方法を工夫することにより事業を実施し、読書推進及び図書館の利用促進を図った。</p> <p>図書館の増設を含め図書館に対する期待や要望が大きいことから、図書館懇話会からの提言書の内容を参考にしながら、中央図書館の施設改修計画を策定していく。</p>							

令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	中央図書館 管理係 サービス係		目的	市内のいずれの場所でも均質な図書館サービスが受けられるよう、地域図書館サービスの充実を図る。	
事業名	オンライン地域交流センター図書室運営に要する事業		概要	オンライン化されている谷田部・筑波・小野川・荃崎地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託し、連携しながら全域サービスを行っていく。	
令和4年度			令和5年度		
予算額	40,407 千円		決算額	40,351 千円	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 4 交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入 4 交流センター図書室運営業務委託 4 交流センター図書室図書備品購入 中央図書館とオンライン化されている4交流センター図書室の円滑な運営と地域図書館的役割の充実を図る。		実績	開館日数 285日（小野川は258日） 開館時間 平日9:30～19:00 土・日・一部の祝日9:30～17:00 交流センター図書室の休室 ※選挙投票所（7/10、12/11）、その他理由により小野川休室 ・図書資料の購入を積極的に行い蔵書数の増に努め、委託職員と連携を密にし、地域図書館サービスの向上に努めた。	
取組実績・目標値	貸出冊（点）数	令和3年度	実績 420,619	目標 385,000	取組目標値
		令和4年度	実績 462,790	目標 410,000	貸出冊（点）数
					目標 410,000
成果	<ul style="list-style-type: none"> 交流センター図書室と連携をとり、図書館サービスの向上に努めた。 新刊本の購入を増やし、不用図書の除籍を行い、利用しやすい配架に努めた。 地域の特色を生かした図書資料の整備を図ることができた。 		地域の特色を生かした資料の整備と、委託職員との連携を図ることによりサービスの向上を目指す。交流センター図書室によっては、所蔵資料や利用者の状況が異なるため、資料購入費の配分方法などが課題となる。 現在の委託業務の内容について検証するとともに、図書館懇話会からの提言の内容についても検討の上、次年度以降の運営業務の委託内容に反映させる必要がある。 また、運営業務に必要な人材(司書有資格者)を継続して安定的に確保していくことが課題となる。		
課題	平成27年度から、オンライン4交流センター図書室運営業務委託を中央図書館が行い、新しい図書資料を増やしてきた。引き続き市民が図書館サービスを楽しめるよう4交流センター図書室の蔵書の充実を図っていく。また、地域の特色を生かした資料の整備を行うとともに、委託職員との連携を図り図書館サービスの向上を目指す。しかしながら、図書室によっては、資料の劣化が進んでいたり、利用者が急増しているなど状況が異なるため、今後の資料購入費の配分方法などが課題となる。現在の委託業務の内容について検証するとともに、図書館懇話会からの提言の内容についても検討の上、次年度以降の運営業務の委託内容に反映させる必要がある。 また、予算の増額が困難な中、運営業務に必要な人材(司書有資格者)を継続して確保していくことが課題である。				
課題への取組	<ul style="list-style-type: none"> 各図書室の蔵書について、地域の特色をいかしながら、新たな図書資料の受入数を増やし、その充実を図った。 各図書室の利用状況に応じた資料購入費の配分を行い、利用者の多い図書室の蔵書の充実を図った。その効果を検証し、今後の資料購入費の配分の方法を検討していく。 委託職員との連携を密に図り、サービスの向上に努めた。 各図書室の状況把握を行い、受託事業者と随時情報の共有化を図った。 				

令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	文化芸術課 文化振興係		目的	文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに創作意欲の向上と世代間の交流を促進する。				
事業名	つくば市民文化祭		概要	市内7つの会場で展示部門、ステージ部門等を中心とした文化祭、つくばカピオ会場で小中学校芸術展、週をずらしてノバホール音楽会を開催する。				
令和4年度				令和5年度				
予算額	12,257 千円		決算額	11,183 千円		予算額	14,595 千円	
事業計画	<p>○開催期間 11月5日(土)～6日(日) ※ノバホール音楽会は11月12日(土)～13日(日) ※荖崎会場は展示のみ前倒して開催予定</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、市民ホールとよさと、豊里体育館 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館、流星台プレーパーク 荖崎会場：荖崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽など 【ステージ部門】民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンスなど 【その他】囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】声楽・器楽</p> <p>三密を避けた開催様式を検討する。</p>		実績	<p>○開催期間 11月5日(土)～6日(日) ※ノバホール音楽会は11月12日(土)～13日(日) ※荖崎会場は展示のみ前倒して開催</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、市民ホールとよさと、豊里体育館 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館、流星台プレーパーク 荖崎会場：荖崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽など ※中央会場で小中学校芸術展を開催 【ステージ部門】民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンスなど 【その他】囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】声楽・器楽</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催した。</p>		事業計画	<p>○開催期間 11月4日(土)～5日(日) ※ノバホール音楽会は11月11日(土)～12日(日) ※荖崎会場は展示のみ前倒して開催予定</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、豊里体育館(市民ホールとよさとは改修中のため使用不可) 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館、流星台プレーパーク 荖崎会場：荖崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽など ※中央会場で小中学校芸術展を開催 【ステージ部門】民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンスなど 【その他】囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】声楽・器楽</p>	
取組実績・目標値	参加団体数	令和3年度	実績 (開催中止)	目標 (開催中止)	取組目標値	参加団体数	目標 320	
		令和4年度	実績 282	目標 300				
成果	3年ぶりの開催となり、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で多くの市民が参加し、文化芸術に触れる貴重な機会となった。							
課題	参加者の半数以上が高齢者である。いかに若い世代の参加者を増加させるかが今後の課題となっている。							
課題への取組	世代を問わず、興味をもった時にいつでも文化祭の様子が見られるように、写真等の記録映像をつくばアートチャンネルから情報発信した。							
					課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じての通常実施 ・7つの会場を統一する運営方針の徹底 		

担当課・係	地域支援課 地域交流支援係		目的	市民に地域交流センター講座による学習機会を提供することで、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。			
事業名	地域交流センター講座		概要	市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。			
令和4年度				令和5年度			
予算額	5,530 千円		決算額	3,434 千円		予算額	5,622 千円
事業計画	<p>市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。 前期講座は、50講座程度、定員約700名で5月に募集し、開講を予定、後期講座は、50講座程度、定員約700名で9月に募集する予定。</p> <p>講座の内容は、高齢者・小学生・親子・女性・男性向けなど多岐にわたり企画し、土日、夜間の講座も開講する。 また、つくば市消費生活センターや消防署など他部署による普及促進講座も開講する。</p>		実績	<p>◇令和4年度地域交流センター講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集方法：広報つくば5月号及び9月号に掲載 ・講座企画数：108講座 ・実施講座数：106講座 ※2講座において募集定員が少ないため開催中止となった ・延べ受講者数：3,012人 <p>・対象別内訳（開講106講座のうち）</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学生対象：1講座 一般対象：93講座 高齢者対象：5講座 その他（託児付き、親子対象）：7講座 <p>・時間帯別内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日（9:00～17:00）：100講座 平日夜間（17:00～22:00）：0講座 土日祝日：6講座 		事業計画	<p>市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。 前期講座は、50講座程度、定員約700名で5月に募集し、開講を予定。後期講座は、50講座程度、定員約700名で9月に募集する予定。</p>
取組実績・目標値	受講者数	令和3年度	実績 2,628	目標 1,100	取組目標値	受講者数	目標 1,400
		令和4年度	実績 3,012	目標 1,400			
成果	新型コロナウイルス感染症の影響が残る中での講座開催となったが、ワクチンの接種や規制緩和の動きが徐々に浸透したことにより社会活動が活発となり、受講者数を大幅に伸ばすことができた。引き続きアンケート等の実施により魅力ある講座の企画に努めていく。					課題と対応策	<p>受講者が定員に満たなく開催見送りとなった講座があった。 アンケート等により利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていく必要がある。</p>
課題	受講者が定員に満たなく開催見送りとなった講座があった。 アンケート等により利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていく必要がある。						
課題への取組	募集定員に満たない講座については、募集期間を延長するなど参加者を確保した。また、募集定員に満たなかった場合でも講座開催に支障がない場合は、講師と協議のうえ極力講座を開催できるよう努めた。						

担当課・係	地域支援課 地域交流支援係		目的	豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため。			
事業名	生涯学習施設（ふれあいプラザ）管理		概要	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行うとともに、利用者のニーズに即した自主事業の開催やイベントを実施する。			
令和4年度				令和5年度			
予算額	66,744 千円		決算額	68,005 千円		予算額	109,437 千円
事業計画	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。 また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。 生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。 ふれあいプラザ利用者数 30,000人、約240講座を開講予定		実績	通年開講講座（プール、パソコン、外国語、料理、運動、音楽、芸術、親子、文化、伝承、ほか） ◇令和4年度ふれあいプラザ総利用者数 48,286人 うち免除者数 23,820人（免除率 49.33%） ◇令和4年度講座実績 ・講座数 611講座 ・開講コマ数 1,938回 ・延べ参加者数 11,764人 ◇令和4年度イベント実績 イベント数 4回 ・こどもプールのフェス ・和の祭典 ・音楽祭 ・合同発表会		事業計画	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。 また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。
取組実績・目標値	ふれあいプラザ利用者数	令和3年度	実績 36,940	目標 30,000	取組目標値	ふれあいプラザ利用者数	目標 35,000
		令和4年度	実績 48,286	目標 30,000			
成果	総利用者数、免除者数ともに令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、流行前の水準まで回復していないが、令和4年度は、ワクチンの接種が進んだり、規制緩和の動きがあったことから、令和3年度と比較し、大幅に利用が増加している。また、講座数及び講座の開講数は、令和4年度は流行前に近い水準まで回復してきている。引き続き、利用者のニーズに応じた講座の開催や積極的な広報活動を通じて、参加者の増加に繋げていきたい。						
課題	開館から15年以上が経過し、建物・設備とも経年劣化による修繕箇所が増えているため、計画的に改修を行っていく必要がある。						
課題への取組	故障により長期間稼働できなかったプール及びロビーの電動ロールカーテン等の改修工事の設計を令和4年度実施し、令和5年度工事予定である。 また、令和3年度に策定した長寿命化計画に基づき、施設の長寿命化を図るための改修工事を計画的に実施している。						

令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	スポーツ振興課		目的	スポーツに対する意識の高揚を図るとともに、つくば市のPRに努め、スポーツでつながるまちづくりに寄与する。				
事業名	スポーツ大会開催事業		概要	【つくばマラソン】42.195kmの部・10kmの部を開催 【その他の大会】健康マラソン(2、3、5km)、ウォークラリー(グループ歩行)、つくばスポーツフェスティバル等の各種スポーツ大会を開催する。				
令和4年度				令和5年度				
予算額	24,324 (内つくばマラソン負担金15,000) 千円		決算額	21,356 (内つくばマラソン負担金15,000) 千円		予算額	24,352 (内つくばマラソン負担金15,000) 千円	
事業計画	<p>(つくばマラソン) つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が中心となりつくば市の魅力を市内外にPRするとともに活力ある街づくりを推進するためにマラソン大会を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気楽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5Kmの部を開催する。</p> <p>その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p> <p>(令和4年度の計画) (つくばマラソン) 新型コロナウイルス感染症への感染対策をとり、適切な規模、体制による大会を開催する。また、オンラインマラソンや練習会等、関連企画の実施も検討する。</p> <p>(健康マラソン) 新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、「ランナーに愛されるまちの実現」の取組の一環として、誰もが気軽に参加できる大会を開催する。</p>		実績	<p>令和4年度は予定していた大会及びイベントを全て開催することができ、スポーツの楽しみや健康の増進等の場を提供することができた。つくばマラソンにおいては47都道府県から参加者が集まり、市のPRに寄与することができた。</p>		事業計画	<p>(つくばマラソン) つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が中心となりつくば市の魅力を市内外にPRするとともに活力ある街づくりを推進するためにマラソン大会を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気楽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5Kmの部を開催する。</p> <p>その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p>	
取組実績・目標値	①つくばマラソン申込者数 ②健康マラソン申込者数	令和3年度	実績 ①842人(オンライン) ②1,136人(中止)	目標 ①3,000人(オンライン) ②2,200人	取組目標値	①つくばマラソン申込者数 ②健康マラソン申込者数	目標 ①11,500人 ②2,200人	
		令和4年度	実績 ①9,863人 ②1,794人	目標 ①10,000人 ②2,200人				
成果	各大会において開会式等のセレモニーは行わず、健康管理チェックシートの記入を参加者に要請する等の感染症対策を実施した。その結果、計画していた全ての大会を開催することができた。							
課題	(つくばマラソン)新型コロナウイルス感染症への感染対策及び悪天候への対策を講じた会場の見直しやレイアウトの変更等の検討をおこなう。 (健康マラソン)新型コロナウイルス感染症への感染対策を講じた運営方法や会場レイアウトの検討をおこなう。			課題と対応策				
課題への取組	感染症の感染拡大状況下においても大会を開催できるよう、企画立案時に感染対策の検討を行った。							

令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	スポーツ振興課		目的	スポーツ振興に向け、市民のスポーツ環境の充実を図る。			
事業名	スポーツ振興事業		概要	スポーツ教室やスポーツイベントを開催することにより、市民スポーツ振興の啓発、市民同士が交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図る。			
令和4年度				令和5年度			
予算額	3,354 千円		決算額	1,316 千円		予算額	36,460 千円
事業計画	<p>市民を対象に、様々な種目のスポーツ教室を開催する。1種目は週1回×4回程度実施し、年間10種目程度開催する。</p> <p>(令和4年度の計画) 新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、様々な種類のスポーツ教室を広く開催し、より多くの市民がスポーツに触れる機会を提供する。</p>		実績	<p>子供向け・大人向けの教室や障害者スポーツを体験できる教室など、様々な10種類の教室を開催し、延べ620人の市民等が参加した。</p> <p>【実施した教室】 バドミントン 全4回 延べ64人 トレイルラン 全4回 延べ56人 心と体をほぐすヨガ 全4回 延べ78人 スラックライン 全4回 延べ46人 体幹ムーブメント 全4回 延べ83人 ランニング 全4回 延べ60人 車いすに座ってできるスポーツ体験 全3回 延べ38人 スプリント 全3回 延べ75人 子供のスポーツ体験(低学年) 全4回 延べ89人 子供のスポーツ体験(高学年) 全4回 延べ3回</p>		事業計画	<p>【スポーツ振興するため各種施策を実施する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動を始めるきっかけとなるようなスポーツの教室や大会を開催する。 ・新規のスポーツ指導者支援するため、スポーツ教室の開催支援を行う。 ・障害者スポーツの推進を図るための施策を展開する。 ・スポーツ推進委員協議会及びスポーツ推進審議会の運営を行う。 ・中学部活動が地域スポーツに移行する際の各種課題の解決に向けて、調整・検討を行う。 等 ・ランニング教室、スポーツ体験教室、障害者スポーツに関する教室等、各種教室や、ウォークラリー大会やスポーツフェスティバル等の開催する。 ・新しくつくば市でスポーツ事業を行う個人等に対して、教室実施の支援を行う。 ・障害者スポーツを支援するためのシステム構築に関する業務委託、用具の貸し出しや先進自治体の視察等を行う。 ・推進委員に関しては市主催事業において係員として協力、助言を行う。また、資質向上のため各種研修会に参加する。審議会においては、各種スポーツ推進施策に関する審議や、スポーツ推進計画策定について諮問を受け、審議会で審議し、意見を答申する。
取組実績・目標値	開催教室数	令和3年度	実績 7	目標 13	取組目標値	開催教室数	目標 7
		令和4年度	実績 10	目標 12			
成果	新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、予定通りの教室を開催し、市民にスポーツの機会を提供することができた。					課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツを推進するための方策。 ・スポーツ推進委員の更なる資質の向上、活動の促進。 ・部活動改革の進め方。
課題	スポーツ教室を実施することで、事業の目的を達成できているかの検証を行う必要がある。						
課題への取組	次年度以降の事業計画に生かすため、参加者へのアンケートを実施し、ニーズや継続意向等の調査を行った。						

令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	生涯学習推進課・青少年教育係		目的	未来のつくば市を担う青少年が、健やかにたくましく成長できるように支援する。	
事業名	青少年健全育成事業		概要	青少年相談員が中心となり、学校や青少年育成団体等と連携し、青少年の非行防止や青少年育成の各種事業を展開する。	
令和4年度			令和5年度		
予算額	6,016 千円		決算額	4,002 千円	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に協力する店登録活動（7月～12月実施） ・学校訪問（6月～7月実施） 市内小・中学校及び高校を訪問 ・あいさつ・声かけ運動（通年） 市内小・中学校及び高校において実施 ・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 ・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会 <p>あいさつ・声かけ運動実施数：120回 「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動を積極的に推進していく。</p>		実績	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年相談員の活動 ・あいさつ・声かけ運動（個人活動）2,878回 ※新型コロナウイルス感染症拡大により、団体での活動を行わず、個人で活動したため、実施数が大幅に増加した。 学校の状況や要望の把握 ・「青少年の健全育成に協力する店」訪問登録活動 A区分登録店舗数（198店舗） ・広報誌「相談員だより」年1回発行 ◇新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 ・薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 ○補助金交付事業 つくば市子ども会育成連合会：3団体（桜地区、大穂地区、豊里地区） 青少年を育てるつくば市民の会：5団体（本部、大穂、豊里、谷田部、荃崎） 	
取組実績・目標値	あいさつ・声かけ運動実施数	令和3年度	実績 1,368回	目標 120回	取組目標値
		令和4年度	実績 2,878回	目標 120回	
成果	あいさつ・声かけ運動、普及啓発活動及び社会環境健全化活動を実施した。各月1回程度、支部長会議を実施し、各支部と情報共有及び連携を図ることができた。「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動など青少年育成の活動を推進することができた。		課題と対応策		
課題	青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施する。				
課題への取組	効果的な青少年健全育成活動を図るため、令和4年度10月支部長会において、人権教育啓発研修を実施した。				
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に協力する店登録活動（7月～12月実施） ・学校訪問（6月～7月実施） 市内小・中学校及び高校を訪問 ・あいさつ・声かけ運動（通年） 市内小・中学校及び高校において実施 ・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 ・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会 		実績	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に協力する店登録活動（7月～12月実施） ・学校訪問（6月～7月実施） 市内小・中学校及び高校を訪問 ・あいさつ・声かけ運動（通年） 市内小・中学校及び高校において実施 ・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 ・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会 	
予算額	6,416 千円		決算額	6,416 千円	

担当課・係	生涯学習推進課・青少年教育係		目的	新たに二十歳を迎える市内の若者が一堂に会し、大人への門出を祝うことで、社会の一員としての自覚と責任を促す。			
事業名	つくば市二十歳の集い事業		概要	二十歳になる方による実行委員会を立ち上げ、自らが二十歳の集いを企画し、当日の運営に参画する。市は、広報紙、ホームページへの掲載、対象者への案内通知などの広報活動を支援する。			
令和4年度				令和5年度			
予算額	6,413 千円		決算額	5,735 千円		予算額	7,010 千円
事業計画	<p>市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。</p> <p>○主催 つくば市・つくば市二十歳の集い実行委員会</p> <p>○期日 令和5年(2023年)1月8日(日)</p> <p>○会場 つくばカピオアリーナ</p> <p>○該当者 平成14年(2002年)4月2日～平成15年(2003年)4月1日生まれの方 対象者数 2,711人(令和3年10月1日現在)</p> <p>・式典を円滑に進行すること。</p>		実績	<p>新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、密にならないよう席を空け、式典を2回に分け開催。</p> <p>○期日 令和5年(2023年)1月8日(日)</p> <p>○会場 つくばカピオアリーナ</p> <p>○参加者 1,828人</p> <p>○式典 午前の部 午前11時00分から午前11時30分まで 午後の部 午後2時30分から午後3時00分まで ※2回に分けて、式典を開催</p> <p>○アトラクション 実行委員会が自作した「恩師VTR」後日、来場できなかった新成人のために、式典動画を年度末まで配信した。</p>		事業計画	<p>市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。</p> <p>○主催 つくば市・つくば市二十歳の集い実行委員会</p> <p>○期日 令和6年(2024年)1月7日(日)</p> <p>○会場 つくばカピオアリーナ</p> <p>○該当者 平成15年(2003年)4月2日～平成16年(2004年)4月1日生まれの方 対象者数 2,630人(令和4年10月1日現在) ※【参考】年齢別人口統計R04.10.01</p>
取組実績・目標値	参加者数	令和3年度	実績 1,621人	目標 1,500人	取組目標値	参加者数	目標 1,900人
		令和4年度	実績 1,828人	目標 1,500人			
成果	社会の一員としての自覚を促す機会として、式典を開催することができた。つくば警察署の協力を得て「式典会場内外の警備体制」や違法車両対策、参加者の安全確保を図ることができ、円滑な式典運営に寄与した。初めての試みであるアトラクションの「恩師VTR」は好評だった。						
課題	二十歳の集いへ多くの方が参加するよう、時代に即した魅力ある式典にする努力が必要である。						
課題への取組	二十歳の方による実行委員会を組織し、主体的に関わっていただくことによって、社会の一員としての自覚と誇りを感じられるような式典を作り上げた。						
	<p>二十歳になる方の門出の式典を円滑に開催できるよう、市職員、警察並びに警備業者が連携して、式典業務に従事する。また、実行委員が主体的に式典準備に関わるよう促し、社会人としての責任を自覚する機会となるような式典を作り上げる。</p>						

令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	生涯学習推進課・青少年教育係		目的	自主的な活動や体験により、青少年の自己肯定感や自己有用感を育むとともに、社会力を育成する。	
事業名	青少年体験学習事業		概要	<p>市内在住の中高生を対象に、企画募集して、青少年を中心とした地域交流・多世代間交流の体験学習の実施を行う。また、自主活動の支援を図り、青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の企画を募集し実現する「この指と一まれ！」事業 ・つくばの科学と自然を体感する「夏休み体験学習事業」 	
令和4年度			令和5年度		
予算額	1,213 千円		決算額	393 千円	
事業計画	<p>○青少年体験学習事業 つくば市の地域資源を活用した実験教室等を体感し、科学や自然への興味や関心を高めることを目的として開催する。</p> <p>○この指と一まれ！事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現したいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。また、毎月1回社会教育指導員が青少年の活動の相談対応・支援を行う。さらに居場所事業の周知のために特別開催日を設定した。</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金 つくば市内の青少年健全育成諸団体が、子どもたちを対象に行った体験活動を内容とする事業・活動に対し、予算の範囲内において補助金を交付します。</p> <p>青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。</p>		実績	<p>○青少年体験学習事業 「課題解決ロボットワークショップ」（期日：8月5日（金））参加者数55人</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の居場所利用者数 808人</p> <p>○この指と一まれ！事業 8月10日（水）にキックオフ・説明会を行い、10月30日（日）ドリームフェスタを開催（和太鼓、けん玉・ピアノ、経済、グリーントランプ、SDGs（生理の貧困）、手話歌講座・発表、水球、チアダンス講座・発表、ボッチャ、スマホお助け隊）</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金 交付団体数9団体</p>	
取組実績・目標値	青少年体験学習事業参加者数	令和3年度	実績（開催中止）	目標	24人
		令和4年度	実績 55人	目標	24人
成果	「この指と一まれ！」事業では、青少年が自ら企画を考え実現できたことで、企画計画力、コミュニケーション力、チームワークが培われ、社会力の育成に繋げることができた。				
課題	青少年が自主的な活動や体験ができるよう、昨年度の実績を踏まえ事業の展開を図る。				
課題への取組	「この指と一まれ！」事業に加え、「青少年体験学習事業」では”課題解決ロボットワークショップ”と名称変更し、よりロボットや科学の体験がしたい青少年に対して、周知を図った。また「青少年の居場所事業」では特別企画を引き続き実施し、居場所事業の周知に努めた。				
事業計画	<p>○青少年体験学習事業 つくば市の地域資源を活用した実験教室等を体感し、科学や自然への興味や関心を高めることを目的として開催する。</p> <p>○この指と一まれ！事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現したいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。学習や友人とのおしゃべり場等として活用</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金 つくば市内の青少年健全育成諸団体が、子どもたちを対象に行った体験活動を内容とする事業・活動に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。</p> <p>青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。</p>		事業計画	<p>○青少年体験学習事業 つくば市の地域資源を活用した実験教室等を体感し、科学や自然への興味や関心を高めることを目的として開催する。</p> <p>○この指と一まれ！事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現したいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。学習や友人とのおしゃべり場等として活用</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金 つくば市内の青少年健全育成諸団体が、子どもたちを対象に行った体験活動を内容とする事業・活動に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。</p> <p>青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。</p>	
取組目標値	青少年体験学習事業参加者数	目標	24人		
課題と対応策	青少年の体験活動が減少している中で、青少年の興味関心の高いプログラム構成や、身近な実社会に触れ関わりあう機会の創出によって、事業の魅力を高めるとともに、青少年の主体性や意欲を引き出す。				

担当課・係	生涯学習推進課・生涯学習推進係		目的	数多くの研究所を有し、多数の研究者が研究に取り組む地域資源を生かして、子供たちの科学への関心を高める。				
事業名	科学教育推進事業		概要	市内の研究機関の研究者等を学校の授業等に派遣する「つくば科学出前レクチャー」、全国の小中学生に夏季休業期間中に市内の研究機関の概要や研究内容について現地見学や動画視聴で学ぶ「つくばちびっ子博士」、学校や研究機関等が一堂に会し科学実験等の体験を来場者に提供する「つくば科学フェスティバル」の3事業を展開する。				
			令和4年度		令和5年度			
予算額	9,747 千円		決算額	8,228 千円		予算額	10,609 千円	
事業計画	<p>① つくば科学出前レクチャー事業 学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究者等と連絡調整し、現役研究者等を専門テーマの講師として派遣する。</p> <p>② つくばちびっ子博士事業 科学技術に触れ科学への関心を高めることを目的に、小中学生が研究機関等をクイズラリーにより巡る。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル事業 市内の各学校や、研究機関等が科学実験等を出展し、楽しみながら科学や理科への興味・関心を高めさせる。</p>		実績	<p>① つくば科学出前レクチャー 以下の2つに取り組み、講座実施回数を増やすことができた(R3 2回→R4 7回)。 ・科学出前レクチャー登録講座と小中学校理科教科の各単元との関連性に関する資料を作成、配布した。 ・次年度の授業計画に取り入れやすくなるよう、事業広報時期を例年より早く実施した。</p> <p>② つくばちびっ子博士(7/23~9/30) 感染対策を実施した現地開催と動画配信によるクイズ形式で実施した。現地参加者数が令和3年度に比べ回復するとともに(R3 7,112人→R4 25,431人)、動画の再生回数も41,954回を達成し、堅調に事業を運営できている。 また、HP「つくばSTEAMコンパス」との連携を強化し、ちびっ子博士開催期間中に、児童生徒が見学や動画視聴で生じた疑問に各研究機関が回答する「『なぜなぜなぜ』スペシャル!」をHP内で開催することができた。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル(11/12) 新型コロナウイルス感染症対策を実施し、イベントを開催することができた(10,495人)。さらに、児童生徒の科学への気づきを生むため、以下の取組を実施した。 ・ホームページ「つくばSTEAMコンパス」を活用し、当日の疑問を質問できる環境を新たに構築した。 ・つくば科学教育マイスターと児童生徒のコミュニケーションを生むため、特別スタンプラリーを実施した。</p>		事業計画	<p>① つくば科学出前レクチャー事業 学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究者等と連絡調整し、現役研究者等を専門テーマの講師として派遣する事業を年間をとおして展開する。</p> <p>② つくばちびっ子博士事業 市内39機関の協力を得て、7/22~8/31を期間として「つくばちびっ子博士2023」を開催する。つくばちびっ子博士パスポートという冊子を用いた現地見学及び動画視聴をとおしたクイズラリー形式で実施する。 つくばちびっ子博士事業において、令和5年度は、小中学生の学外での学びの充実を図るため、従来の方法に加え、つくば市の児童生徒が使用する学習者用端末を使用した「つくばちびっ子デジタルチャレンジ」を開催する。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル事業 つくば科学フェスティバルは、2年度1回の開催であるため、令和5年度の実施はない。令和6年度以降に今までよりつくば市の児童生徒がコンテンツを提供する側も参加する側も科学への興味関心を今まで以上に育てることができコンテンツ等の検討を実施する。</p>	
取組実績・目標値	ちびっ子博士パスポート提出数(デジタルスタンプラリー参加者数含む)	令和3年度	実績 2,335人	目標 4,500人	取組目標値	ちびっ子博士パスポート提出数(デジタルスタンプラリー参加者数含む)	目標 6,000人	
成果	3つの事業全体として、事業実施方法のマイナーチェンジや周知の強化、事業目的に沿った新たな企画実施に取り組み、効果をあげることができている(各事業の新たな取り組みや具体的な成果については実績欄参照)。							
課題	<p>① つくば科学出前レクチャー事業：新型コロナウイルス感染症により、開催回数が減少していたため、その回復をすること。</p> <p>② つくばちびっ子博士事業：児童生徒がクイズを答えた先に、さらに科学への興味関心を育てることができる取組を促進すること。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル事業：新型コロナウイルス感染症下でも開催ができる対策の構築、来場した児童生徒と科学者とのコミュニケーションを促進すること。</p>							
課題への取組	3つの事業について、課題に対する具体的なアクションを起こし、成果につなげることができた(詳細な内容については実績欄参照)。							
	<p>① つくば科学出前レクチャー：(課題)実施回数を継続して増やすこと。ただし、多忙な学校現場に対し配慮をし、かつ効果的な事業周知が必要。(対応策)教員関係の行事に積極的に参加する等学校との連携の強化を図る。</p> <p>② つくばちびっ子博士：(課題)夏休みの児童生徒の自主的な活動である現状から学校の教育活動との連携を深めていく必要。(対応策)「つくばちびっ子デジタルチャレンジ」の結果のデータを学校等に提供し、学外と学内の学びをつなぐ。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル：(課題)来場者が非常に多いため、「来場者と出展者、出展する学校と研究機関のコミュニケーションを深める」部分に工夫が必要。(対応策)令和6年度の開催に向けて実施手法等を検討する。</p>							

令和4年度社会教育事業実績報告及び令和5年度社会教育事業計画

担当課・係	生涯学習推進課 社会教育係		目的	家庭の教育力の向上を図り、子どもの健全な育成に役立てる。			
事業名	家庭教育学級支援事業		概要	家庭教育学級・家庭教育セミナーを開催する。学級の運営にあたり社会教育指導員が指導・助言を行う。現代的な課題について理解を深めるための講演会や学習会を開催する。社会教育指導員（会計年度任用職員）10人を生涯学習推進課に配属し、社会教育の特定分野についての直接指導、学習相談又は社会教育関係団体の育成等にあたる。			
令和4年度				令和5年度			
予算額	3,320 千円		決算額	1,056 千円		予算額	4,322 千円
事業計画	<p>社会教育指導員を配置し、家庭教育学級事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭教育学級開催 市内3か所(大穂、吾妻、みどりの) ・幼児家庭教育学級開催 市内3か所(小野川※新設、竹園、ゆかりの森) <p>保育所における社会教育講座を9か所で実施する。社会教育講演会を開催し、学級の枠を越えた学習機会を設ける。 企業への家庭教育学級を推進する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策をとり、講座や講演会の開催は、会場の参加人数を制限し、オンラインでの開催や動画配信を行う。</p>		実績	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級参加者数 各市立幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校 ・吉沼祖父母学級 ・大穂、吾妻、みどりの乳児家庭教育学級(春、秋、冬学級) ・竹園、ゆかりの森、小野川幼児家庭教育学級 ・家庭教育講話(入学説明会時、就学前検診時) ・社会教育講座 保育所 ・令和4年度第1回社会教育講演会(10/22) 「いじめ予防最前線～大人も子どもと一緒に学びましょう～」 講師：弁護士 二井矢 旬子氏 ・令和4年度第2回社会教育講演会(3/4) 「その瞬間(とき)、生き残れるか。」 講師：一般社団法人日本防災教育振興中央会代表理事 仲西 宏之氏 ・社会教育講座「子育てたの・らくセミナー@くさざき」(12/6、12/13) ・令和4年度「家庭の日」社会教育講座 「笑っている父親になろう！～子育ては夫婦協働プロジェクト～」 講師：NPO法人ファザーリングジャパン代表 安藤 哲也氏 		事業計画	<p>社会教育指導員を配置し、家庭教育学級事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭教育学級開催 市内3か所(大穂、吾妻、みどりの) ・幼児家庭教育学級開催 市内3か所(小野川、竹園、ゆかりの森) <p>保育所における社会教育講座を9か所で実施する。社会教育講演会を開催し、学級の枠を越えた学習機会を設ける。 企業への家庭教育を推進する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策で取り入れた機材を活用し、コロナ終息後も引き続きオンライン講座や動画配信を行う。</p>
取組実績・目標値	家庭教育学級数	<p>令和3年度</p> <p>令和4年度</p>	<p>実績 72学級</p> <p>実績 74学級</p>	<p>目標 72学級</p> <p>目標 74学級</p>	取組目標値	<p>家庭教育学級数</p> <p>目標 75学級</p>	
成果	小野川で幼児家庭教育学級を開催したことで、市南部の方にも参加しやすい環境で開催することができた。親子で講座を受ける形態を変えて、親は座学、子は外遊びをして過ごすように変えた。親が講座に集中することができ、子は保育ボランティアと過ごすことで、親にも外遊びの大切さを知る機会を提供できた。				課題と対応策	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面講座が中止となったが、「学びの機会が途切れることのないように」と動画視聴を主流とした。動画視聴は隙間時間で家庭教育情報が得られるメリットがあった一方、保護者間のつながりの希薄化から子育ての不安やストレスを共有できる仲間づくりができず子育てが孤立するデメリットが浮き彫りになった。 不安やストレスを解消するため、子供を取り巻く身近な問題を語り合い、「対話とつながり」に重点を置いた家庭教育学級を開催する。 具体的には、対面講座を軸に保護者同士が直接会い、話し合える場を提供していく。</p>	
課題	動画を視聴するだけの学習では学習効果が表れにくい。						
課題への取組	動画作品数を維持しながら、動画視聴を希望する学級に対応した。動画視聴の利点もあるが、個人の感想も学級内で共有できるようにするなどして効果的に使用したい。						

担当課・係	生涯学習推進課・社会教育係		目的	市民及び市内の企業に勤務する者に生涯学習の機会を提供し、もって教育の振興及び文化の向上に寄与する。 郷土に対する理解を深める環境・憩いの環境を提供し、伝承文化の承継に寄与する。				
事業名	生涯学習施設管理		概要	利用者が快適に施設を利用できるよう、指定管理者制度を利用し、最適な施設の維持管理、施設の特性を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。				
令和4年度				令和5年度				
予算額	28,462 千円		決算額	29,932 千円		予算額	38,819 千円	
事業計画	<p>つくば市市民研修センター(北条)の指定管理を行う。また、古民家を有するさくら民家園(中央公園)の維持管理を行う。</p> <p>市民研修センターにおいては、利用団体合同発表会、夏休み子どもイベントなど多種多様なイベントを実施する。さくら民家園においては、2～3月にかけて雛飾りを展示する。</p> <p>指定管理施設では各種講座、イベントを実施。</p>		実績	<p>市民研修センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座の実施(前期、夏期、後期、新春、特別) <ul style="list-style-type: none"> 自力整体講座、アビ先生と英語であそぼう 初心者のパソコン講座、週末のヨガ講座、木彫り仏像創作講座、スマホ・タブレット活用講座、季節の寄せ植え講座、竹かご編む花籠講座、己書講座 講座数 31講座 開催数 239回 参加者数 3,679名 <p>イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 春のお花見イベント(中止) 夏休み子どもイベント(おもしろ理科実験、怖い話を聞く夏のタベ) <p>利用団体合同発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント数 3回 参加者数 163名 <p>さくら民家園</p> <ul style="list-style-type: none"> ひな人形の展示(2月～3月上旬) 		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習社会の実現を寄与するため、つくば市市民研修センターの指定管理を行う。 郷土に対する理解、伝統文化の継承などを目的として民家園の維持管理を行う。 <p>市民研修センターにおいて、生涯学習に係る講座を開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 筑波山ガマの油売り口上講座 スマホLINE(ライン)習得講座 夏休み子どもイベント 真夏の夜のおはなし会 おもしろ理科実験 自力整体講座 アビ先生と英語で学ぼう 初心者のパソコン講座 木彫り仏像創作講座 土曜日のヨガ講座 シニア健康体操講座 スマホ活用講座 己書講座 <p>さくら民家園では、ひな人形の展示を行う。</p>	
取組実績・目標値	市民研修センター施設利用人数	令和3年度	実績 14,558人	目標 35,000人	取組目標値	市民研修センター施設利用人数	目標 35,000人	
		令和4年度	実績 21,592人	目標 35,000人				
成果	利用者からのアンケート結果、職員対応に係る満足度が94%を越え、苦情やトラブルも無く職員と利用者との信頼関係が満足度の結果に表れている。 感染対策を徹底し、感染者を出すことなく運営することができた。							
課題	研修センターにおいては、利用者の大部分がリピーターであるため、新規利用者の獲得に努めなくてはならない。							
課題への取組	市外からの宝篋山登山利用者の方にも利用していただけるよう、駐車場や門に利用を勧める掲示などを行った。							
	<p>利用者の大部分が定期的に利用している方々であり、職員と利用者との信頼関係が取れているが、利用者の大部分がリピーターのため、新規利用者の獲得に努めなければならない。</p> <p>市外からの宝篋山登山者の方にも利用していただけるよう、今後も駐車場や門(入口)に利用を勧める掲示やフェイスブック、ホームページによるPR活動を続けていく。</p> <p>講座の利用者が講座終了後も活動できるようサークル化する、また研修を開催したい利用者に対して研修室の利用について勧める等、研修室の利用促進に努める。</p>							

社会教育事業の視察について

生涯学習推進課

1 「乳児家庭教育学級」について

昨今の家族形態の多様化や地域社会とのつながりの希薄化等家庭を取り巻く環境が大きく変化し様々な問題を抱えている家庭も少なくありません。そこで、幼少期からの家庭教育を支援していくために、初めて子育てをする保護者を対象に、月齢2か月から10か月までの乳児と保護者が15組程度参加する乳児家庭教育学級を、春と秋、冬にそれぞれ全5回の講座を開催しています。開催場所は、市内北部の大穂交流センター、市内中央の並木交流センター、市内南部の市民ホールやたべの3つの会場で開催しています。その中から、大穂交流センターの様子を視察していただくことを提案します。

〈視察事業 大穂乳児家庭教育学級〉

- (1) 開催場所 大穂交流センター
所在地：筑穂1丁目10番地4
- (2) 開催時間 午前10時～午前11時10分
- (3) 開催日 令和5年9月5日(火)
- (4) 内容 第1回 はじめましての会(オリエンテーション)
- (5) 集合場所 市庁舎 正面玄関前
- (6) 集合時間 午前9時20分
- (7) 報酬・費用弁償 あり
- (8) 人数 希望される委員全て可能です

2 青少年体験学習事業「スマホお助け隊」について

本事業は、生涯学習推進課青少年教育係が担当する青少年体験学習事業における輝け！中高生わくわく企画内の取組です。

中高生の自主的な活動を支援、促進し、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、地域貢献やコミュニケーション力、またリーダーとしての資質を深める機会となることを目的としています。

「スマホお助け隊」は、つくば市内に在住・在学する中高生が、カスミのスマホ決済 Scan&Go の使用方法についてサポートを受けたい地域の方に対し、レクチャーを行い、実際に買い物をする企画です。

参加申込のあった中高生 10 名を対象に、8 月 8 日(火)、カスミ社員の方を講師に迎え、カスミ本社において Scan&Go のやり方及び教え方についての講習を行います。

その後、8 月 22 日(火)に、Scan&Go について学んだ中高生が、実際に BLANDE 研究学園店において参加者（Scan&Go の使用方法についてサポートを受けたい地域の方）に対して、Scan&Go 使用方法のレクチャーを行い、買い物をするまで体験してもらいます。

<視察事業 輝け！中高生わくわく企画「スマホお助け隊」>

- (1) 開催場所 KASUMI BLANDE 研究学園店
所在地：研究学園 3 丁目 23 番地 3
- (2) 開催時間 午後 2 時～午後 3 時 30 分
- (3) 開催日 令和 5 年(2023 年) 8 月 22 日(火)
- (4) 内容 市内中学生・高校生による「スマホお助け隊」が、スマホ決済のやり方をサポートし、実際の店舗で買い物をする。
- (5) 集合場所 市庁舎 正面玄関前
- (6) 集合時間 午後 1 時 45 分
- (7) 報酬・費用弁償 あり
- (8) 人数 3 名

※店舗営業中のため、参加人数に限りがあります。申込者多数の場合は調整させていただきます。

令和5年度

参加無料

乳児家庭教育学級 (秋学級)

対象

生後2～10か月のお子さん
(2023年9月5日現在)
を初めて子育てする保護者
(つくば市内在住・在勤・在学の方)



育児の不安を解決しましょう

「はじめての絵本」「子どもの救命救急」「おむつ替えから始まる性教育」「赤ちゃんとのくらしを楽しもう」など、初めての育児に役立つ講座です。子育ては何かと不安がつきものですが、講座の内容を参考に子育てを楽しんでみてはいかがでしょうか。



■ 時間 10:00～11:10 (70分間)

■ 定員 各会場 15組程度

- 手話通訳を必要とする方は、申込フォームの備考欄にご入力ください。
- 応募が定員を超えた場合は抽選となります。
- 申込結果は8月25日(金)頃にメールでご連絡します。

学級	会場	曜日	開催日
大穂	大穂交流センター	火曜日	9月5日 12日 19日 26日 10月3日 ※市内関係者が視察を行う可能性がございます
並木	並木交流センター ※吾妻交流センターから変更	水曜日	9月13日 20日 27日 10月11日 18日 ※10月4日は施設の都合によりお休みになります
みどりの	市民ホールやたべ	木曜日	9月7日 14日 21日 28日 10月12日 ※9月28日に限りお子さまをお預かりしての講座になります ※10月5日は施設の都合によりお休みになります

申し込みはQRコードまたはつくば市ホームページから
申込期間 ▶ 8月1日(火)～8月19日(土)

お問い合わせ

つくば市教育局
生涯学習推進課

〒305-8555
つくば市研究学園一丁目1番地1
☎ 029-883-1111 (内線4541)
メール edc073@city.tsukuba.lg.jp

つくば市ホームページ

家庭教育学級



<http://www.city.tsukuba.lg.jp/>





学校ではできない
体験をしてみよう!

輝け! 中高生わくわく企画

各企画
10名程度

つくば市の中高生のみなさん!

2つの企画からやりたいことを選んで地域の人とつながろう!
何かイベントに関わってみたい!そんなやりたい気持ちをつくば市がサポートします。はじめの一步を踏み出そう。
活動場所は近くの**地域交流センター**などになります。



わくわく企画



① 夕涼み会をしよう!

子どもたち(未就学児)に楽しんで貰える、ゲームや遊びなどの企画・準備・運営を行います。

日時 5月29日(月)~全3回
16:00~17:00

② スマホお助け隊



シニアに向けて、スマホの基本操作やお買い物のスマホ決済のやり方をレクチャーします。カスミのスキャン&ゴーの基本操作も行います。

日時 8月8日(火)~全3回
16:00~17:00

申込みはWEBで5月19日(金)までにご応募ください。
つくば市ホームページ「青少年体験学習事業」で検索!

※新型コロナウイルス感染症等の影響により事業を中止する場合があります。



輝け！中高生わくわく企画



スマホで

参加費
無料

お買い物をしてみよう



シニアの方 大歓迎！

つくば市の中学生・高校生による『スマホお助け隊』が、カスミのスマホ決済Scan & Goのやり方をサポートします。
お気軽にご参加ください。

日時
会場

8月22日(火) 14:00~15:30 (13:30受付)

KASUMI BLANDE 研究学園店 (つくば市研究学園3丁目23-3)

対象：スマホを持っている方(定員10名程度)

申込
方法

8月6日(日)までに 「いばらき電子申請・届出サービス」 より事前にエントリーしてください。



お申込はこちら！

- 申込みが定員を超えた場合は抽選となります。
- 申込者全員に結果をお知らせします。
当選者には、あわせて詳細をお知らせします。
- 8月17日(木)までに通知がこない場合は、生涯学習推進課までご連絡ください。



「輝け!中高生わくわく企画」とはつくば市内の中学生・高校生が地域の人とつながりたい!役に立ちたい!との想いを応援する事業です。



主催・問合せ先：つくば市教育局 生涯学習推進課 青少年教育係

〒305-8555 つくば市研究学園 1-1-1 TEL 029-883-1111 (内線 4513)

共催：KASUMI

年 月 日

社会教育事業視察参加希望調査票

申込者氏名

No.	社会教育事業名	参加希望について (どちらかに○をつけてください)
1	乳児家庭教育学級 日時：令和5年(2023年)9月5日(火) 午前10時～午前11時10分 場所：大穂交流センター	参加 ・ 不参加
2	青少年体験学習事業「スマホお助け隊」 日時：令和5年(2023年)8月22日(火) 午後2時～午後3時30分 場所：KASUMI BLANDE研究学園店	参加 ・ 不参加

- ※1 青少年体験学習事業については、店舗営業中のため視察人数が3人に限られており、御希望に沿えないことがあります。
- ※2 両事業の参加申込みも可能です。
- ※3 提出期限 令和5年(2023年)8月9日(水)まで
- ※4 提出先及び提出方法 生涯学習推進課宛てに FAX 又はメールで提出してください。

〇つくば市社会教育委員条例

平成 2 年 3 月 27 日

条例第 8 号

改正 平成26年 3 月 25 日 条例第 12 号 令和 4 年 7 月 1 日 条例第 26 号

(設置)

第 1 条 社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条の規定に基づき、社会教育委員（以下「委員」という。）を置く。

(委員の定数及び委嘱の基準)

第 2 条 委員の定数は、16人とする。

2 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(平26条例12・一部改正) (令 4 条例26・一部改正)

(委員の任期)

第 3 条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員が委嘱されたときの要件を欠いたときは、委員の資格を失う。

(委任)

第 4 条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員設置条例の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員設置条例（昭和63年つくば市条例第62号）は、廃止する。

附 則（平成26年条例第12号）

この条例は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 4 年条例12号）

この条例は、令和 4 年 7 月 1 日から施行する。

〇つくば市社会教育委員会会議運営規則

平成2年4月3日

教委規則第2号

改正 平成10年4月1日教委規則第9号 平成14年10月28日教委規則第15号
平成20年3月31日教委規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、つくば市社会教育委員条例（平成2年つくば市条例第8号）
第4条の規定に基づき、社会教育委員（以下「委員」という。）の会議運営に関
し、必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 委員の会議（以下「会議」という。）には、委員の互選による議長及び副
議長を置く。

(平10教委規則9・一部改正)

(議長及び副議長の任期)

第3条 議長及び副議長の任期は、委員の任期中とする。

(議長及び副議長の職務)

第4条 議長は、会議を主宰する。

2 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、
その職務を代理する。

(平10教委規則9・一部改正)

(会議の招集)

第5条 会議は、必要のある場合に議長がこれを招集する。

(付議事件)

第6条 会議開催の日時及び場所は、会議に付議すべき事件とともに議長があらか
じめ委員にこれを通知しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、会議招集の通知後に急施を要する事件が生じたとき
は、これを会議に付議することができる。

(定足数)

第7条 会議は、在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

(表決)

第8条 会議の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(説明の請求等)

第9条 委員は、会議において議事に関する職員（以下「関係職員」という。）に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の会議出席等)

第10条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(平10教委規則9・一部改正)

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則（昭和63年つくば市教育委員会規則第5号）は、廃止する。

附 則（平成10年教委規則第9号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第15号）

この規則は、平成14年11月1日から施行する。

附 則（平成20年教委規則第6号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

つくば市社会教育委員名簿

任期（2年）：令和4年8月1日～令和6年7月31日

No.	社会教育委員氏名	役 職 等	区分
1	坏 文雄	市図書館協議会会長	社会教育関係者
2	飯岡 宏之	市子ども会育成連合会会長	家庭教育の向上に資する活動をする者
3	石黒 澄子	一般社団法人つくば市スポーツ協会 理事	社会教育関係者
4	石塚 一夫	市シルバークラブ連合会会長	社会教育関係者
5	稲葉 房子	元幼稚園長	学識経験者
6	上田 孝典	筑波大学准教授 人間系教育学域	学校教育関係者
7	金井 恵美	こども育成課放課後子供教室コーディネーター	家庭教育の向上に資する活動をする者
8	鈴木 もえみ	フリーアナウンサー	学識経験者
9	高田 正澄	筑波山地域ジオパーク推進協議会教育・学術部会員、認定ジオガイド	社会教育関係者
10	谷村 安子	民生児童委員 つくばで第九運営副委員長	学識経験者
11	長橋 進也	市PTA連絡協議会顧問	家庭教育の向上に資する活動をする者
12	中山 正巳	市青少年相談員連絡協議会会長	社会教育関係者
13	平野 浩之	要小学校長	学校教育関係者
14	布浦 万代	つくば市国際交流協会理事長	社会教育関係者
15	深澤 美紀代	茨城県立並木中等教育学校校長	学校教育関係者
16	皆川 幸枝	つくば市議会議員	学識経験者

(50音順・敬称略)

令和5年度第1回つくば市社会教育委員会会議質問等一覧

	質問者	質問等	担当課	資料1
1	稲葉委員	<p>【電子図書館事業について】 令和4年度から電子図書館の導入、今年度電子図書館事業の拡充とありますが、どのように進めていくのですか。</p>	中央図書館	P 1
2	谷村委員	<p>【つくばマラソンについて】 昨年初めてボランティアで参加したのですが、とてもランナーを大切にした対応でした。新型コロナウイルス感染症対策もすばらしかったです。</p> <p>スポーツ振興課とボランティア団体との連携はどのようにしているのですか。</p>	スポーツ振興課	P 6

茨城県立筑波高等学校「つくばね学探求」北条界隈の魅力再発見！

～北条地域の大地・自然と歴史・文化を巡る～

日時：令和5年6月30日（金）12時45分～15時15分

参加者：3年生9名（アカデミックコース）、教諭1名、校長1名 計12名

認定ジオガイド：高田正澄 1名

コース：（標高：約m）

筑波高校(16m)→井上糶店(認定商品)→八坂神社(22m)→つくばワイナリー(30m)→つくば道道標(20m)→宮本家店蔵→北条ふれあい館・旧田村呉服店→大塚家店蔵→毘沙門天種子板碑(28m)→日向廃寺跡→多気太郎五輪塔→裏堀用水路(17m)→リンリンロード→筑波高校

大地・自然

- ・北条は筑波山の南側山麓に広がる起伏の多い地形。ぶどう畑、八坂神社、北条商店街などの台地と裏堀用水路や水田などの低地のある自然豊かな町。
- ・筑波山地域の大地は、海洋プレートの力を受けてゆっくり上昇を続けながら世界的な気候変動サイクルの影響を受けている。温暖な時期には海が広がって海底に土砂がたまり、寒冷な時期には海面が低下し、川が大地を削る。
- ・筑波山地域の平野に広がる台地をつくる地層は、約13万年前～12万年前の温暖な時期につくられた。海底に土砂などがたまり、その後、約3万年前の寒冷な時期にかけて海面が低下して、海の底にたまっていた土砂などで台地がつくられた。

歴史・文化

- ・弥生時代後期 北条中台遺跡・古墳群では弥生土器や埴輪などが見ついている。
- ・平安時代後期から鎌倉時代初期 約200年間、多気(たけ)氏が支配していた。この多気氏は平将門を滅ぼした平貞盛の弟、繁盛の子孫であり、一時は常陸国(今の茨城県)の大半を領有するほどの権勢を誇っていた。6代目多気義幹は、多気太郎と名乗り、北条の町を見下ろす城山に城を構えた。源頼朝の命令により、1193年に非業の死を遂げた。
- ・江戸時代 徳川家光が、筑波山の中禅寺(現在の筑波山神社)堂社再建のための資材運搬路を整備し、後に「つくば道」と呼ばれ、北条仲町を起点に、中禅寺への参詣道として江戸方面から多くの人々が往来するようになり、北条は門前町の機能を有しつつ、多くの商人や職人が居住するようになり、街並みが形成されていった。農産物の集散地でもあったため、酒や醤油の醸造、油の製造、木綿の売買が行われ、規模の大きい商店が誕生した。
- ・明治時代 土浦から乗合馬車が、北条まで一日2往復の定期便があり、賑わった。
- ・大正時代 大正7年(1918)の筑波鉄道開通後は、筑波鉄道の中心駅となっていた。
- ・昭和後半から平成に入り、時代の波に押され寂れていく北条の町の復活を願い、平成19年に「北条街づくり振興会」が発足し、北条の街づくりの活性化に取り組んでいる。平成21年には経済産業省「新・がんばる商店街77選」に茨城県で初めて選出された。
- ・平成23年3月11日の東日本大震災、平成24年5月の巨大竜巻(死者1名)と被害にあい、街中の一部住宅が崩壊(約130棟)したが、現在では復活している。

- ・北条商店街：江戸時代に筑波山参拝の門前町として栄えた北条は歴史的な店蔵や土蔵の街並みが残されている。現在の商店が立ち並ぶ通りは、戦国時代末から江戸初期にかけて人為的に作られたと考えられている。一本の通りを町ごとに3ヶ所でカギの手に曲げ、西から「内町」「仲町」「新町」の順に屋並みができていった。定期市の跡の石の祠（ほこら）が残されている。1811年の大火の後から、防火性能を持つ土蔵造りの店蔵が生まれた。
- ・国登録文化財は、江戸末から明治にかけて造られた宮本家店蔵、旧田村呉服店（北条ふれあい館）、旧矢中邸（矢中の杜）、旧常陸北条郵便局（カフェポステン）の建造物である。
- ・大塚家店蔵は屋号を「岩崎屋」で酒の小売業を始め、その後は多岐にわたる事業を手がけた。かつて筑波山麓の米は、良質な米として、東京の市場では〇印の中に北の字の判が押されているマルキタ米と呼ばれ、名が知られていた。最盛期には店蔵の裏手に6棟の蔵が建てられていた。平成24年8月に北条のふれあい館の役割を旧田村呉服店に引き継いだ。

センス・オブ・ワンダー 不思議発見と謎解き

八坂神社の五輪塔(茨城県指定文化財) **なぜ五つの形が違うが石が積み上げられているの？**
 花こう岩製、高さ201cmの大きな堂々とした力強い五輪塔がある。仏教はこの世の万物は、地(ち)・水(すい)・火(か)・風(ふう)・空(くう)の五大要素からなると考え、五輪塔はそれを石で表現し、下から地・水・火・風・空を方・円・三角・半月・団形の形で表している。地輪上面の孔から見つかった経筒には1537年造立とあり、造立年がわかるものでは県内2番目に古い五輪塔。現在の墓石は戒名や俗名が刻まれているが、こうした風習は江戸時代以降から始まり、なにも刻まれていない五輪塔は江戸時代以前の古いものといえる。

つくばワイナリー **なぜぶどう栽培に適しているの？ 浅い海だった証拠はあるの？**
 筑波山麓の山々を背景に広がる中台の台地の上にあるぶどう畑は自然と人間と関わりを感じさせ、景色はゆったりとした時間を感じさせてくれる。水はけのよい砂層の土壌と風通しの良い地形がワイン用ぶどうの栽培に適している。北条周辺が浅い海だった証拠は、海岸近くに堆積した砂の地層に波打ち際に棲んでいた生物の痕跡である白斑状生痕化石が発見されている。生痕化石は生物の巣穴、糞などが地層に残された生物の生活のあとの化石で生物の暮らしぶりや生活環境を知るのに役立つ。

2012年からぶどう栽培、2019年から醸造も始め、新たな地域産業として期待されている。

つくば道(日本の道百選) **なぜ家康はつくば道を造った？ なぜ筑波山をあがめた？**
 筑波山は江戸城からみると北東の方角にあり、鬼門にあたる。かつて徳川家康は「鬼門の護り」として筑波山をあがめ、中禅寺（現在の筑波山神社）を祈願所に定めた。三代将軍徳川家光が筑波山堂舎の再建を進めていく時に資材運搬用に北条から神郡、臼井を通過して、現在の筑波山神社に至る約4キロメートルの道が造られた。1986年に日本の道百選に選ばれている。つくば道の始点につくば道標は立っている。高さ3mをこえる県内最大級の道標は、1716年に建立され、1798年に再建された。「これよりつくば道」「にし おうそね いちのや 江戸」「東 ひだり きよたき つちうら 加し満 (かしま)」と刻まれている。

毘沙門天種子板碑(つくば市指定文化財)

仏様と持物はどこにあるの？

日本の石造物は仏教文化から生まれ、様々な形の石塔、仏様をかたどった石仏、板石に仏様や仏様を象徴する梵字を刻んだ板碑で造られている。鎌倉時代の板碑、黒雲母片岩、高さ170cm、種子(梵字)という古代インド文字で下に毘沙門天、上部に持物の宝塔を彫っている。

日向廃寺跡(つくば市指定文化財)

平等院鳳凰堂のような寺は誰が造らせた？

東西約40m、南北10～20mの範囲に中央堂と翼廊をもつ礎石建造物跡。平安時代後期の互や土器が発見されている。京都府宇治市の平等院鳳凰堂(びょうどういんほうおうどう)のような阿弥陀堂と翼廊をもつ建築の遺跡は、当時の浄土信仰の広まりとともに、常陸平氏本流の多気氏の本拠とされる北条の雄大な歴史を示し、最後の当主多気義幹の墓とされる五輪塔と合わせて、多気氏の栄華を物語る遺跡となっている。

多気太郎五輪塔

なぜここに五輪塔があるのか？

鎌倉時代初期の五輪塔。裏堀を作った多気義幹はその功績を称え「多気太郎さま」と住民から親しまれて呼ばれる。非業の最期を供養するための五輪塔が裏堀を見下ろす丘の上にある。毎年8月に住民が「タキタロ万灯」を催している。

裏堀・用水路

ポンプのない時代に、水はどこから、どうやって流れているの？

北に約5km先にある桜川の東側の自然堤防から取水し、標高差をうまく利用して北条の水田へ流れている。多気義幹によって掘られたとされる裏堀は、かつては堀幅も広かった。流域300haの水田を潤し、献上米にもなった北条米、また防火用水としても地域に多大な恩恵を与えてきた。古文書によると多気氏6代義幹は、民が北条に用水がないのを嘆いていたので造ったと伝えている。しかし1193年八田知家がこの用水路を「戦の準備のための堀だ」と源頼朝に訴えたため、義幹は謀反の罪に問われ、領地没収のうえ死刑となり、多気氏は滅ぶことになった。



八坂神社五輪塔



毘沙門天種子板碑

令和6年度
 第66回全国社会教育研究大会茨城大会
 第55回関東甲信越静社会教育研究大会茨城大会
 第10回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会
 開催概要(案)

- 1 大会スローガン 彰往考来 ～ 人をつくり 人をつなぎ 地域をつくる 未来の社会教育～
- 2 研究主題 誰一人として取り残さない社会を目指す社会教育のあり方
～子どもたちの健全な成長を支える～
- 3 主催 一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会
茨城県社会教育委員連絡協議会、茨城県教育委員会
- 4 主管 第66回全国社会教育研究大会第55回関東甲信越静社会教育研究大会茨城大会
第10回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会実行委員会
- 5 日時 令和6年10月23日(水)～25日(金)
- 6 会場 水戸市民会館(全体会、分科会) みと文化交流プラザ(分科会)
- 7 参加対象者 都道府県・政令指定都市・区市町村社会教育委員・社会教育担当職員
社会教育関係者、生涯学習・社会教育に関係のある方等 約1,000人
- 8 参加費 4,000円 (資料代として)

9 日程

第1日 (10/23)	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00			
													社教連 理事会		都道府県・政令市 社教連等事務局 担当者会議					
第2日 (10/24)	9:00		10:00		11:00		12:30		13:00		14:00		15:00		15:20		16:50		17:00	
			社教連 総会		受付 分科会 打合せ		ア ト ラ ク シ ョ ン		開 会 行 事		記 念 講 演		シ ン ポ ジ ウ ム		閉 会 行 事					
第3日 (10/25)	9:00		9:30		9:40		10:30		10:50		11:40		12:00							
	受 付	開 会 接 拶	分科会				閉 会 接 拶													
発表 I			発表 II																	

10 大会内容

(1) 第2日(10/24(木))

歓迎アトラクション 12:30～12:50 「偕楽園記」暗唱
水戸市立五軒小学校5年生児童

全体会:開会行事(表彰式を含) 13:00～13:50

記念講演 14:00～15:00

講師候補者:国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(略称:JAXA)
宇宙飛行士または職員

シンポジウム 15:20～16:50

テーマ『誰一人として取り残さない社会を目指す地域社会の取り組み』

コーディネーター 大学教授等

シンポジスト 地域活動実践者、社会福祉実践者、教育関係者 等

情報交換会(検討中)

(2) 第3日(10/25(金))

分科会 あいさつ 9:20 発表Ⅰ 9:30～10:30 発表Ⅱ 10:40～11:40
5分科会、各2団体発表(茨城県5、関プロ都県3・政令市1、公募1)

① 第一分科会 テーマ『地域と学校の連携・協働』

例) 地域学校協働活動(含コミュニティスクール)の推進
部活動の地域移行への取り組み

② 第二分科会 テーマ『若者の主体的活動の促進と地域の担い手の育成』

例) 中高生等が企画・運営する児童・生徒の体験活動
地域の活性化を目指す若者の活動

③ 第三分科会 テーマ『家庭教育支援の充実』

例) 家庭教育支援員の養成と訪問型家庭教育
社会教育関係団体と連携した家庭教育相談体制

④ 第四分科会 テーマ『地域コミュニティの活性化を目指して』

例) 子どもから大人まで全ての住民が連携・協調する地域活動
中高生が主役となり地域住民と協働する地域づくり

⑤ 第五分科会 テーマ『誰も排除しない社会を目指して』

例) 多文化共生の地域づくり
障がい者の生涯学習を支援する取り組み

会 議 録

会議の名称		令和5年度第2回つくば市社会教育委員会議		
開催日時		令和6年(2024年)3月15日 開会10:00 閉会11:40		
開催場所		つくば市役所2階 会議室203、204		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	鈴木もえみ委員(議長)、坪文雄委員(副議長)、飯岡宏之委員、石黒澄子委員、石塚一夫委員、稲葉房子委員、上田孝典委員、金井恵美委員、高田正澄委員、谷村安子委員、長橋進也委員、中山正巳委員、平野浩之委員、布浦万代委員、深澤美紀代委員、皆川幸枝委員		
	教育局	森田教育長、吉沼教育局長、久保田次長		
	中央図書館	柴原館長、沼尻副館長、玉木館長補佐		
	文化芸術課	矢口課長補佐		
	地域支援課	倉持課長補佐、矢口係長		
	スポーツ振興課	大久保課長、中山係長、竹前係長		
	事務局	澤頭課長、色川課長補佐、瓜阪係長、渡辺係長、川津係長、生涯学習推進課		
	生涯学習推進課	渡邊社会教育主事、石澤主任主査、山岸主事		
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0
非公開の場合はその理由				
議題	(1) 令和6年度社会教育事業計画(案)について (2) 企業における家庭教育学級について			
会議録署名人		確定年月日	年	月 日
	1 開会			

会	2 挨拶
議	3 議事
次	(1) 令和6年度社会教育事業計画(案)について
第	(2) 企業における家庭教育学級について
	4 その他
	社会教育事業視察実施報告
	5 閉会

< 審議内容 >

1 開会

○事務局

ただ今から令和5年度第2回つくば市社会教育委員会議を開会いたします。本日の司会を務めさせていただきます生涯学習推進課課長補佐の色川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。始めに教育長の森田から御挨拶申し上げます。

2 挨拶

○森田教育長

《挨拶》

○事務局

それでは続きまして、つくば市社会教育委員会委員会議運営規則第7条の規定によりまして、会議は在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができないと定められております。ただいまの出席委員は15名ですので、会議を開催いたします。つくば市社会教育委員会議運営規則第4条第1項の規定によりまして、議長は会議を主宰するとありますので、議事進行につきまして鈴木議長にお願いいたします。

3 議事

○議長

それでは議事に移りたいと思います。

議事の(1)令和6年度社会教育事業計画(案)についてです。資料1の令和6年度社会教育事業計画(案)について、各課から御説明をいただきたいと思いますが、今回は1つの課ごとに区切って質疑応答をしたいと思います。順番は、文化芸術課、地域支援課、スポーツ振興課、中央図書館、生涯学習推進課の順で、課ごとに御説明をして質疑応答をする形式とさせていただきます。それでは、資料の1ページを御覧ください。文化芸術課から御説明をお願いします。

○文化芸術課

つくば市民文化祭について説明させていただきます。目的としましては文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに、創作意欲の向上と世代間の交流を促進することとしています。事業計画につきましては、11月2日の土曜日と3日の日曜日に開催する予定になっております。音楽会に関しましては、翌週の11月9日と10日に実施する予定です。会場としましては例年通り7会場で実施する予定となっております。開催部門につきましては展示及びステージで例年と大幅な変更はございません。以上です。

○議長

御説明ありがとうございました。では委員の皆様方から文化芸術課の令和6年度社会教育事業(案)につきまして何か御意見、御質問等ございませんでしょうか。石塚委員をお願いします。

○石塚委員

文化祭の実施について、各会場同じにすると書いてあったのですが、荃崎会場の展示物は前倒しでやってもらっていたのですが、6年度は書いてない

ので前倒しはないということでしょうか。

○議長

文化芸術課いかがですか。

○文化芸術課

開催期間の拡大ということによろしいですか。実施内容につきましては来年度に入りましてから各会場の催事委員会で決定しますので、それによって決まりますが、荃崎に関しましては、期間を拡大する形で来年度も実施すると思われま。

○石塚委員

わかりました。

○議長

続きまして資料2ページから3ページを御覧ください。地域支援課から御説明をお願いします。

○地域支援課

地域支援課で実施する2事業について御説明いたします。まず1つ目の事業地域交流センター講座につきまして、目的は市民に地域交流センター講座による学習機会を提供することで、豊かな生涯学習社会の実現に寄与することです。

事業計画につきましては、市内の16交流センターで自主企画の講座を企画しまして、5月前期講座、9月の後期講座に受講生を募集して、講座を実施します。

前期講座につきましては、50講座程度、定員700名で5月に募集をかけて、講座を開講する予定です。

また後期講座につきましては、同じく50講座程度定員700名を募集しまして、9月に募集を行います。

昨年までは17交流センターで実施していましたが今年の2月から吾妻交

流センターが、市民活動センターと統合しまして、市民センターとなりましたので、地域交流センターの数としては17施設から16施設に減となっています。

主な講座の内容としては、郷土の歴史探訪やスマートフォン講座、IT関係の講座、その他料理、絵画、フラワーアレンジメント、ヨガ、健康体操、ダンス等の運動系の講座、その他手芸、クラフトなどの講座を予定しています。

今回前期講座につきまして、講座の数等がすでに決定してまして、52講座開講する予定です。こちらは広報つくばの5月号で、記事を掲載して募集を開始する予定です。

続きまして生涯学習施設、つくば市ふれあいプラザの管理業務です。目的は、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため、また生涯学習の幅広いニーズに対応するためです。事業計画としては、指定管理者制度を用いてつくば市ふれあいプラザの維持管理業務を行っています。また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する予定です。事業計画の内容の1つ目ふれあいプラザ講座です。

こちら交流センター講座と同じように指定管理者で自主事業講座を実施しています。毎月の広報つくばに講座の開催記事を掲載しています。内容は、英会話やコンピューターの操作、カメラ、手芸、歴史、料理等の多彩なジャンルの講座を年間を通して開催しています。また各種イベントとして、自主事業で子供向けの肝試し、プールの記録会、その他ジャズイベント、新春落語、活動団体発表会、ふれあいプラザを利用している団体の文化祭的なものを実施しています。以上です。

○議長

御説明ありがとうございました。では委員の皆様方から、地域支援課に関して何か御意見御質問のある方いらっしゃいますでしょうか。上田委員お願いします。

○上田委員

地域交流センターで様々な講座をされていることは大変充実していて良いと思うのですが、質問させていただきたいのは、こういった講座の企画に市民がどの程度参加しているのかということです。多様なニーズをアンケート等により把握するとあるのですが、実際にそこを利用されている方たちの企画した講座或いは特に今度吾妻交流センターが市民活動センターと統合するというので、市民活動をされている方々が課題に感じているようなことを交流センターで事業化していく、或いはそれをより広く市民と学ぶ環境を作っていくような講座を作っていく。そういうようなことについてどの程度地域支援課で念頭に置かれているのかお尋ねさせていただきたいと思います。

○議長

地域支援課いかがでしょうか。

○地域支援課

地域支援課矢口です。今委員からの御質問につきまして、講座の企画はほぼ交流センターの職員が企画して運営まで行っている状況で、市民と協働して企画し講座を開設するところまでは至っていない状況です。そこに市民がどのくらい関与して講座を運営していくかは今後の課題の1つであると思っています。以上です。

○議長

上田委員いかがでしょうか。

○上田委員

趣味や教養のニーズが高いのは非常によくわかるのですが、地域交流センターは各地域にあるので地域の課題を扱うような講座の内容をもう少し工夫して考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長

私も講座を何度か受けていますが最後にアンケートで、今後何か企画し

て欲しい講座はありますかというアンケートはありますよね。

○地域支援課

講座終了後にアンケート調査はもちろん実施していますが、そこでどのような講座を実施したいというニーズも把握しています。その他、地域交流センターアンケートで講座を受講した方以外にも日常の利用者、サークル活動等の利用者についてもアンケート調査していきまして、その中で講座をやるとしたらどんな講座よいかという設問を設けてニーズの把握に努めています。その中で多くの方は趣味系の講座がいいというお声もいただいています、その他の御意見として教育的意義のある講座をしたいというお声もありますので、少数の意見も取り入れながらバラエティに富んだ講座を今後とも企画していきたいと思っています。

○議長

上田委員、よろしいでしょうか。ありがとうございます。皆川委員お願いします。

○皆川委員

ただいまの御意見について非常に大事なことだと思います。市民の方のニーズ把握と、先ほど上田委員もおっしゃっていたとおり市民活動団体は、色々なボランティア活動をされながら社会的な課題についても色々感じていると思いますので、その意見もぜひ聴取して企画に反映させていただきたいと思います。

それとこの社会教育委員会と生涯学習審議会もごございますし、担当が地域支援課と生涯学習推進課と管理が分かれていると思うのですが、連携しながら生涯学習とは何かという視点で講座の企画はお願いしたいと思います。それと2点ありまして、2ページの課題と対応で受講者が定員に満たなく開催見送りとなった講座があったということなのですが、昨年も定員に満たないから見送りではなくて、できるだけ開催できるようにという御意見があった

と思うのですが、今回どういう経緯で見送りになったのかお聞きできればと思います。

○議長

地域支援課いかがですか。

○地域支援課

まず1点目の御質問につきましては、関係各課と連携が必要なもので、生涯学習推進課や市民協働課等関係課との連携が必要な部分もあと思っていますので、連携を密にして講座の企画運営等に繋げていきたいと思っています。2点目の定員に満たなくて見送りになったという件につきましては、課題と対応のところに書かせていただいたのですが、令和5年度の講座につきましては、定員に満たない講座であっても講師と調整した上で人数が割ってしまった状況でも開催に支障がない状態であればそのまま開催するというように進めています。把握している中では見送りになった講座はなく令和5年度は前期後期とも開催しております。

○議長

ありがとうございました。もう1点皆川委員お願いします。

○皆川委員

3ページのふれあいプラザの運営に関してですが、指定管理者制度で管理運営していただいていることで、市民の方の中には部屋が空いてなくて使いにくいという声もあります。指定管理者がどれだけ企画運営して部屋を使っているのか、それと市民の方のニーズとマッチ度が今見えてないということで、昨年は市民との意見懇談会開いていただいたのですが、今年もぜひ企画していただいて市民の方のニーズとふれあいプラザの思いがマッチしているかどうか意見交換の機会を設けていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○議長

地域支援課いかがでしょうか。

○地域支援課

まず1つ目の御質問につきまして、これは指定管理者に再三申し上げているところなのですが、自主事業をするにあたって、まずは貸館やサークル活動で利用することが優先であるので、そこを圧迫しないように自主事業は企画してくださいということを申し上げております。利用が集中する時間帯は、大体どのサークルも一緒になります。昼間の午前中や午後の早い時間にどうしても使いたいとどのサークルも思うので、そういうところは自主事業から外すような対応をなるべく取っていただくように指定管理者の方には指導しています。

2点目の地域の意見の聴取等の懇談会については、昨年度初めてふれあいプラザの指定管理者と実施したのですが、意見交換会の進め方があまりよろしくなくて、建設的な意見をお互いやり取りしてどのような運営につなげていくかというところがうまくできなかった部分もありますので、そこは指定管理者共々、主管課の地域支援課も反省点であるので、運営の仕方や目的等テーマを決めたりしてより良い意見が地元の皆さんからいただけるような会にしたいということも含めて企画していきたいと思えます。

○議長

ありがとうございました。それでは布浦委員お願いします。

○布浦委員

皆川委員と重複するところあるかもしれませんが、私、毎月ふれあいプラザで講座を行っています。年間を通して行っておりますが、非常にニーズが高く、3か月先までしか取れないのですが、交流センターもそうだと思いますけど、私のように年間を通してやろうとすると取れない月があります。私の講座で非常に遠いところから来てくださっている方も多いです。古河とか龍ヶ崎が多いのですが、予約が取れないと講座が中止。急な場合には取れない

場合が非常に多くありまして、この辺あたりは非常に自主運営も多いと思いますので、市民のニーズは多いのではないかと思います。この予約制度ですが、皆さん本当に会場を取るのに必死になって、かつては朝7時位から並んで寒い中予約したということもあります。何とかこの場所の確保の制度ですね、今が目一杯かもしれませんが、朝行って列を作って予約を取っている私もそうですが、緩和されるといいかなと思っています。

ただ、指定管理者制度ですので非常によくやってくださっていると思います。その辺の兼ね合いですね、利用者とお部屋の確保の。これ永遠の課題かもしれませんが、ずっと緩和されていないので、何とかしていただけたらなと思います。

○議長

公民館の予約が取れない問題はずっとありますけれども、地域支援課いかがでしょうか。

○地域支援課

予約の問題については長年議論されているもので、寒い中、暑い中並ぶということを解決できないかという問題提起がずっとあります。万人が納得する方法があるのかどうか、その課題は認識しています。サークルさんや利用者にアンケートを取る結果だけを見ると、今までの予約の方法で良いという方が半数以上はまだいて、並べば確実に狙った日が取れるということをメリットと感じる方もいますし、中には完全抽選にして恨みっこなしでやった方がいいという方もいて、どちらかに寄せるべきか、また違った方法があるのかは悩みどころではあります。他市町村の事例等を見ながら方法をまだ揉んでいるところです。

○議長

布浦委員いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○布浦委員

よろしく申し上げます申し上げます。ありがとうございました。

○議長

丁寧な御説明ありがとうございました。それでは他にございますか。坏委員申し上げます。

○副議長

管理の方になってしまうのですが、交流センターとふれあいプラザと両方に関係するのですが、私、荃崎交流センターは定期的にふれあいプラザも時々利用しています。それで、トイレのことなのですが男子トイレの扉という扉に紙おむつ持ち帰れとべたべた貼ってあります。これもう張りすぎじゃないのと思うほど紙おむつとか尿パッドとか持ち帰れと。私は土浦の図書館や阿見の公民館も使っているのですが、そこはサニタリーボックスに入れてくださいとか丁寧です。持ち帰れとかいう書きぶりはしてない。ただ、谷田部交流センターを利用するとそういうことは書いていないので、なぜ荃崎地区だけあんなに敵対心を持っているのか、(利用者が)どういう置き方をしてくるのかはわからないが、もう少し障害者にやさしくてもいいのかなと。つくば市は障害者にやさしいはずです。だから荃崎交流センターの男子トイレを見た方がいい。これでいいのかどうか。中には年を取ってくれば色々あるでしょう。トイレ使うなということと同じだから、そこを聞いておきたいですね。

○議長

ありがとうございます。

○副議長

私は、谷田部の図書館と荃崎交流センターとふれあいプラザぐらいしかわかっていない。市役所のトイレはそのようなことは書いてないですね。だから誰がどういうことを管轄しているのか聞いておきたいと思います。

○議長

坏委員ありがとうございます。地域支援課いかがですか。

○地域支援課

男子トイレのサンタリーボックスについては、昨年度設置を進めまして、各交流センター施設に設置しているところです。張り紙については不適切なものであれば外して、不快な表現はさせないように現地確認して指導したいと思います。

○議長

坏委員いかがでしょうか。

○副議長

実態を把握しているのかな。交流センターに任せっ放しで、見たり視察をしたりしているのかそれを知りたい。今、初めて私は言ったけれどずっと前からですよ。たまには現場を見て実態を把握しないと、ここにいるばかりでは解決しないと思うのでよろしくお願いします。

○議長

ありがとうございました。担当の方はそういう状況に気がつかないこともあるかと思いますので、もしお時間がありましたらぜひ見ていただきまして、同じ言葉の使い方的印象が変わってきますので、少し工夫していただけたらと思います。お客様の地域によってマナーがもしかしたら違うのかもしれませんが、ぜひ坏委員からの御提案ですのでお願いいたします。では石塚委員お願いします。

○委員

ふれあいプラザの件ですが、まず概要の利用者のニーズに即した自主事業の開催やイベント実施、これはもうすごく立派だと思います。私も見ていてかなり自主事業そのものは立派にやっているといます。ただ、そこを一生懸命やっているからかどうかわかりませんが、一般の利用者が窓口に行った場合、中々対応がちょっとって言うような…先ほど懇談会があったと言って

いましたけど私も参加しました。あのときの意見はほとんどが苦情ばかりでしたよね。参加者が15、16人だったのですが、多分ほとんどの人がふれあいプラザの窓口に対する苦情ばかりでした。ニーズに沿ったとかっていうのではなく本当のことを話していただいた方がいいと思います。一緒に聞いていただいたと思いますが、かなり酷かったですよね。これからは指導していただきたいと思います。それと2ページの取り組みの実績、目標についてなんですが、今まで延べ人数じゃなかったのですが目標が今回から延べ人数に変わったのはどういうことなのかなと思いました。何か特別な理由があるかどうか。以上です。

○議長

石塚委員から2点大きく分けて御質問ありましたので、地域支援課お願いします。

○地域支援課

ふれあいプラザについての御質問で、主に苦情についてふれあいプラザのスタッフの待遇についてのものが主でした。そこについて市からも再三、丁寧な対応、寄り添った対応をなさいと指導しているところで、苦情がある限りは引き続きその都度指導して地元から愛される施設、皆様が気持ちよく使ってもらえる施設を目標にしていますので引き続き至らない点があれば指導を続けるつもりです。2点目の延べ人数についてですが、今までも延べ人数として数字はカウントしては、ただ表現として人数としか書いていなかったのだからわかりやすく表現するために延べ人数という表現に今回書き足したものです。今までも数字としては延べ人数を拾っていましたので、数字自体の違いはありません。表現をよりわかりやすくするために述べ人数という言葉に変えたというところです。

○議長

石塚委員よろしいでしょうか。

○石塚委員

ふれあいプラザに話ししてあるわけですね。現在も私の所属しているクラブの事務局で申し込みに行くのが嫌だと言っています。ふれあいプラザには申し込みしたくないと。行って色々なことを言われるので、交流センターや市民ホールくさぎきを利用したりしているのですが、そういった対応をこれからしっかりやっていただけるように御指導をお願いしたいと思います。以上です。

○議長

ありがとうございました。先ほども現地の表示の文言ですとか、今の対応のお話が出たので、もしかしたらその現地のスタッフの方の方でも何かあるのかなと思いますので、ぜひ課のスタッフの方も1度行ってみていただけたらと思います。たくさんの貴重な御意見御提言いただきましてありがとうございました。地域支援課の令和6年度社会教育事業計画(案)については以上とさせていただきます。

続きまして資料4ページから5ページ御覧ください。スポーツ振興課お願いします。

○スポーツ振興課

4ページのスポーツ大会開催事業について御説明させていただきます。この事業は、スポーツに対する意識の高揚を図るとともに、つくば市のPRに努めスポーツでつながるまちづくりに寄与するために行っているものです。実施している事業について、概要のところに書かせていただいております。つくばマラソンを11月24日開催することを決めておりまして、42.195キロの部と10キロの部を開催いたします。10キロの部は令和5年度1,500人だったのですが、ちょっと増やせるかなということで令和6年度は2,000人で定員を設定して実施する予定です。

続いて健康マラソンという距離の短い事業も研究学園駅前公園、市役所の近

くで実施しております。こちらは2月1日に開催する予定です。その次に、ウォークラリー、グループ歩行も行っております。こちらは5月25日の開催に向けて準備を進めているところです。続いて、つくばスポーツフェスティバルもカピオで令和6年度は10月5日(土)に開催する予定で準備を進めております。取り組みと実績値については、つくばマラソンと健康マラソンの申込者数を書かせていただいております。令和6年度は、つくばマラソン1万2,000人、健康マラソン2,200人で設定して実施したいと考えております。スポーツ大会開催事業については以上です。

○スポーツ振興課

スポーツ振興事業について御説明させていただきます。この3月に第二次スポーツ推進計画が策定されまして、その新たな計画に基づき令和6年度は様々な施策を実施する予定となっております。運動を始めるきっかけとなるようなスポーツ教室を開催したり、中々進行が今難しい障害者スポーツの推進を図るための施策を展開したり、教育局と連携をしながら中学部活動の地域スポーツに移行する際の各種課題の解決に向けて調整検討などを行っていく予定です。取組目標値を8教室に設定して、自主事業としてやる教室だけではなく民間との連携、協力によるものなども推進していく予定となっております。

スポーツ振興課からは以上となります。

○議長

御説明ありがとうございました。では委員の皆様スポーツ振興課の令和6年度社会教育事業(案)につきまして御意見御質問ありませんでしょうか。長橋委員お願いします。

○長橋委員

つくば市PTA連絡協議会の長橋と申します。最後に説明のあった部活動の地域移行ですが、現在の検討状況はどのような感じなのでしょうか。

○スポーツ振興課

学び推進課が中心となってやっていますが、中学校が16校あり一律には進んでいないところがあります。スポーツ振興課としては、スポーツ協会と連携して地域の受け皿を作るという視点で検討しております。今は小学生が中心のスポーツ少年団ですが、中学生も受け入れていただけないかアンケートを取ったりなるべく多く受け入れていただけるよう受け皿づくりに力を入れております。

○長橋委員

ありがとうございます。学校と教育局の方と進めているかと思うのですが、学校主導でやっていくと学校の思いというのが出てしまうので、こういうのは地域移行というからには地域の方で進めていくことが大事かなと思うので、ぜひその受け皿づくりを進めていただきたいと思います。ありがとうございました。

○議長

金井委員をお願いします。

○金井委員

つくばマラソンに関してですが、私、マラソンのボランティアに10年以上関わらせていただいているのですが、もしかしたらポイントによって違うのかもしれませんが、ボランティアの数が足りてないというのが今年は特に感じました。私が担当した地点では、人数が例年より少なかったのですが配布するものが多くて、例えばこれ前後のところが多かったので前後に配布物をずらせないのでしょうかと相談したところ、それは何キロ地点で何が必要ということを学生さんと相談してやっていただいているので動かせないということでした。少し人を増やしていただくことはできたのですが、東京マラソンはランナーも抽選でボランティアも実は抽選で、私の友人で6年もボランティアができなかったというぐらいボランティアさんも多く参加していると

ということなので、できればつくばマラソンもボランティアが抽選になるまでとはいかないのですが、ボランティアの募集について力を入れていただけたらなと思って発言させていただきました。よろしくお願いいたします。

○鈴木議長

ありがとうございます。参加人数も増えてきて大事な問題ですね。スポーツ振興課、今の件に関していかがですか。

○スポーツ振興課

東京マラソンのボランティアについては学ぶところが多いと思っていて、指導者の育成や大会の前に説明会と当日という形なのですが、年間を通して指導者講習等を実施していて育成に力を入れています。それによってさらにボランティアも協力する意識が高まっていると思いますので、見習ってつくばマラソンのときだけではなく、他の形で何か呼びかけたりすることも考えていきたいと思っています。ありがとうございます。

○議長

稲葉委員お願いします。

○稲葉委員

スポーツ振興事業についてお聞きしたいのですが、中学生の指導者等が地域移行ということなのですが、事業計画の「部活動改革プロジェクト会議」について教えていただきたいと思っています。

○議長

スポーツ振興課御説明お願いします。

○スポーツ振興課

教育局、スポーツ振興課、或いは文化芸術課など庁内の関係各部署とスポーツ協会や関わっている民間の企業などとも連携して定期的な意見交換や今後に向けての話し合いをしているような状況です。

○議長

稲葉委員いかがでしょうか。

○稲葉委員

ありがとうございました。

○議長

飯岡委員お願いします。

○飯岡委員

スポーツ振興事業に関することなのですが、先ほど長橋委員が聞いていましたが、筑波大学との兼ね合はどうなっていますか。筑波大学の学生さんは技術的にも、指導力もあると思うのですけれども。筑波大との兼ね合いは部活動とどうなのでしょう。

○スポーツ振興課

筑波大ともかなり連携を密に取らせていただいております、スポーツ専門学部がある大学ですので、地域移行に関しましてもそうですし、各種の教室、或いは障害者スポーツに関するところでしたりとか、スポーツ推進審議会の委員さんにも御協力いただいております。

○飯岡委員

ありがとうございました。筑波大生にとっても、将来指導者になる方もいらっしゃると思いますし、中学生もトップアスリートから技術的指導を受けると、よりモチベーションが上がってウィンウィンの関係になると思いますので引き続きよろしく願いいたします。

○議長

石塚委員お願いします。

○石塚委員

本年度のスポーツ運動始めるきっかけとなるようなスポーツの教室や大会を開催するというのが今年度の目標にありますが、きっかけになるようなスポーツというのはどういうスポーツなのか教えてください。それと只今スポ

ーツ協会という話が出ましたが、スポーツ協会の入会の資格や年会費等がどうなっているのか教えてください。

○議長

スポーツ振興課いかがですか。

○スポーツ振興課

まず運動を始めるきっかけとなるようなスポーツなのですが、例えば子供たち向けに3つの競技を体験できる教室を開催したり、スポーツフェスティバル&つくパラというイベントを開催しておりまして、その中で色々な障害者スポーツとか、バスケット、バレー、プロスポーツ等市内にありますので、協力していただいてバレーやバスケットの体験をやって参りました。そこで終わるのではなくて1回限りの教室というよりは、そこで体験していただいてやってみたいなど思えるようなものを意識しながら教室や大会を開催しています。

○議長

石塚委員いかがでしょうか。

○石塚委員

了解です。

○スポーツ振興課

協会の会員の要件などにつきましては、後程御報告させていただきたいと思えます。

○議長

ありがとうございました。スポーツ振興課の令和6年度社会教育事業計画(案)につきましては以上となります。続きまして中央図書館です。資料は6ページから7ページです。中央図書館お願いします。

○中央図書館

資料6ページ、図書館運営に要する事業になります。新規事業を中心に御

説明させていただきます。事業計画の中で1から4のその下の midpoint のところなのですが、自動車図書館車両の更新というのがございます。これは現在3台で運行している自動車図書館車両の内、最も登録の古いものが平成12年に登録されており、もう23年経過しているという状況にあります。走行距離も10万キロを超えまして経年劣化とともに大分不具合等も発生していますので、新たな車両を更新することを計画しています。

次の下線のところ電子図書館の学校連携ですが、こちらは一昨年から電子図書館サービスを開始しました。それに伴いまして利用の方も順調に伸びてはいるのですが、ぜひ小学校、中学校の子どもさんたちにも積極的に使っていただきたいと考えていまして、来年度から学校向けの「読み放題パック」を導入することで予算も増額で計上しているのですが、GIGA 端末を活用して読書推進或いは調べ物等に使っていただきたいと考えています。

話が戻りますが、自動車図書館の車両を更新することと並行して令和6年4月からは、現在のところ4か所新たに自動車図書館のステーションを増やす方向で考えています。また、返却ポイントの増設も引き続き行っていきたいと考えていまして、今のところ1、2か所程度、来年度中に増やせればと考えています。この返却ポイントを増やす或いは貸し出しができるポイントを増やしてきましたが本の物流が大分多くなってきましたので、来年度は配送車も1台増やして対応していきたいと考えています。また、記載はないのですが、大きな事業としてアルスの外壁の改修工事並びに中庭のリニューアル工事というものも計画しています。続けて説明させていただきます。

7ページのオンライン地域交流センター図書室運営に要する事業です。こちらは谷田部、筑波、小野川、荃崎の4交流センター図書室の運営と昨年10月から始めた研究学園小学校の一般開放に伴いまして図書室の運営、また令和6年度からはみどりの南小学校の図書室も一般開放する計画で準備を進めているところです。小学校図書室の一般開放につきましては、土曜日、日曜

日、祝日のうち中央図書館が開館している日に同時に開放しています。研究学園小学校は、昨年の10月から開始していて、4月に開校するみどりの南小学校は、今年の10月から開始予定です。その他4交流センターの図書備品購入等につきましては予算額要求の中では若干増えていますが、これは書籍の単価が上がっているなので、実際の受入冊数についてさほど増えるという状況は見込んでいません。以上です。

○議長

御説明ありがとうございます。委員の皆様から御意見御提言ございますか。上田委員お願いします。

○上田委員

1つ質問させてください。地域交流センターの課題と対応策というところにもあるのですが、地域の特色を生かした資料の整備ということで各地域にある様々な発行されている媒体の資料を収集されていると思うのですが、そういった地域の独自の資料の収集の状況とそれから物理的な空間的な余裕もあるかと思うので、今はデジタルアーカイブ化してPDF等にデータに落とし込むという作業が必要なのかなと思うのですが、そういった取り組み状況について、もし今何かわかることがありましたら教えていただきたいと思います。

○中央図書館

まず1点目の地域の独自資料の状況ですが、つくば市内と考えられると思うのですが、特に地域の特色を生かした資料の整備というのは筑波地区であれば比較的農業従事者が多いということを見込めればそういった関連資料を集めるというような独自性が出せるかなと計画しているところです。実際のところ独自資料の入っている状況につきましては、中々4交流センターを含めそれぞれの独自性が出ているかということそういった状況にはないということです。

2点目のデジタルアーカイブ化につきましては、先ほど触れた電子図書館サービス機能の中で独自資料をデジタル化するという機能もありますので、まだ取り組めてはいないのですが今後を見据えて取り組んでいきたいと考えています。以上です。

○議長

上田委員いかがでしょうか。

○上田委員

はい。ありがとうございました。

○鈴木議長

中山委員お願いします。

○中山委員

ここの資料には書いていないのですが、図書館のデスクを占有されている子供が多いということで入れ替えしをしていたようですが、その後はどうでしょうか。いつも混んでいるなど見ていたのですが。

○中央図書館

今、中山委員からございました自習スペースですが、使い方が大変課題になっていまして、ただ一方で学生さん方から自習スペースが欲しいという御要望もありました。今の状況で言いますと先月中央図書館の左手奥の方にA Vブースというのがありまして、利用も30年前に建てた頃と比べると減ってきたのでブース自体は一旦撤去しました。そこに、閲覧席等約25席を設置して25席のうちの4席を1人でDVDが見られる席として使っているのですが、残りの21席は今回電源のコンセントも設けましたのでパソコン、スマートフォンを使って調査、勉強目的であれば充電もしていただけるよう整備しました。利用の仕方は、2時間で入れ替えする運用をさせていただいております。ただ2時間経った後に空席があれば引き続き御利用いただけるので、お1人1日2時間限りというような限定はしておりません。実際の利用状況

ですが、確かに例えば高校生の期末テストが近づいてくると混んでいる状況もありますが、年間を通してみますと、夏休みも含めて現在のところ座りきれないというような状況はありません。ただ一方で、中央図書館は2時間しか使えないというような情報が各学生同士であると思うので、そうすると使いにくいと感じられてあまり中央図書館に足を向けなくなるようなことがあるかもしれません。その辺は実際の声は汲み取れきれいていないのですがそういう状況があります。

最後にもう1点、センタービルを改装してコリドイオというスペースができました。あちらにも自習等に使えるようなフリースペースがありますので中央図書館で席が混んでいたら、近隣にこういうところもありますという御案内もしますし、コリドイオの職員の方からもあったのですが、「電源は使えないのですか」という問い合わせがあった時に、中央図書館で今度電源が使える席も設けたことをコリドイオから逆に中央図書館の案内をしていただいたり、センター地区エリアでお互いに情報交換しながら色々な施設の御案内もできるように体制を整えているところです。以上です。

○議長

布浦委員をお願いします。

○布浦委員

学校訪問ブックトークの件ですが、今回12,966名の応募の中から要小学校の司書の松本さんが優秀賞ということで、素晴らしいブックトークを長年やってらっしゃいまして、フィンランドの方と図書の交流もしております。今回新聞で知りましたが、図書館だよりや新聞等にも載ったようですけど、このブックトークから本が好きになったということで、この方は小学校と中学校の司書を繰り返していらっしゃるようですが、本当に子供たちが図書館の本を読みたくなり相当の読書量を増やしている小学生がいるということで、小学校からというのはとても大事だなと思います。

今回、お話出ておりませんが、彼女のブックトークが優秀賞で県の教育長から表彰されています。素晴らしいブックトークの推進をされている方がいらっしゃるということをお伝えしたいと思います。

○議長

中央図書館、コメントがあればお願いします。

○中央図書館

ブックトークにつきましては、4月からまた小学校、中学校が1校ずつ増えるので、毎年積極的にこちらから呼びかけて何よりも学校司書の協力があるからこそ成り立つと思っています。我々が行くのは年に1回しかないので、それをきっかけとして子供たちの読書推進をしていただけるように学校司書とも定期的に情報交換会などもしておりますので、引き続き連携しながら子供たちの読書推進を積極的に進めていきたいと考えております。

○議長

生涯学習推進課は8ページから13ページまでです。生涯学習推進課、お願いします。

○生涯学習推進課

資料の8ページ青少年健全育成事業について御説明いたします。令和6年度の事業計画としましては、青少年の健全育成に協力する店登録活動や挨拶声かけ運動を青少年相談員の皆様を中心に青少年育成各団体と連携して行い、青少年健全育成活動の推進を図って参ります。また、つくば市子供会育成連合会補助金や青少年を育てるつくば市民の会補助金を交付することによって、各団体の活動支援を行って参りたいと思います。

続きまして、資料の9ページ。つくば市二十歳の集い事業です。令和6年度の事業計画としましては、資料に記載のとおり、令和7年1月12日に今年度と同様、午前午後の二部構成で開催したいと考えております。

令和7年二十歳の集いについては、すでに市民の方から問い合わせ等も届

いておりますので来年度は早めの周知を心がけていきたいと考えております。

次に、資料の10ページ。青少年体験学習事業について御説明いたします。つくば市青少年体験学習事業としまして、来年度はこの指と一まれ！事業、輝け！中高生わくわく企画、2つの事業を中高生の夏休み期間を中心に開催を計画しています。また、つくば市子供体験事業補助金を交付することによって、青少年育成諸団体の活動を支援していきたいと計画しています。

○生涯学習推進課

続きまして資料は11ページになります。科学教育推進事業について説明します。資料の右側令和6年度の事業計画についてですが、この科学教育推進事業は3つの事業を推進しています。

1つ目の科学出前レクチャーにつきましては、令和5年度の実績が前の年度に対して大きく増えましたので、この動きをさらに加速化していきたいと考えています。

続いて2番目の夏休み期間中に例年実施しています「つくばちびっこ博士」についてですが、こちらは前回の社会教育委員会議でも御紹介した「つくばちびっこ博士デジタルチャレンジ」に取り組みました。来年度以降も紙の媒体とデジタルチャレンジを組み合わせ、さらに子供たちの科学技術に対する興味関心を深めていきたいと考えております。デジタルという言葉がありますが、あくまでもデジタルコンテンツを使って研究所の現地で楽しむという現地の学びを大切にしていきたいと考えています。

最後に3番目つくば科学フェスティバル事業です。こちらは隔年開催のため、令和5年度は実施しませんでした。来年度実施します。予算額が大きく増えている一番大きな要因はこの事業を来年度実施するためです。こちらの開催は令和6年11月を予定しておりまして、前回は令和4年11月12日、約1万人の方においでいただきましたが、同程度の事業を想定して今後準備を

進めて参ります。以上です。

○生涯学習推進課

資料 12 ページの方の家庭教育学級支援事業について説明させていただきます。家庭教育学級の変更点について主に説明させていただきます。乳児の家庭教育学級ですが、みどりの学級から来年度は荃崎学級に変更します。幼児の家庭教育学級においても、小野川、ゆかりの森から、島名、栗原交流センターに変更します。また、全市立幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、吉沼小学校の祖父母学級において家庭教育学級を実施します。企業における家庭教育学級の方も推進する予定です。また、市立幼稚園、小学校、中学校、義務教育学級において、家庭教育セミナーを実施します。たの・らく講座も持ち回りで実施する予定です。保育所においても、社会教育講座として実施します。3月10日に行いました社会教育講演会も来年度も開催し、広く市民への学習の機会を設ける機会とします。

13 ページをご覧ください。生涯学習施設管理について御説明させていただきます。市民研修センターの指定管理業務を行っています。講座は市民研修センターにおいて自主事業、生涯学習に関する講座を開催します。講座の内容は記載されているとおりです。以上、説明とさせていただきます。

○議長

ありがとうございました。では8ページから13ページの生涯学習推進課の事業につきまして御意見御質問がある方いらっしゃいますか。谷村委員お願いします。

○谷村委員

つくば二十歳の集いについて申し上げたいと思います。大変緻密な計画のもとで開催されていると思います。大変お疲れ様でした。実際に参加した二十歳の人たちがどのような感想を持ったかということがとても大事だと思います、知り合いに聞き取りをしたのですが、子供の言うことですのでとても些

細なことなのですが参考までに申し上げたいと思います。良かったことは、とても受付がスムーズだったということをととても喜んでおりました。それから式の時間がちょうどよかった。あまり長いとちょっと嫌がりますので、時間がとても良かったってということ、それから退場のタイミング、流れもとてもスムーズで良かったという、とても良い印象を持たれたようでした。こうして欲しい欲しいなと思ったことが2、3点あるのですが、プロジェクターの画面がちょっと見づらかったという、角度の問題だと思うのですが、画面が見づらかったということ。それから、同じ学校なのに通路を挟んで席が離れてしまっていた。本当に小さな問題ですが子供にとっては大きなことかもしれないです。業者の関係かもしれないのですが、写真を撮るのに随分待たされた。時間がわかっていればもうちょっと違う動きができたという、これは写真なので業者の方かと思いますけれども。そのような受けとめ方をしたようですので、来年度の参考にさせていただければと思いました。以上です。

○議長

生涯学習推進課いかがでしょうか。

○生涯学習推進課

二十歳の集い担当者として、大変嬉しく思います。ありがとうございます。画面が見づらいですとか、通路を挟んで学校が分かれてしまったという御意見について参考にさせていただきまして、次年度の開催に活かしていければと思っています。ありがとうございました。

○議長

谷村委員のように子供たちの声を市でその後、集めていращやるのでしょうか。非常に良い御提案だったと思います。その辺はいかがですか。

○生涯学習推進課

実際は二十歳の集い開催に際して組織される実行委員さんと主にやりとりをすることが多いのですが、今年度は式典後に率直な意見をお聞かせくださ

いとお聞きしまして、いくつか御意見をいただいております。

○議長

わかりました。ありがとうございました。布浦委員お願いいたします。

○布浦委員

同じく二十歳の集いですが、2月1日の広報つくばに見開きカラーで二十歳の集いの特集版が組まれていて、御覧になった方いらっしゃると思うのですが、これは多分初めて掲載されたのではないかと思います。この内容を拝見して非常に感動いたしました。各学校2名の実行委員が出ていただいて、その中から実行委員長さん、それから副実行委員長さん、それから司会、お母さん等々のインタビューが載っていました。この企画が素晴らしいと思うのは、アトラクションから写真全てですがこの記事を読んでいると二十歳になっている実行委員長さんたちの記事を読む限りでは、大学生かなという感じですね、2年生は専門科に入るということもありまして、忙しい中1年間かけてこうした緻密な会議を持ちながら二十歳を迎える、自分たちの手で実行する、ということに非常に感激いたしました。これは全国的に見ても素晴らしい発案と実行かなと思います。何よりも自分たちの二十歳の集いを自分たちの手で、市の教育委員会の方たちと手を携えてやってらっしゃるということは、全国の調査はしておりませんが、このような企画は非常に素晴らしいと思いました。その中で矢島さんが、つくば市は外国人が多く国際色溢れる町ですがさらにこの特徴進化させ日本の国際交流をリードするようなまちにしたいと考えております。その上で、多様な価値観を持つ人々が互いに尊重し手を取り合って暮らしていけるまちになればいいなど。単なる二十歳の集いではなく、これからどういう価値観で人生を目指すのかということが明らかにされ、この4行の記事で感動いたしました。二十歳になったと同時につくば市を見据えた、しかも国際交流もしていきたいということです。私も仕事上国際交流の仕事をしていますので、ここは非常に特記すべきことだと

思います。私が提案申し上げたいのは、国際交流の事業を 24 事業しており手が足りないほど事業が多くございます。その中で、このような若い人たちと連携又は連絡が取り合えていたらいいなと思っておりますが、その辺いかがでしょうか。

○議長

生涯学習推進課いかがですか。

○生涯学習推進課

つくば市に住む若い方たちと連携連絡ということでしょうか。

○布浦委員

そうですね。多分、つくば市外に出ておられる方もいるかもしれませんね。でも、それは内外問わずつくば市をどういうふうにして若い人たちと連携して国際化を進めていこうかという視野のもとに、御連絡が取ればと思います。

○生涯学習推進課

現在、生涯学習推進課では、若い人たちと国際交流をリードする町に係る直接的な事業は行っていませんが、今後、委員の意見を参考にさせていただければと思っております。

○布浦委員

ありがとうございます。よろしく申し上げます。

○鈴木議長

石塚委員お願いします。

○石塚委員

11 ページの科学教育推進事業についてですが、つくば市は科学のまちということで科学教育事業はメインの事業になっていくのではないかと思います。つくば科学フェスティバルは隔年開催と決めつけるのではなく、今すぐやってくださいという意味ではありませんので、これからの要望です。例え

ば、隔年でも1回はミニフェスティバルをやるとか、長い目を見て、少しずつ科学のフェスティバルみたいなものを増やして行って、社会教育に生かしていけばいいのかなと思うのですが、予算の問題もあるので来年やってくださいということではありません。これからのつくば市の方向性を目指してお願いしたいと思いました。

○議長

生涯学習推進課いかがでしょうか。

○生涯学習推進課

御意見ありがとうございました。このフェスティバル事業も含めて、科学教育推進事業を応援していただいととても嬉しいなと思っています。フェスティバルの開催頻度を含め科学教育推進事業全体を推進していけるように、これからも頑張って参りますので、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。貴重な御意見ありがとうございました。

○議長

ありがとうございました。上田委員お願いします。

○上田委員

質問というよりは要望ということなのですが、家庭教育学級です。乳児学級と幼児学級に分け、また市内全域というよりは要所、要所で3か所ずつという形で家庭教育学級の乳幼児のやり方を変更されて何年か経つと思うのですが、やり方として参加者がどうだったのか、講座のつくり方はどうなのか。或いは実際に参加した受講生の方々の反応はどうだったのか。乳幼児家庭教育学級を改変した前と後の検証作業みたいなものはやる予定があるのかどうなのか。もし、そういうことがないとすれば、少し検討しながらより良い乳幼児家庭教育学級のあり方を少し考えていただきたいと思います。

○議長

生涯学習推進課いかがでしょうか。

○生涯学習推進課

先ほどの質問に関してですが、乳児幼児家庭教育学級においては、その都度参加された方にアンケートを取りまして、今求められているものはどういうものなのかというものを考えて、次年度の計画になるべく市民ニーズに合ったものを取り組んでいくようにしております。

○議長

石黒委員お願いします。

○石黒委員

中央図書館との関わりの中でコリドイオは吾妻交流センターが移行してやっていると思うのですが、コリオイドの電源は使えないので、図書館でという案内がされたということですが、中央の方たちはそういうことが可能でしょうけど、周辺地域の方たちはせめて交流センターの中でも対等に使えるようにできたらいいのではないかと思います。これは要望です。

○議長

これですべての課からの御説明をいただきました。生涯学習推進課に関しては以上となりますが、今の件に関しまして地域支援課からお願いします。

○地域支援課

今の石黒委員からの御意見は利用者の方からも度々いただく御意見ですので、施設面で対応できる部分があるかどうか等も含めて引き続き検討を進めていきたいと思えます。

○議長

以上を持ちまして議事1について終了といたします。次に議事2「企業における家庭教育学級について」を議題といたします。では事務局から御説明をお願いします。

○事務局

資料2を御覧ください。企業における家庭教育学級、アウトリーチ型家庭

教育学級の取り組みについて説明いたします。子育ての知識は欲しいけれども誰かに子育ての悩みを聞いて欲しいなとか仕事があるから家庭教育に参加できないという思いを受けて、令和3年度と令和5年度に市内4か所の事業所で実施し110名の方が参加されました。まず、家庭教育学級とはどのようなものなのか御説明いたします。子供の健やかな成長と豊かな人間形成のため親が相互に学び合う場、親が親として育ち子育てや教育に生かせる内容を主体的に学習する場です。生涯学習推進課では6つの家庭教育学級を行っています。1つ目、乳児幼児学級です。こちらは交流センター等を利用し子育てについて学ぶ講座を実施しています。2つ目の幼小中義務教育における家庭教育学級では、保護者を対象に家庭教育学級の大切さについて伝えています。3つ目、就学時の保護者を対象に入学説明会などにおいて家庭教育セミナーを実施し家庭教育の大切さを伝えています。

4つ目、保育所での家庭教育セミナーとして希望する保護者を対象に子育てに関するワークショップを実施しています。5つ目、たの・らくセミナー。こちらは、市内の交流センターを利用し希望する保護者を対象に子育てに関するワークショップを実施しています。6つ目は、企業における家庭教育学級です。働く保護者を対象に、子育てに関する講座を事業所で実施しています。この企業における家庭教育学級について詳しく御説明いたします。目的は、企業と行政が連携し企業において家庭教育学級を開催することで働く保護者の学びの機会を創出し、家庭教育支援の充実を図ることです。内容としては、4つの学びの柱に沿ったプログラムを作成し講座を行っています。お手元の資料3を御覧ください。企業における家庭教育学級のプログラムは、4つの学びの柱から作成しております。4つの学びの柱とは、子供の心身の理解とその発育、食育、メディア教育、人権の4つです。令和3年度は、ヤクルト水堀営業所において、主にヤクルトレディーを中心に13名に子供との関わりについての講座を実施しました。また、今年度の実績としては、商工

会を通じて参加企業を募集したところ、浅野物産から応募があり8月22日に11人の従業員に対してワークショップ形式の講座を1時間半行いました。いちほら病院、つくば市総合福祉センターへは直接アプローチをし、数日に渡り昼休みの15分から20分程度の隙間時間を活用し参加していただきました。いちほら病院やつくば市総合福祉センターは、医療関係従事者であり生活習慣や食や栄養の説明をすることについてかなりの悩みどころではありましたが、教育委員会として子供の側面からアプローチすることによって有意義なセミナーをすることができました。他市町村の取り組みとしては、市町村教育委員会が主体となって実践する例は少なく、県が把握している範囲では笠間市と小美玉市、また、つくば市のような市の教育委員会の指導員を講師として活用している例も少ない状況です。今までの成果としては、講座の後で個別の相談を数件受け保護者に寄り添うことで保護者の不安を軽減することができました。また、子育てについて話せる場や共有できる場を提供することで、子育てに自信を持っていただく機会になったのではないかと思います。一方、課題として昼休みの一時、負担の少ない過ごし方の1つとして提案しなければならず、企業側の福利厚生部署との連携なしでは活動の場が広げられないという問題があります。核家族化が進み、共働き家族が増え、子育ての悩みを1人で抱え込んでしまう保護者は意外に多いのが現状です。学校で開催する家庭教育学級には中々参加できない保護者のために、アウトリーチ型家庭教育学級としてより多くの企業に出向き、家庭教育の大切さを伝えることができればと思います。企業における家庭教育学級の今後のさらなる充実のために、家庭教育学級が求められている業種や企業また保護者が気軽に参加しやすいテーマについて、御助言御指導いただけたら幸いですよろしくお願いいたします。

○議長

企業での家庭教育学級についての御説明でした。この件に関しまして委員

の皆様方から御意見、御提言、御質問等はございませんでしょうか。今後さらなる充実のために何か御意見をいただけたらということですが、上田委員お願いします。

○上田委員

家庭教育学級、非常に色々なところで展開する形で意欲的に新しい取り組みをされているのは素晴らしいことで、もっと積極的に進めていただきたいと感じました。その上で色々な事業所に行かれると思うのですが、事業所で働いている方々の特徴を押さえた内容ですよね、例えば市原病院でしたらお医者さんであるとか看護師さんであるとかある程度専門的な知識を持っている方々ですので、そのような専門性を生かした講座の内容であるとか或いは自分たちの専門とは全然関係ない普段触れることのないような情報を提供するような事業とかですね、或いは例えばこの笠間でされている事業、ヤクルトレディーの方々に登下校の安全という観点が入っていますよね。ヤクルトを配達していて子供を見かけた時どうするかとか、それぞれの仕事に何か関連した意識づけをどのように考えられているのかお伺いしたいなと思いました。

○事務局

ありがとうございます。いちほら病院や総合福祉センターの方は食の専門家や医療機関関係者でしたので、個別に残って相談も受けました。普段学校で子供が抱えている悩み等の御相談を受けて、指導員や社会教育主事が個別対応をさせていただきました。企業に出向いて悩みを個別に相談を受ける機会として、とても良いことなのかなと思います。家庭教育学級では講座になってしまうので中々個別の話が聞けない。本当に悩んでいる方は個別に聞きたい方もいると思いますので、教育局の立場でお話できるものを作り上げられればと考えております。

○議長

上田委員いかがでしょうか。

○上田委員

個別の相談を受けるというのはすごく大事な機会になると思います。それぞれの相談について行政と繋いでいくきっかけや、或いは話を聞いてもらうだけでも気が楽になるとか、さらにこの家庭教育学級の繋がりをきっかけに、例えば自分が持っている知識を別の方に伝えるような役回りをするとか、或いは地域で活動されている方と繋がっていくとか、これをきっかけに次の展開に繋がるようなことが広がっていくと非常につくば市としても良いことなのかなと感じました。ありがとうございました。

○議長

他に何か御意見御提言等ございませんでしょうか。ありがとうございました。議事の2に関して以上となります。本日の議事について事務局から何かございますか。

○事務局

事務局からは何もございません。

4 その他

○議長

では4その他「社会教育事業視察実施報告」について、事務局からお話いただきしたいと思います。

○事務局

第1回社会教育委員会議で承認いただきました社会教育事業の視察について御報告いたします。資料4をご覧ください。今回、乳児家庭教育学級大穂学級の第1回の講座と青少年体験学習事業「スマホお助け隊」の2つの事業について視察していただきました。視察していただいた1つ目の事業乳児家庭教育学級について説明いたします。乳児家庭教育学級は、春と秋冬にそれぞれ全5回の講座を開催しています。今年度は市内北部の大穂交流センター、

市内中央の並木交流センター、市内南部の市民ホールやたべの3つの会場で開催しました。今回の視察では、大穂交流センターを会場とした乳児家庭教育学級の全5回開催中の「第1回はじめましての会」を見ていただきました。第1回はじめましての会では、月齢3か月から9か月までの乳児9名と保護者12名の親子9組が参加しました。また、保育ボランティアとして3名の方が、講座受講中保育をサポートしました。講座内容としては、社会教育指導員によるオリエンテーション、自己紹介、人権ワークとして権利の熱気球の資料を用いて個々の価値観の違いについて知っていただくという内容で行いました。2回目以降は、「赤ちゃんとの暮らしを楽しもう」「いざというときの救命救急」「ファーストブック」「おむつ替えから始まる性教育」という内容で開催しました。全5回の講座終了後、参加者からは色々なお話を直接聞くことができよかったです。どの講座の内容も自分が知らなかったことがほとんどだったため参考になった。自ら学ぼうとしてもなかなか行動に移せないで、こういう機会を設けていただけて助かりました。乳児からの性教育、救命救急の実現は参考になった等感想をいただきました。

次に3ページです。青少年体験学習事業「スマホお助け隊」について説明します。スマホお助け隊は、青少年教育係が担当する青少年体験学習事業における輝け！中高生わくわく企画内の取り組みです。中高生の自主的な活動を支援、促進し、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、地域貢献やコミュニケーション力、またリーダーの資質を深める機会となることを目的としています。市内在住在学の中高生8人が、カスミのスマホ決済Scan&Goの教え方や使用方法について事前にカスミ社員の方から講習を受け、サポートを受けたい地域の方10人にレクチャーし、実際に買い物をしていただきました。中高生とシニアがほぼ一対一でアプリのダウンロード、メールアドレスの設定、パスワード設定を行った後カードクレジットカードの登録を行いました。中高生が寄り添いながら店内を自由に買い物し各々が好きなものを購

入し、全員決済することができました。

次に5ページを御覧ください。参加していただいた社会教育委員の皆様から御意見をいただきました。乳児家庭教育学級について、第1回目に人権をテーマにしたことで参加者の交流ができる工夫があったとの意見の他、第1回目では重く感じるとの御意見をいただきました。委員の皆様の御意見を受けて、次年度からは人権をテーマにする講座の開催順について見直す予定です。また、保育ボランティアについて増やして欲しいという御意見もいただきました。その後すぐの家庭教育学級から保育ボランティアを増員し、ボランティア1人について乳児1人を預けられるように変更して開催いたしました。スマホお助け隊については、中高生と地域の方との世代間の交流を持つことができる機会として大変評価していただきました。皆様の御意見を今後の事業運営の参考にして進めて参ります。ありがとうございました。

社会教育事業視察実施報告は以上です。

○議長

社会教育事業視察実施報告についてということでした。私も実際に視察させていただきましたけれども、本当にすてきな企画ばかりでした。

今回は委員の皆様方に全体を通して、実体験に基づくたくさんの御意見や御提言をいただきまして本当にありがとうございました。各課の皆様方におかれましては、御意見を受けていただきまして御検討していただけたらと思います。以上をもちまして議事を終了させていただきます。委員の皆様方におかれましては、御協力をいただきまして本当にありがとうございました。では事務局にお返しします。

5 閉会

○事務局

以上を持ちまして令和5年度第2回社会教育委員会議事を閉会いたします。委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。

令和5年度第2回つくば市社会教育委員会議

次 第

日時 令和6年(2024年)3月15日(金)

午前10時

場所 つくば市役所 会議室203、204

1 開会

2 挨拶

3 議事

(1) 令和6年度社会教育事業計画(案)について

(2) 企業における家庭教育学級について

4 その他

社会教育事業視察実施報告

5 閉会

資料1 令和6年度社会教育事業計画(案)

資料2 企業における家庭教育学級について

資料3 企業における家庭教育学級プログラム

資料4 社会教育事業視察実施報告

令和 6 年度社会教育事業計画(案)

文化芸術課
地域支援課
スポーツ振興課
中央図書館
生涯学習推進課

- ・表中※欄は令和 6 年度第 1 回社会教育委員会議時に報告予定
- ・令和 5 年度から事業計画に変更がある部分は太字と下線で記入しています

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	文化芸術課 文化振興係		目的	文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに創作意欲の向上と世代間の交流を促進する。			
事業名	つくば市民文化祭		概要	市内7つの会場で展示部門、ステージ部門等を中心とした文化祭、つくばカピオ会場で小中学校芸術展、週をずらしてノバホール音楽会を開催する。			
令和5年度				令和6年度			
予算額	14,595 千円		決算額	※ 千円		予算額	19,154 千円
事業計画	<p>○開催期間 11月4日(土)～5日(日) ※ノバホール音楽会は11月11日(土)～12日(日) ※茎崎会場は展示のみ前倒して開催予定</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、豊里体育館(市民ホールとよさとは改修中のため使用不可) 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館、流星台プレイパーク 茎崎会場：茎崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽など ※中央会場で小中学校芸術展を開催 【ステージ部門】民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンスなど 【その他】囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】声楽・器楽</p>		実績	※		事業計画	<p>○開催期間 11月2日(土)～3日(日) ※ノバホール音楽会は11月9日(土)～10日(日)</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、豊里体育館、市民ホールとよさと 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館、流星台プレイパーク 茎崎会場：茎崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、つくば市民センター</p> <p>○開催部門 【展示部門】絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽など ※中央会場で小中学校芸術展を開催 【ステージ部門】民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンスなど 【その他】囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】声楽・器楽</p>
取組実績・目標値	参加団体数	令和4年度	実績 282	目標 300	取組目標値	参加団体数	目標 335
		令和5年度	実績 ※	目標 320			
課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じての通常実施 ・7つの会場を統一する運営方針の徹底 				令和6年度課題と対応策	※	
課題への取組	※						
成果	※						

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	地域支援課 地域交流支援係		目的	市民に地域交流センター講座による学習機会を提供することで、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。		
事業名	地域交流センター講座		概要	市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。		
令和5年度				令和6年度		
予算額	5,622 千円		決算額	※ 千円		
事業計画	市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。 前期講座は、50講座程度、定員約700名で5月に募集し、開講を予定。後期講座は、50講座程度、定員約700名で9月に募集する予定。		実績	※		
事業計画	市内16交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。 前期講座は、50講座程度、定員約700名で5月に募集し、開講を予定。後期講座は、50講座程度、定員約700名で9月に募集する予定。 ※吾妻交流センターが市民活動センターと統合し、令和6年2月より市民センターとなったため、地域交流センター数は17館から16館に減 主な講座内容(予定) ・郷土歴史探訪 ・スマートフォン講座 ・料理 ・絵画 ・フラワーアレンジメント ・ヨガ、健康体操、ダンス ・手芸、クラフト ほか		事業計画	※		
取組実績・目標値	延べ受講者数	令和4年度 実績 3,012 目標 1,400	令和5年度 実績 ※ 目標 1,400	取組目標値	延べ受講者数	3,000
課題と対応策	受講者が定員に満たなく開催見送りとなった講座があった。 アンケート等により利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていく必要がある。			課題と対応策	※	
課題への取組	※					
成果	※					

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	地域支援課 地域交流支援係		目的	豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため。			
事業名	生涯学習施設（ふれあいプラザ）管理		概要	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行うとともに、利用者のニーズに即した自主事業の開催やイベントを実施する。			
令和5年度				令和6年度			
予算額	109,437 千円		決算額	※ 千円		予算額	70,814 千円
事業計画	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。 また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。		実績	※		事業計画	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。 また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。 令和6年度実施事業（予定） ・ふれあいプラザ講座 毎月の広報つくばに講座開催記事を掲載 英会話、コンピューター操作、カメラ、手芸、歴史、料理等の多彩なジャンルの講座を年間を通して開催する。 ・各種イベント 納涼肝試し（子ども向け） プール記録会（子ども向け） JAZZイベント 新春落語 活動団体発表会 ほか
取組実績・目標値	ふれあいプラザ利用者数	令和4年度	実績 48,286	目標 30,000	取組目標値	ふれあいプラザ利用者数	目標 50,000
		令和5年度	実績 ※	目標 35,000			
課題と対応策	開館から15年以上が経過し、建物・設備とも経年劣化による修繕箇所が増えているため、計画的に改修を行っていく必要がある。					令和6年度課題と対応策	※
課題への取組	※						
成果	※						

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	スポーツ振興課		目的	スポーツに対する意識の高揚を図るとともに、つくば市のPRに努め、スポーツでつながるまちづくりに寄与する。			
事業名	スポーツ大会開催事業		概要	【つくばマラソン】42.195kmの部・10kmの部を開催 【その他の大会】健康マラソン(2、3、5km)、ウォークラリー(グループ歩行)、つくばスポーツフェスティバル等の各種スポーツ大会を開催する。			
令和5年度			令和6年度				
予算額	24,352 (内つくばマラソン負担金15,000) 千円		決算額	※ 千円			
事業計画	<p>(つくばマラソン) つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が中心となりつくば市の魅力を市内外にPRするとともに活力ある街づくりを推進するためにマラソン大会を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気楽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5Kmの部を開催する。</p> <p>その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p>		実績	※			
取組実績・目標値	①つくばマラソン申込者数 ②健康マラソン申込者数	令和4年度 令和5年度	実績 ①9,863人 ②1,794人 実績 ① ※人 ② ※人	目標 ①10,000人 ②2,200人 目標 ①11,500人 ②2,200人	取組目標値	①つくばマラソン申込者数 ②健康マラソン申込者数	目標 ①12,000人 ②2,200人
課題と対応策	(つくばマラソン) 適切な規模の検討 (健康マラソン) 参加者数の増加		※				
課題への取組	※						
成果	※						
			令和6年度課題と対応策				

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	スポーツ振興課		目的	スポーツ振興に向け、市民のスポーツ環境の充実を図る。	
事業名	スポーツ振興事業		概要	スポーツ教室やスポーツイベントを開催することにより、市民スポーツ振興の啓発、市民同士が交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図る。	
令和5年度			令和6年度		
予算額	36,460 千円		決算額	※ 千円	
事業計画	<p>【スポーツ振興するため各種施策を実施する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動を始めるきっかけとなるようなスポーツの教室や大会を開催する。 ・新規のスポーツ指導者支援するため、スポーツ教室の開催支援を行う。 ・障害スポーツの推進を図るための施策を展開する。 ・スポーツ推進委員協議会及びスポーツ推進審議会の運営を行う。 ・中学部活動が地域スポーツに移行する際の各種課題の解決に向けて、調整・検討を行う。 等 <ul style="list-style-type: none"> ・ランニング教室、スポーツ体験教室、障害者スポーツに関する教室等、各種教室や、ウォークラリー大会やスポーツフェスティバル等の開催する。 ・新しくつくば市でスポーツ事業を行う個人等に対して、教室実施の支援を行う。 ・障害者スポーツを支援するためのシステム構築に関する業務委託、用具の貸し出しや先進自治体の視察等を行う。 ・推進委員に関しては市主催事業において係員として協力、助言を行う。また、資質向上のため各種研修会に参加する。審議会においては、各種スポーツ推進施策に関する審議や、スポーツ推進計画策定について諮問を受け、審議会で審議し、意見を答申する。 ・中学部活動の地域移行について、指導者の確保や質等に関する検討。部活動改革プロジェクト会議への参加。 ・第2次スポーツ推進計画を策定する。 等 		実績	※	
取組実績・目標値	開催教室数	令和4年度 実績 10 目標 12 令和5年度 実績 ※ 目標 7	取組目標値	開催教室数	目標 8教室
課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツを推進するための方策。 ・スポーツ推進委員の更なる資質の向上、活動の促進。 ・部活動改革の進め方。 		令和6年度課題と対応策	※	
課題への取組	※				
成果	※				

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	中央図書館 管理係 サービス係		目的	読書活動の推進と図書館利用の推進を図る。	
事業名	図書館運営に要する事業		概要	個人、団体への資料貸出業務のほか、学校訪問ブックトーク、団体貸出し(調べ学習の支援・学級文庫支援)ジュニア図書館員受入れ、社会科見学・職場体験学習受入れ、司書教諭及び司書教諭補助員等の研修実施といった学校図書館支援や、ファーストブック講座、ワークショップなど、各種イベントを行う。	
令和5年度			令和6年度		
予算額	55,719 千円		決算額	※ 千円	
事業計画	1 各種図書館事業 (1) 図書の貸出・返却業務 (2) 職場体験 (3) ジュニア図書館員 (4) 学校訪問ブックトーク (5) インターンシップの受入 (6) ファーストブック講座 (7) 図書リサイクル (8) 広報活動 (9) 図書館ボランティア活動 2 図書館協議会の開催 3 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入 4 電子図書館の運営 ・学校訪問ブックトーク事業の推進 ・読書推進事業の実施 ・図書館事業の積極的なPR ・自動車図書館運行事業の充実 ・図書返却事業の充実 ・学校図書館支援事業の推進 ・電子図書館事業の拡充 ・返却ポイントの増設		実績	※	
	1 各種図書館事業 (1) 図書の貸出・返却業務 (2) 職場体験 (3) ジュニア図書館員 (4) 学校訪問ブックトーク (5) インターンシップの受入 (6) ファーストブック講座 (7) 図書リサイクル (8) 広報活動 (9) 図書館ボランティア活動 2 図書館協議会の開催 3 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入 4 電子図書館の運営 ・学校訪問ブックトーク事業の推進 ・読書推進事業の実施 ・図書館事業の積極的なPR ・自動車図書館運行事業の充実 ・ 自動車図書館車両の更新 ・図書返却事業の充実 ・学校図書館支援事業の推進 ・電子図書館事業の拡充 ・ 電子図書館の学校連携 ・返却ポイントの増設			※	
取組実績・目標値	所蔵資料点数	令和4年度	実績 486,240	目標 490,000	取組目標値
		令和5年度	実績 ※	目標 490,000	
課題と対応策	・新型コロナウイルス感染症の感染症防止対策など、事業の実施に当たっての工夫が必要となる。 ・図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。この提言の内容について引き続き検討し、今後の事業を進めていく上で参考としていく必要がある。 ・開館から30年以上が経過し、資料の収納スペースが不足している。令和4年度に導入した電子図書館なども活用しながら資料の充実を図る必要がある。				令和6年度課題と対応策
課題への取組	※				
成果	※				

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	中央図書館 管理係 サービス係		目的	市内のいずれの場所でも均質な図書館サービスが受けられるよう、地域図書館サービスの充実を図る。	
事業名	オンライン地域交流センター図書室運営に要する事業		概要	オンライン化されている谷田部・筑波・小野川・荃崎地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託し、連携しながら全域サービスを行っていく。	
令和5年度			令和6年度		
予算額	52,401 千円		決算額	※ 千円	
事業計画	<p>4 交流センター図書室の円滑な運営と地域図書館的役割の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 交流センター図書室運営業務委託 ・ 4 交流センター図書室の図書備品購入 ・ 4 交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入 <p>【新規事業】 研究学園小学校図書室の休日開放及びかとりだい交流館における予約本の受取・図書返却サービスを開始する。</p>		実績	※	
取組実績・目標値	貸出冊(点)数	令和4年度 実績 462,790 目標 410,000 令和5年度 実績 ※ 目標 410,000	取組目標値	貸出冊(点)数	目標 410,000
課題と対応策	地域の特色を生かした資料の整備と、委託職員との連携を図ることによりサービスの向上を目指す。交流センター図書室によっては、所蔵資料や利用者の状況が異なるため、資料購入費の配分方法などが課題となる。 現在の委託業務の内容について検証するとともに、図書館懇話会からの提言の内容についても検討の上、次年度以降の運営業務の委託内容に反映させる必要がある。 また、運営業務に必要な人材(司書有資格者)を継続して安定的に確保していくことが課題となる。		令和6年度課題と対応策	※	
課題への取組	※				
成果	※				

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	生涯学習推進課・青少年教育係		目的	未来のつくば市を担う青少年が、健やかにたくましく成長できるように支援する。	
事業名	青少年健全育成事業		概要	青少年相談員が中心となり、学校や青少年育成団体等と連携し、青少年の非行防止や青少年育成の各種事業を展開する。	
令和5年度			令和6年度		
予算額	6,416 千円		決算額	※ 千円	
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に協力する店登録活動（7月～12月実施） ・学校訪問（6月～7月実施） 市内小・中学校及び高校を訪問 ・あいさつ・声かけ運動（通年） 市内小・中学校及び高校において実施 ・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 ・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会 		実績	※	
事業計画			実績	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年健全育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に協力する店登録活動（7月～12月実施） ・学校訪問（随時） 市内小・中学校及び高校を訪問 ・あいさつ・声かけ運動（通年） 市内小・中学校及び高校において実施 ・「青少年の非行・被害防止全国強調月間」における活動（7月） 携帯電話販売店への訪問 茨城県青少年の健全育成等に関する条例のチラシの掲出（市役所） 薬物乱用対策の推進「ダメ。ゼッタイ。」普及運動リーフレットの掲出（市役所） ○補助金交付事業 <ul style="list-style-type: none"> ・つくば市子ども会育成連合会 ・青少年を育てるつくば市民の会 	
取組実績・目標値	あいさつ・声かけ運動実施数	令和4年度	実績 2,878回	目標 120回	
		令和5年度	実績 ※	目標 120回	
取組目標値	青少年相談員見守り活動延べ実施数			目標 3,000回	
課題と対応策	青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施する。		※		
課題への取組	※		課題と対応策		
成果	※				

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	生涯学習推進課・青少年教育係		目的	新たに二十歳を迎える市内の若者が一堂に会し、大人への門出を祝うことで、社会の一員としての自覚と責任を促す。				
事業名	つくば市二十歳の集い事業		概要	二十歳になる方による実行委員会を立ち上げ、自らが二十歳の集いを企画し、当日の運営に参画する。市は、広報紙、ホームページへの掲載、対象者への案内通知などの広報活動を支援する。				
令和5年度				令和6年度				
予算額	7,010 千円		決算額	※ 千円		予算額	6,960 千円	
事業計画	市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。 ○主催 つくば市・つくば市二十歳の集い実行委員会 ○期日 令和6年(2024年)1月7日(日) ○会場 つくばカピオアリーナ ○該当者 平成15年(2003年)4月2日～平成16年(2004年)4月1日生まれの方 対象者数 2,630人(令和4年4月1日現在) ※【参考】年齢別人口統計R04.04.01		実績	※		事業計画	市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。 ○主催 つくば市二十歳の集い実行委員会 つくば市・つくば市教育委員会 ○期日 令和7年(2025年)1月12日(日) ○会場 つくばカピオアリーナ ○該当者 平成16年(2004年)4月2日～平成17年(2005年)4月1日生まれの方 対象者数 2,296人(令和5年4月1日現在) ※【参考】年齢別人口統計R05.04.01	
取組実績・目標値	参加者数	令和4年度	実績 1,828人	目標 1,500人	取組目標値		参加者数	目標 1,900人
		令和5年度	実績 ※	目標 1,900人				
課題と対応策	二十歳になる方の門出の式典を円滑に開催できるよう、市職員、警察並びに警備業者が連携して、式典業務に従事する。また、実行委員が主体的に式典準備に関わるよう促し、社会人としての責任を自覚する機会となるような式典を作り上げる。						令和6年度課題と対応策	
課題への取組	※							
成果	※							

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	生涯学習推進課・青少年教育係		目的	自主的な活動や体験により、青少年の自己肯定感や自己有用感を育むとともに、社会力を育成する。		
事業名	青少年体験学習事業		概要	市内在住中・高生を対象に、企画募集して、青少年を中心とした地域交流・多世代間交流の体験学習の実施を行う。また、自主活動の支援を図り、青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進する。 ・青少年の企画を募集し実現する「この指と一まれ！」事業 ・つくばの科学と自然を体感する「夏休み体験学習事業」		
令和5年度				令和6年度		
予算額	1,070 千円		決算額	※ 千円		
事業計画	<p>○青少年体験学習事業 つくば市の地域資源を活用した実験教室等を体感し、科学や自然への興味や関心を高めることを目的として開催する。</p> <p>○この指と一まれ！事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現したいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。学習や友人とのおしゃべり場等として活用</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金 つくば市内の青少年健全育成諸団体が、子どもたちを対象に行った体験活動を内容とする事業・活動に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。</p> <p>青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。</p>		実績	※		
取組実績・目標値	青少年体験学習事業参加者数	令和4年度 実績 108人	目標 160人	取組目標値	青少年体験学習事業参加者数	目標 160
		令和5年度 実績 ※	目標 160人			
課題と対応策	青少年の体験活動が減少している中で、青少年の興味関心の高いプログラム構成や、身近な実社会に触れ関わりあう機会の創出によって、事業の魅力を高めるとともに、青少年の主体性や意欲を引き出す。			課題と対応策	※	
課題への取組	※					
成果	※					

担当課・係	生涯学習推進課・生涯学習推進係		目的	数多くの研究所を有し、多数の研究者が研究に取り組む地域資源を生かして、子供たちの科学への関心を高める。	
事業名	科学教育推進事業		概要	市内の研究機関の研究者等を学校の授業等に派遣する「つくば科学出前レクチャー」、全国の小中学生に夏季休業期間中に市内の研究機関の概要や研究内容について現地見学や動画視聴で学ぶ「つくばちびっ子博士」、学校や研究機関等が一堂に会し科学実験等の体験を来場者に提供する「つくば科学フェスティバル」の3事業を展開する。	
令和5年度			令和6年度		
予算額	10,609 千円		決算額	※ 千円	
事業計画	<p>① つくば科学出前レクチャー事業 学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究者等と連絡調整し、現役研究者等を専門テーマの講師として派遣する事業を年間とおして展開する。</p> <p>② つくばちびっ子博士事業 市内39機関の協力を得て、7/22～8/31を期間として「つくばちびっ子博士2023」を開催する。つくばちびっ子博士パスポートという冊子を用いた現地見学及び動画視聴をおしたクイズラリー形式で実施する。 つくばちびっ子博士事業において、令和5年度は、小中学生の学外での学びの充実を図るため、従来の方法に加え、つくば市の児童生徒が使用する学習者用端末を使用した「つくばちびっ子デジタルチャレンジ」を開催する。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル事業 つくば科学フェスティバルは、2年度1回の開催であるため、令和5年度の実施はない。令和6年度以降に今までよりつくば市の児童生徒がコンテンツを提供する側も参加する側も科学への興味関心を今まで以上に育てることが出来るコンテンツ等の検討を実施する。</p>		実績	※	
取組実績・目標値	ちびっ子博士パスポート提出数(デジタルスタンプラリー参加者数含む)	令和4年度 令和5年度	実績 2,112人 ※ 人	目標 5,000人 目標 6,000人	事業計画
課題と対応策	<p>① つくば科学出前レクチャー：(課題)実施回数を継続して増やすこと。ただし、多忙な学校現場に対し配慮をし、かつ効果的な事業周知が必要。(対応策)教員関係の行事に積極的に参加する等学校との連携の強化を図る。</p> <p>② つくばちびっ子博士：(課題)夏休みの児童生徒の自主的な活動である現状から学校の教育活動との連携を深めていく必要。(対応策)「つくばちびっ子デジタルチャレンジ」の結果のデータを学校等に提供し、学外と学内の学びをつなぐ。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル：(課題)来場者が非常に多いため、「来場者と出展者、出展する学校と研究機関のコミュニケーションを深める」部分に工夫が必要。(対応策)令和6年度の開催に向けて実施手法等を検討する。</p>		※		
課題への取組	※		課題と対応策		
成果	※		※		
予算額			決算額	27,214 千円	

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	生涯学習推進課 社会教育係		目的	家庭の教育力の向上を図り、子どもの健全な育成に役立てる。			
事業名	家庭教育学級支援事業		概要	家庭教育学級・家庭教育セミナーを開催する。学級の運営にあたり社会教育指導員が指導・助言を行う。現代的な課題について理解を深めるための講演会や学習会を開催する。社会教育指導員(会計年度任用職員)10人を生涯学習推進課に配属し、社会教育の特定分野についての直接指導、学習相談又は社会教育関係団体の育成等にあたる。			
			令和5年度		令和6年度		
予算額	4,322 千円		決算額	※ 千円		予算額	4,516 千円
事業計画	<p>社会教育指導員を配置し、家庭教育学級事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭教育学級開催 市内3か所(大穂、吾妻、みどりの) ・幼児家庭教育学級開催 市内3か所(小野川、竹園、ゆかりの森) <p>保育所における社会教育講座を9か所で開催する。 社会教育講演会を開催し、学級の枠を越えた学習機会を設ける。 企業への家庭教育を推進する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策で取り入れた機材を活用し、コロナ終息後も引き続きオンライン講座や動画配信を行う。</p>		実績	※		事業計画	<p>社会教育指導員を配置し、家庭教育学級事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭教育学級市内3か所(大穂、並木、釜崎) ・幼児家庭教育学級市内3か所(島名、竹園、墨原) ・市立幼稚園幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校 ・吉沼小学校祖父母学級 ・企業での家庭教育学級を推進する。 <p>市立幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校において家庭教育セミナーを実施する。</p> <p>たのらく講座を実施する。</p> <p>市立保育所における社会教育講座を実施する。</p> <p>社会教育講演会を開催し広く市民への学習機会を設ける。</p>
取組実績・目標値	家庭教育学級数	令和4年度	実績 74学級	目標 74学級	取組目標値	家庭教育学級数	目標 80学級
		令和5年度	実績 ※ 学級	目標 75学級			
課題と対応策	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面講座が中止となったが、「学びの機会が途切れることのないように」と動画視聴を主流とした。動画視聴は隙間時間で家庭教育情報が得られるメリットがあった一方、保護者間のつながりの希薄化から子育ての不安やストレスを共有できる仲間づくりができず子育てが孤立するデメリットが浮き彫りになった。不安やストレスを解消するため、子供を取り巻く身近な問題を語り合い、「対話とつながり」に重点を置いた家庭教育学級を開催する。具体的には、対面講座を軸に保護者同士が直接会い、話し合える場を提供していく。</p>					課題と対応策	※
課題への取組	※						
成果	※						

令和6年度社会教育事業計画(案)

担当課・係	生涯学習推進課・社会教育係		目的	市民及び市内の企業に勤務する者に生涯学習の機会を提供し、もって教育の振興及び文化の向上に寄与する。 郷土に対する理解を深める環境・憩いの環境を提供し、伝承文化の承継に寄与する。				
事業名	生涯学習施設管理		概要	利用者が快適に施設を利用できるよう、指定管理者制度を利用し、最適な施設の維持管理、施設の特性を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。				
令和5年度			令和6年度					
予算額	38,819 千円		決算額	※ 千円		予算額	37,670 千円	
事業計画	<p>・生涯学習社会の実現を寄与するため、つくば市市民研修センターの指定管理を行う。</p> <p>・郷土に対する理解、伝統文化の継承などを目的として民家園の維持管理を行う。</p> <p>市民研修センターにおいて、生涯学習に係る講座を開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑波山ガマの油売り口上講座 ・スマホLINE(ライン)習得講座 ・夏休み子どもイベント 真夏の夜のおはなし会 おもしろ理科実験 ・自力整体講座 ・アビ先生と英語で学ぼう ・初心者のパソコン講座 ・木彫り仏像創作講座 ・土曜日のヨガ講座 ・シニア健康体操講座 ・スマホ活用講座 ・己書講座 <p>さくら民家園では、ひな人形の展示を行う。</p>		実績	※		事業計画	<p>生涯学習社会の実現を寄与するため、つくば市市民研修センターの指定管理を行う。</p> <p>・郷土に対する理解、伝統文化の継承などを目的として民家園の維持管理を行う。</p> <p>市民研修センターにおいて、生涯学習に係る講座を開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑波山ガマの油売り口上講座 ・スマホLINE(ライン)習得講座 ・夏休み子どもイベント 真夏の夜のおはなし会 おもしろ理科実験 ・自力整体講座 ・アビ先生と英語で学ぼう ・初心者のパソコン講座 ・木彫り仏像創作講座 ・土曜日のヨガ講座 ・シニア健康体操講座 ・スマホ活用講座 ・己書講座 	
取組実績・目標値	市民研修センター施設利用人数	令和4年度	実績 21,592人	目標 35,000人		取組目標値	市民研修センター施設利用人数	目標 35,000人
		令和5年度	実績 ※ 人	目標 35,000人				
課題と対応策	<p>利用者の大部分が定期的に利用している方々であり、職員と利用者との信頼関係が取れているが、利用者の大部分がリピーターのため、新規利用者の獲得に努めなければならない。</p> <p>市外からの宝篋山登山者の方にも利用していただけるよう、今後も駐車場や門(入口)に利用を勧める掲示やフェイスブック、ホームページによるPR活動を続けていく。</p> <p>講座の利用者が講座終了後も活動できるようサークル化する、また研修を開催したい利用者に対して研修室の利用について勧める等、研修室の利用促進に努める。</p>					課題と対応策	※	
課題への取組	※							
成果	※							

企業における家庭教育学級

～アウトリーチ型家庭教育学級への取組～

教育局生涯学習推進課

世界の
あした
が見えるまち。
TSUKUBA



企業における家庭教育学級

～アウトリーチ型家庭教育学級への取組～

子育ての知識は
欲しいけれど…

仕事があるから家
庭教育学級に参加
できないし…

誰かに子育ての
悩みを聞いてほ
しいなあ…



そんな思いを受けて実現しました

令和3年度、5年度 実施 市内4か所の事業所 計110人参加！

<家庭教育学級とは>

- ・子どもの健やかな成長と豊かな人間形成のために、親が相互に学びあう場
- ・親が親として育ち、子育てや教育に生かせる内容を主体的に学習する場



1 生涯学習推進課「家庭教育」への6つのアプローチ

- ① **乳児幼児学級**
(市内各所で希望する子育てについて学ぶ講座を実施)
- ② **幼・小・中義務教育学校における家庭教育学級**
(保護者が主体となり、年代に応じた講座を実施)
- ③ **家庭教育セミナー**
(入園、就学時の保護者を対象に家庭教育の大切さについて伝える)
- ④ **保育所での家庭教育セミナー**
(希望する保護者を対象に子育てに関するワークショップを実施)
- ⑤ **たの・らくセミナー**
(希望する保護者を対象に子育てに関するワークショップ等を実施)
- ⑥ **企業における家庭教育学級**
(働く保護者を対象に子育てに関する講座を事業所で実施)
↑ ココを詳しくご説明します！



2 企業における家庭教育学級(実践1)

(1)目的

- ・企業と行政が連携し、**職場において、家庭教育学級を開催**することで、働く保護者の学びの機会を創出し、家庭教育支援の充実を図る。

(2)内容「企業における家庭教育プログラム」

4つの学びの柱

- ①「**子どもの心身の理解とその発育**」
- ②「**食育**」
- ③「**メディア教育**」
- ④「**人権**」

(お手元の資料3をご覧ください)



(3)令和3年度実績

ヤクルト水堀営業所 12/13 ヤクルトレディ他13人参加	テーマ ・子どもとの関わり方
-------------------------------------	-------------------

◎(参加者の感想)

- ・保育園から中高生まで幅広い世代の子を持つ親同士親交が深まりました。
- ・子どもの話を聞くことで、子どもは安心し、親子の愛情が深まることを学びました。



3 企業における家庭教育学級(実践2)

(1)令和5年度実績

◎令和5年度は、商工会を通じて参加企業の募集をしました！！

浅野物産(株) 8/22(火) 11人	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズム ・基本的な生活習慣 ・自己肯定感を育む
いちはら病院 9/21(火)、9/27(水) 10/5(木)、10/11(水) 計4日 延べ53人	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことは自分でする心を育む ・規則正しい生活習慣 ・自分を大切にすることを育てる ・「食と栄養」とおして体づくりへの「自立」を促す ・子どもたちの生活習慣と電子機器 ・デートDVって何？～対等な関係を築くために～ ・中学生期における子どもとの関わり方 <p style="color: red;">昼休みの15分or20分スキマ時間を活用！</p>
つくば市総合福祉センター 11/8(水)、11/29(水) 計2日 延べ9人	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの生活習慣と電子機器 ・デートDVって何？～対等な関係を築くために～ ・中学生期における子どもとの関わり方



★医療関係者に、生活習慣や、食や栄養の説明をすることについて、懸念していたが、子育ての側面からアプローチすることによって、有意義なセミナーとすることができた。



4 他市町村の取組(参考)

(1)水戸ヤクルト販売株式会社 笠間センター

実施日：令和2年10月24日

テーマ：地域で取り組む家庭教育と登下校の安全

参加者数：15人

内容：茨城県家庭教育支援条例と家庭教育の枠組みの説明

備考：笠間市の社会教育主事が運営

(2)シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

実施日：令和2年11月22日

テーマ：家庭教育に役立つ情報について

参加者数：100人

内容：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社社員研修会
(放課後児童クラブ支援員)に先立ち実施
子育てアドバイスブック「ひよこ」について

備考：外部講師(社会教育主事)を招いての研修

★市町村教育委員会が主体となって実践する例は少ない。県内(県が把握している範囲)では、笠間市と小美玉市。講師として市教委の指導員を活用している例も少ない。



5 まとめ ～今後に向けて～

<成果と課題>

- ・講座の後で、個別の相談を受けることが多かった。
- ・子育てについて話せる場、共有できる場を提供することができた。
- ・自分の今の子育てに、自信を持っていただく機会ともなった。
- ・わかっていること、実践していることの再認識の場ともなっていた。
- ・昼休みのひと時、負担のない過ごし方の一つとして、提案していきたい。
- ・企業側の福利厚生担当部署との連携によって、活動の場を広げることができる。
- ・核家族化が進み、子育ての悩みを一人で抱え込んでしまう保護者は意外に多い。
今後、いっそう求められる活動といえる。



<今後さらなる充実のために>

委員の皆様からご意見をいただけたら幸いです

- ・家庭教育学級が求められている業種や企業について
- ・保護者が気軽に参加しやすいテーマについて
- ・その他 ご助言、ご指導をお願いいたします。



企業における家庭教育学級プログラム

	学びの柱	テーマ	対象 (目安)	内容	時間
1	① 子ども の心 身の 理解 とそ の発 育	自分のことは自分 でする心を育てる	幼児、 幼稚園	自己決定力を育てるためにはどうすれば いいか。親の口出しと、見守りのバ ランスを考えてみましょう。	10 分
2		規則正しい生活 習慣	幼稚園 小学校 低学年	睡眠を左右するメラトニンの分泌をよ くするには？ 睡眠と食事が子どもの からだところを育てます。	10 分
3		自分を大切にす る心を育てる	幼稚園 小学校 低学年	自己肯定感はどうすれば育んでいける のか、多様な価値観が増えている社会 で、自分らしさをしっかりと認識する ことが大切です。	15 分
4		中学生期の子ど もとの かかわり方	小学校 高学年 中学校	思春期の心と身体の変化を理解し、子 どもとの関わりについて考えてみま しょう。 親は子どもの「転ばぬ先の杖」になっ ていませんか。	15 分
5	② 食育	「食と栄養」を通 して身体づくり への「自立」を子 どもに促す	小学校 低学 年、 高学年	食べたもので子どもの身体ができるこ とを理解する。 また、思春期の心と身体の変化を理解 し、子どもとの関わりに気をつける。	15 分
6	③ メ デ ィ ア 学 習	子どもたちの生 活習慣と電子機 器	小学校 高学年 中学校	電子機器(スマホ)の上手な使い方と は。デジタルデトックスタイムを作っ て生活リズムを崩さないようにしま しょう。	15 分
7	④ 人 権	デートDVってな に？ ～対等な関係を 築くために～	小学校 高学年 中学校	思春期を迎える子どもたちが、異性間 のトラブルに巻き込まれないように、 DVについて理解を深める。	15 分

社会教育事業視察実施報告

教育局生涯学習推進課
社会教育係・青少年教育係

1 視察事業「乳児家庭教育学級」について

(1) 「乳児家庭教育学級」について

幼少期からの家庭教育を支援していくために、初めて子育てをする保護者を対象に、月齢2か月から10か月までの乳児と保護者が15組程度参加する乳児家庭教育学級を、春と秋、冬にそれぞれ全5回の講座を開催している。開催場所は、市内北部の大穂交流センター、市内中央の並木交流センター、市内南部の市民ホールやたべの3つの会場で開催。

(2) 内容

乳児家庭教育学級大穂学級

第1回「はじめましての会」オリエンテーション

自己紹介、人権ワーク(権利の熱気球)

参加者数 親子9組(子の月齢3～9か月)

保育ボランティア 3名

(3) 日時 令和5年(2023年)9月5日(火) 午前10時～午前11時10分

(4) 場所 大穂交流センター 和室 所在地：筑穂1丁目10番地4

(5) 参加社会教育委員数 6名

(6) 参加社会教育委員氏名

鈴木もえみ委員、稲葉房子委員、上田孝典委員、金井恵美委員
谷村安子委員、高田正澄委員

令和5年度大穂乳児家庭教育学級講座日程

	開催日	講座名
1	9/5	はじめましての会
2	9/12	赤ちゃんとの暮らしを楽しもう
3	9/19	いざという時の救命救急
4	9/26	ファーストブック
5	10/3	おむつ替えから始まる性教育

令和5年度 参加無料

乳児家庭教育学級(歌学級)

対象
生後2～10か月のお子さん
(2023年9月5日現在)
を初めて子育てする保護者
(つくば市内在住・在勤・在学の方)



育児の不安を解決しましょう
「はじめての絵本」「子どもの歌や教養」「おむつ替えから始まる性教育」「赤ちゃんとのくらしを楽しまう」など、初めての育児に役立つ講座です。
子育ては何かと不安がつきものですが、講座の内容を参考に子育てを楽しんでみてはいかがでしょうか。

■ 時間 10:00～11:10 (70分間)
■ 定員 各会場 15組程度

手紙送付を必要とする方は、申込フォームの備考欄にご入力ください。
 応募の定員を超えた場合は抽選となります。
 申込期限は2月25日(金)までにメールでご連絡します。

学級	会場	曜日	開催日
大穂	大穂交流センター	火曜日	9月5日、12日、19日、26日、10月3日
並木	並木交流センター 東条東交流センター併設	水曜日	9月13日、20日、27日、10月11日、18日
みどりの	市民ホールやたべ	木曜日	9月7日、14日、21日、28日、10月12日

申し込みは各会場コードまたはつくば市ホームページから
申込期間 2月1日(水)～2月19日(土)

お問い合わせ 395-8555
つくば市教育局 生涯学習推進課
つくば市研究学園一丁目1番地1
☎029-853-1111(内線4641)
メール ed073@city.tskuba.lg.jp

つくばホームページ
家庭教育学級
http://www.city.tskuba.lg.jp



・ 人権ワーク資料

権利の熱気球

『権利』という荷物を持って、大きな気球に乗ったあなたは、太平洋の真ん中で重量オーバーに気がつく！
10個持っている『権利』の荷物を海に捨てていかなければならなくなった。
さあ、どれから捨てようか…？

捨てる順に番号をつけてください。

- ① きれいな空気を吸う権利
- ② 十分な水と食べ物を得る権利
- ③ 自分の自由に使えるお金を得る権利
- ④ 遊ぶ時間と休養時間をとれる権利
- ⑤ 愛し愛される権利
- ⑥ 私だけの部屋を持つ権利
- ⑦ 年に一度、旅行ができる権利
- ⑧ 人と違うことが認められる権利
- ⑨ 自分の意見を主張できる権利
- ⑩ 人に命令されたり、いじめられたり服従されない権利



2 視察事業 青少年体験学習事業「スマホお助け隊」について

(1) 青少年体験学習事業「スマホお助け隊」について

生涯学習推進課青少年教育係が担当する青少年体験学習事業における輝け！中高生わくわく企画内の取組。

中高生の自主的な活動を支援、促進し、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、地域貢献やコミュニケーション力、またリーダーとしての資質を深める機会となることを目的としている。

「スマホお助け隊」は、つくば市内に在住・在学する中高生が、カスミのスマホ決済 Scan&Go の使用方法についてサポートを受けたい地域の方に対し、レクチャーを行い、実際に買い物をする企画です。

参加申込のあった中高生 10 名を対象に、8 月 8 日(火)、カスミ社員の方を講師に迎え、カスミ本社において Scan&Go のやり方及び教え方についての講習を行い、その後、8 月 22 日(火)に、Scan&Go について学んだ中高生が、実際に BLANDE 研究学園店において参加者 (Scan&Go の使用方法についてサポートを受けたい地域の方) に対して、Scan&Go 使用方法のレクチャーを行い、買い物をするまで体験してもらう。

(2) 内容

中高生とシニアがほぼ 1 対 1 (サポートに指導員 2 名) で、アプリのダウンロード、メールアドレス設定、パスワード設定を行った後、クレジットカード登録をした。シニアデーだったため、生年月日を登録し 5 倍になるクーポンをもらって買い物をスタートした。

中高生が寄り添いながら店内で自由に買い物。各々が好きなものを購入し、全員決済することができた。雨の日クーポンも発券されており、ポイントが加算されお得感を得られた。

参加人数 中高生 8 人
地域の方 10 人(60 歳代 3 人・70 歳代 5 人・80 歳代 2 人)

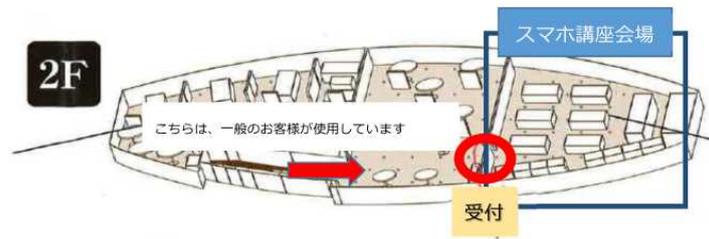
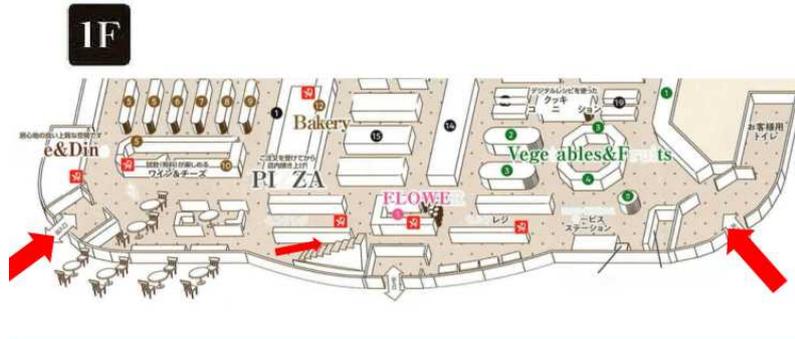
(3) 日時 令和 5 年(2023 年) 8 月 22 日(火) 午後 2 時～午後 3 時 30 分

(4) 場所 KASUMI BLANDE 研究学園店
所在地：研究学園 3 丁目 23 番地 3

(5) 参加社会教育委員数 2 人

(6) 参加社会教育委員氏名 鈴木もえみ委員、上田孝典委員

会場図



2023青少年体験学習事業

輝け！中高生わくわく企画

スマホで 参加費 無料

お買い物をしてみよう

シニアの方
大歓迎！

つくば市の中学生・高校生によるスマホのお助け隊が、カスミのスマホ決済Scan & Goのやり方をサポートします。お気軽にご参加ください。

日時 8月22日(火)14:00~15:30 (13:30受付)

会場 KASUMI BLANDE研究学園店 (つくば研究学園3丁目23-3)

対象:スマホを持っている方(定員10名程度)

申込方法 8月6日(日)までに「いばらき電子申請・届出サービス」より事前にエントリーしてください。

お申込はこちら!

●申込みが定員を超えた場合は抽選となります。
●申込者全員に結果をお知らせします。
●当選者には、あわせて詳細をお知らせします。
●8月17日(木)までに通知がない場合は、生涯学習推進課までご連絡ください。

「輝け！中高生わくわく企画」とは、つくば市内の中学生・高校生が地域のみんなとつながりたい！役に立ちたい！との思いを応援する事業です。

Scan & Go
Smart Shopping

主催・問合せ先:つくば市教育局 生涯学習推進課 青少年教育係
〒305-8556 つくば市研究学園1-1-1 TEL.029-863-1111 (内線4513)

共催: KASUMI

3 社会教育委員からの御意見等

(1) 乳児家庭教育学級(大穂学級)について

- 乳児の家庭教育学級は今回の視察で初めて見ました。お子さんの成長に合わせて講座の内容も変わることから、担当者の御苦労も想像されました。参加者へのアンケートで、全5回という限られた時間の中で満足できる内容になるよう工夫をしていると思いますが、今回の人権を組み入れるのは3回目以降が良いのではないかと思います。
- 父親の参加がみられたことに、家庭教育学級が果たす役割の重要性を感じました。
募集の段階で父親が参加しやすい工夫をされているのかもしれませんが。
また、人権教育の中でアイスブレイクとして学級参加者が交流できる工夫があったのが良かったです。
講座の回数や時間の問題もあるかと思いますが、せっかく保育ボランティアさんも参加していましたので、初回は自己紹介だけでなく赤ちゃんをテーマに自由にフリートークするような時間があってもよかったです。
- 以前の乳幼児学級と形は変わってきていますが、やはり必要な事業だと思いました。
初めての子育てで期待と不安の中、話し相手を求めている人達の知り合う場が作れています。お互い話をする時間の楽しそうな様子が見て取れました。
1回目はもっとグループを変えて話す時間があればなお良いのではと思います。また、赤ちゃんだからとボランティアさんの数が少ないかも知れませんが、普段預ける人がいない人にとっては、安心して預け、話をしたり、講座をゆっくり聞く機会かと思うので、ボランティアさんを増やせるものなら増やしてあげてほしいです。
- 5回シリーズの1回目「はじめましての会」を社会教育指導員が手際よく学級を進行され、参加者は打ち解け、それぞれの考え方を話し合っていて盛り上がりを感じました。
権利の熱気球のクイズから人権について学ぶ機会が得られ、今後4回の乳児家庭教育講座への参加者の期待は高まったと思いました。
保育ボランティアなどがサポートされていて、参加者は安心して講座に参加できると思われたのではないのでしょうか。
- 第1回目の開級式の内容として人権に関する講演は長く重く感じました。人権に関するお話は非常に大切なのはとてもよくわかりますが、育児を楽しめる雰囲気作りも重要だと思いました。時間はとりますが、全員が自己紹介す

る方法はお勧めです。出身地が同じであったとか、子供の名前の由来などから共感が生まれ、会の雰囲気も一体感がでて明るくなると思います。

初めての子育てで、子育てや地域へのなじみ方に不安もあると思われる若いパパママが参加されているので、第1回目はホッとする内容で少し明るく軽めのお話の方が良かったと思われます。5回講座があるのであれば、人権は最後の締めの講演でも良いのかもしれませんが。

- はじめてのお子さんで、不安な面や緊張も多々あったかと思いますが、ご夫婦での参加もあり、育児に関心がありとても嬉しいことだと思いました。講座は「学びの5つの柱」に基づいて企画され素晴らしいことです。はじめに人権学習を…よりも、悩みや困りごとなど話し合いや、子どもの心身の理解とその発育または食育(離乳食)の勉強等が良かったのではないかと思います。でも、積極的に人権学習に取り組んでいる姿を見学できて良かったです。

(2) スマホお助け隊について

- 社会教育では少ない中高生を対象にした参加型の事業であることや高齢者との世代交流の機会になることなど、大変意欲的な企画であると思います。この事業が次のきっかけとなることを期待します。その意味では、今回参加した生徒が「次も参加してみよう」と思えるような事業がいくつか用意されていることが必要だと思います。また今回のカスミさんだけでなく、他の地元企業も視野に広く企業との連携・後援・共催も可能性として視野に入れていくことが重要だと思います。
- 企画は非常にすばらしいと思いました。シニアの皆さんに対し、中高生の子供たちがインストールの方法からお買い物の方法まで丁寧に教え、実際にスマホ決済のお買い物をするまで子供たちが親切にサポート。直接感想を伺ったところ、子供たちからは「ボランティアって、難しくて大変な事かなと思ってたけどこんなボランティアなら楽しいし、簡単!」、シニアの皆さんも「新しい世界が広がって楽しかった。自分の子どもや孫よりよっぽど親切に教えてくれて嬉しかった」という感想もあり微笑ましく思いました。また年齢層の違う人と話す機会もなかなかないので、地域交流や世代間交流の意味でもとても良かったと思います。

つくば市社会教育委員名簿

任期（2年）：令和4年8月1日～令和6年7月31日

No.	社会教育委員氏名		役 職 等
1	坪 文雄	あくつ ふみお	市図書館協議会会長
2	飯岡 宏之	いいおか ひろゆき	市子ども会育成連合会会長
3	石黒 澄子	いしぐろ すみこ	一般社団法人つくば市スポーツ協会 理事
4	石塚 一夫	いしつか かずお	つくば市シルバークラブ連合会会長
5	稲葉 房子	いなば ふさこ	元幼稚園長
6	上田 孝典	うえだ たかのり	筑波大学准教授 人間系教育学域
7	金井 恵美	かない えみ	こども育成課放課後子供教室コーディネーター
8	鈴木 もえみ	すずき もえみ	フリーアナウンサー
9	高田 正澄	たかた まさずみ	筑波山地域ジオパーク推進協議会教育・学術部会員、認定ジオガイド
10	谷村 安子	たにむら やすこ	民生児童委員 つくばで第九運営副委員長
11	長橋 進也	ながはし しんや	市PTA連絡協議会顧問
12	中山 正巳	なかやま まさみ	市青少年相談員連絡協議会会長
13	平野 浩之	ひらの ひろゆき	要小学校長
14	布浦 万代	ふうら まよ	つくば市国際交流協会理事長
15	深澤 美紀代	ふかさわ みきよ	茨城県立並木中等教育学校校長
16	皆川 幸枝	みながわ ゆきえ	つくば市議会議員

(50音順・敬称略)